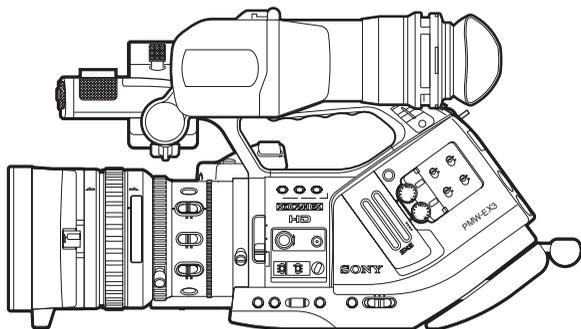


# ソリッドステート メモリーカムコーダー

## PMW-EX3



## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読み  
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

**XDCM EX**

**CINEALTA**

**SXS**

**Exmor**  
FULL HD 3CMOS



# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

9～12ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

## 定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

## 故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ①電源を切る。
- ②バッテリーパックや、電源コード、接続ケーブルを抜く。
- ③お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れにより、死亡や大けがになることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



## 行為を禁止する記号



## 行為を指示する記号



# 目次

⚠ 警告 .....	9
⚠ 注意 .....	10
電池についての安全上のご注意 .....	11
電池のリサイクルについて .....	12
その他の安全上のご注意 .....	12

---

## 概要

商品構成 .....	13
本機の特長 .....	14
ソフトウェアの使いかた .....	17
CD-ROM マニュアルを読む .....	17
各部の名称 .....	18
本体 .....	18
ズームレンズ VCL-614B2X (付属) .....	23
赤外線リモートコマンダー (付属) .....	24
画面表示 .....	25
カメラモード時の画面表示 .....	25
ダイレクトメニュー操作 .....	26

---

## 準備

電源 .....	28
バッテリーパックを使う .....	28
AC 電源を使う (DC IN 電源) .....	30
電源を入れる .....	30
電源を切る .....	30
時計を合わせる .....	31
ビューファインダーを調整する .....	32
レンズを調整する .....	35
フランジバックを調整する .....	35
レンズを交換する .....	36
レンズファイル呼び出す .....	38
グリップを調整する .....	39
頬当てパッドを使う .....	39

リモコンを使う .....	41
<b>SxS メモリーカードの取り扱い .....</b>	<b>43</b>
SxS メモリーカードについて .....	43
SxS メモリーカードを入れる / 取り出す .....	44
使用する SxS メモリーカードを切り換える .....	46
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する .....	46
残りの記録可能時間を確認する .....	47
SxS メモリーカードを修復する .....	47
<b>外部ハードディスクを使う .....</b>	<b>48</b>
PHU-220R を取り付ける / 取りはずす .....	48
PHU-220R をフォーマット（初期化）する .....	49
残りの記録可能時間を確認する .....	50
PHU-220R を修復する .....	50
<b>メディアアダプターを使う .....</b>	<b>51</b>
XQD メモリーカード .....	51
“メモリースティック” /SDHC カード .....	51

---

## 撮影

<b>基本操作手順 .....</b>	<b>53</b>
<b>ビデオフォーマットを選ぶ .....</b>	<b>55</b>
選択できるフォーマット .....	55
フォーマットを変更する .....	56
<b>ND フィルターを切り換える .....</b>	<b>57</b>
<b>ホワイトバランスを調整する .....</b>	<b>57</b>
調整モードを選択する .....	57
オートホワイトバランスを実行する .....	58
<b>ブラックバランスを調整する .....</b>	<b>59</b>
<b>マーカーやゼブラパターンを表示する .....</b>	<b>60</b>
マーカーを表示する .....	60
ゼブラパターンを表示する .....	61
<b>ゲインを設定する .....</b>	<b>62</b>
固定ゲインで撮影する .....	62
AGC モードで撮影する .....	63
<b>電子シャッターを設定する .....</b>	<b>63</b>
固定シャッターで撮影する .....	64
超高感度スローシャッター（EX Slow Shutter）で撮影する .....	65
オートシャッターで撮影する .....	65
<b>アイリスを調整する .....</b>	<b>66</b>
オートアイリスモードで撮影する .....	66
マニュアルでアイリスを調整する .....	66

<b>ズームを操作する</b> .....	<b>67</b>
モードを切り換える .....	67
手動でズームを操作する .....	68
電動でズームを操作する .....	68
<b>フォーカスを調整する</b> .....	<b>69</b>
Full MF モードで調整する .....	69
MF モードで調整する .....	71
AF モードで調整する .....	71
マクロモードを使う .....	72
<b>手ぶれ補正を効かせる</b> .....	<b>72</b>
<b>フリッカーを補正する</b> .....	<b>73</b>
<b>タイムデータを設定する</b> .....	<b>74</b>
タイムコードの動作モード .....	74
タイムコードを設定する .....	74
ユーザービットを設定する .....	75
タイムデータを表示する .....	75
<b>音声を記録する</b> .....	<b>76</b>
内蔵ステレオマイクを使う .....	77
外部入力を使う .....	77
外部マイクを使う .....	77
録音レベルを調整する .....	77
音声をモニターする .....	78
<b>カラーバー / 基準音声信号を出力する</b> .....	<b>79</b>
<b>ショットマークを記録する</b> .....	<b>80</b>
<b>レックレビュー</b> .....	<b>80</b>
<b>アサインボタン機能を変更する</b> .....	<b>81</b>
<b>インターバルレック</b> .....	<b>82</b>
撮影前の設定 .....	83
インターバルレックモードで撮影する .....	83
<b>フレームレック : コマ撮りする</b> .....	<b>84</b>
撮影前の設定 .....	84
フレームレックモードで撮影する .....	84
<b>スロー&amp;クイックモーション撮影する</b> .....	<b>85</b>
撮影前の設定 .....	86
スロー&クイックモーションモードで撮影する .....	86
<b>フリーズミックス : 位置を合わせる</b> .....	<b>87</b>
<b>ショットトランジション</b> .....	<b>88</b>
撮影前の設定 .....	89
ショットトランジション撮影する .....	91
<b>フェーダー機能</b> .....	<b>92</b>
撮影前の設定 .....	92

フェードインで記録を開始する .....	93
フェードアウトで記録を終了する .....	93
<b>ピクチャープロファイル .....</b>	<b>94</b>
ピクチャープロファイルを登録する .....	95
ピクチャープロファイルを選択する .....	95
ピクチャープロファイルの設定をコピーする .....	96
ピクチャープロファイルをリセットする .....	96
ピクチャープロファイル項目 .....	97
<b>クリップを削除する .....</b>	<b>101</b>
直前に記録したクリップを削除する .....	101
全クリップを削除する .....	101
<b>設定データの保存と呼び出し .....</b>	<b>102</b>
セットアップファイルを保存する .....	102
セットアップファイルを呼び出す .....	102
標準設定値に戻す .....	103

---

## 再生

<b>クリップの再生 .....</b>	<b>104</b>
サムネイル画面 .....	104
再生する .....	105
<b>クリップ操作 .....</b>	<b>109</b>
クリップ操作メニュー構成 .....	109
クリップ操作メニューの基本操作 .....	110
クリップの詳細情報を表示する .....	111
クリップに OK マークを付ける .....	111
クリップをコピーする .....	112
クリップを削除する .....	112
クリップエクスパンド画面を表示させる .....	113
ショットマーク画面を表示する .....	114
ショットマークを追加・削除する .....	115
クリップの代表画を変更する .....	115
クリップを分割する .....	115

---

## ステータス画面

<b>ステータス画面を表示する .....</b>	<b>117</b>
<b>カメラステータス画面 .....</b>	<b>118</b>
<b>オーディオステータス画面 .....</b>	<b>119</b>
カメラモード時 .....	119
メディアモード時 .....	119
<b>ビデオステータス画面 .....</b>	<b>120</b>

ボタン/リモートステータス画面 .....	121
バッテリー/メディアステータス画面 .....	121

---

## メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層 .....	122
セットアップメニューの構成 .....	122
セットアップメニューの階層 .....	122
セットアップメニューの基本操作 .....	123
セットアップメニュー一覧 .....	126
CAMERA SET メニュー .....	126
AUDIO SET メニュー .....	130
VIDEO SET メニュー .....	131
VF SET メニュー .....	132
TC/UB SET メニュー .....	134
LENS メニュー .....	134
OTHERS メニュー .....	136

---

## 外部機器を接続する

外部モニターを接続する .....	140
コンピューターでクリップを管理・編集する .....	142
外部機器を接続する (i.LINK 接続) .....	144
本機の画像を外部機器で記録する .....	144
ノンリニア編集する .....	145
外部入力信号を記録する .....	145
i.LINK について .....	146
外部同期 .....	147
REMOTE 端子を介して操作する .....	149
本機のメニューを操作する .....	149
REMOTE 端子を介して操作できる機能 (カメラモード) .....	151

---

## 付録

使用上のご注意 .....	155
出力のフォーマットと制限 .....	157
ビデオフォーマットと出力信号について .....	157
出力制限 .....	158
レンズファイルの操作 .....	159
バックアップ電池の交換 .....	160

<b>トラブル時の対処</b> .....	<b>162</b>
電源 .....	162
記録・再生 .....	162
外部機器 .....	163
<b>エラー / 警告表示</b> .....	<b>164</b>
エラー表示 .....	164
警告表示 .....	164
<b>MPEG-2 Video Patent Portfolio License について</b> .....	<b>167</b>
<b>保証書とアフターサービス</b> .....	<b>167</b>
保証書 .....	167
アフターサービス .....	167
<b>主な仕様</b> .....	<b>168</b>
一般 .....	168
カメラ部 .....	168
オーディオ部 .....	169
ビューファインダー .....	169
入出力部 .....	169
付属レンズ VCL-614B2X .....	169
別売りアクセサリ .....	170
<b>索引</b> .....	<b>171</b>



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。

 <p><b>禁止</b></p> <p><b>運転中に使用しない</b> 自動車、オートバイなどの運転をしながら記録 / 再生をすることはおやめください。交通事故の原因となります。</p>	 <p><b>指示</b></p> <p><b>撮影時は周囲の状況に注意を払う</b> 周囲の状況を把握しないまま撮影を行うと、事故やけがの原因となります。</p>
 <p><b>分解禁止</b></p> <p><b>分解や改造をしない</b> 分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。</p>	 <p><b>指示</b></p> <p><b>指定の電源で使用する</b> 取扱説明書に記されているバッテリーパックまたは AC アダプターでお使いください。指定以外の製品でのご使用は、火災の原因となります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p><b>AC 電源コードや DC 電源接続コードを傷つけない</b> AC 電源コード、DC 電源接続コードやマイクケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コードを加工したり、傷つけたりしない。</li> <li>重いものをのせたり、引っ張ったりしない。</li> <li>熱器具に近づけたり、加熱したりしない。</li> <li>コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。</li> </ul> <p>万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口にご依頼ください。</p>	 <p><b>指示</b></p> <p><b>電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む</b> 真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。</p>  <p><b>禁止</b></p> <p><b>レンズやビューファインダーの接眼レンズを太陽に向けて放置しない</b> 太陽光がレンズやビューファインダーの接眼レンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p><b>内部に水や異物を入れない</b> 水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。</p>	 <p><b>高温</b></p> <p><b>ビデオライト使用時は、高温部分に触れない</b> ビデオライトの使用時または使用直後は、ライト本体およびその周辺部が高温になっているため、やけどすることがあります。 カムコーダーの取っ手を持って運搬するときなどは、ライト本体およびその周辺部に触れないよう注意して運搬してください。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p><b>メモリーカードスロットに異物を入れない</b> 指定のメモリーカード以外のものを入れると、火災や感電の原因となることがあります。</p>	



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり  
周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

<p> <b>指示</b></p> <p><b>ベルトに傷みがないことを確認する</b> ベルトを着用する前に、ベルトやアダプター取付け部に傷みやネジのゆるみがないことを確認してください。</p> <p>ベルトが傷んだまま着用すると、本機が落下してけがの原因となることがあります。</p>	<p> <b>指示</b></p> <p><b>運搬するときには、ハンドルを持つ</b> フロントマイク部、ビューファインダーなど、ハンドル以外の場所を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因となることがあります。</p>
<p> <b>指示</b></p> <p><b>コード類は正しく配置する</b> 電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。</p>	<p> <b>指示</b></p> <p><b>保管するときには安定した場所に置く</b> ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。</p>
<p> <b>指示</b></p> <p><b>部品の取り付けは正しく行う</b> 本機に以下の部品を取り付けるときは、取扱説明書の該当するページをよく読んで、確実に取り付けてください。取り付け方法を誤ると部品やカムコーダー本体が落下し、けがをすることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• レンズ</li><li>• レンズアダプター</li><li>• アイピース</li><li>• ショルダーベルト</li><li>• 肩当てパッド</li><li>• 頬当てパッド</li></ul>	<p> <b>禁止</b></p> <p><b>雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない</b> 上記のような場所や、この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。</p>
<p> <b>指示</b></p> <p><b>雷が鳴り出したら、使用を中止する</b> 感電の原因となります。落雷を避けるため、使用を中止して本機から離れてください。</p>	<p> <b>指示</b></p> <p><b>カムコーダーの重量にあった三脚を使用し、三脚・雲台を確実に固定する</b> カムコーダーの重量に耐えきれない三脚、または三脚以外に取り付けて使用すると、本機やレンズが落下し、けがをすることがあります。</p> <p>また、三脚・雲台を確実に固定せずにカムコーダーから離れると、不意にカムコーダーが動いてけがをすることがあります。</p>

# 電池についての安全上 のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
  - ① 機器の電源スイッチを切るか、バッテリーチャージャーの電源プラグを抜く。
  - ② ソニーのサービス窓口連絡する。
- 電池の液が目に入ったらすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたらすぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたらよくふきとってから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。

## 危険

- 充電には、ソニーの専用バッテリーチャージャーを使用する。
- 火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。

## 警告

- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 接点部や ⊕ 極と ⊖ 極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあつたとき

- は、すぐに使用や充電をやめる。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。

## 注意

充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

ここでは、付属の赤外線リモートコンマダーおよびデータ保持用で使うリチウムボタン電池についての注意事項を記載しています。

## 警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れてたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の (+) と (-) を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

## 注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

## 電池のリサイクルについて



### Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

## その他の安全上のご注意

### 警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

### 警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

### 警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

### 重要

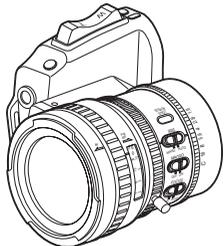
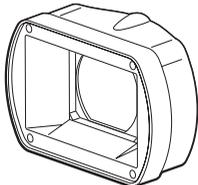
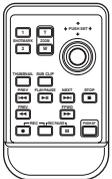
機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

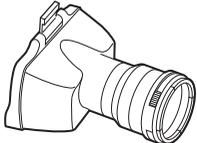
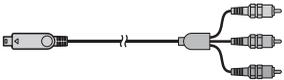
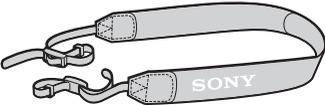
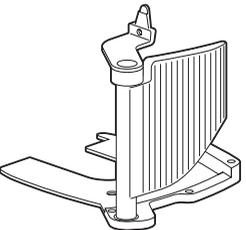
概要

# 商品構成

ソニーメモリーカムコーダー PMW-EX3には、次のようなアクセサリが同梱されています。ご使用前に確認してください。

( ) 内は個数を表します。

<p><b>専用標準ズームレンズVCL-614B2X (1)</b></p>  <p>本機にあらかじめ取り付けられています。</p>	
<p><b>レンズキャップ付き レンズフード (1)</b></p>  <p>付属のレンズにあらかじめ取り付けられています。</p>	<p><b>レンズアダプター (1)</b></p>  <p>取り付けられるレンズの重量：最大2 kg</p>
<p><b>赤外線リモコン (1)</b></p> 	

<p><b>アイピース (1)</b></p> 	<p><b>アイカップ (1)</b></p>  <p>アイピースにあらかじめ取り付けられています。</p>
<p><b>USBケーブル (1)</b></p> 	
<p><b>コンポーネントビデオケーブル (1)</b></p> 	
<p><b>ショルダーベルト (1)</b></p> 	
<p><b>頬当てパッド (1)</b></p> 	

レンズマウントキャップ (1)  
 付属レンズ用レンズキャップ (1)  
 頬当てパッド固定ネジ (3)  
 DCケーブルホルダーと固定ネジ (各1)  
 ボトムプレート (1)とビス (2)  
 スペーサー (1)  
 ボタン電池 (バックアップ用CR2032) (1)  
 あらかじめ本機に装着されています。  
 ボタン電池 (リモコン用CR2025) (1)  
 あらかじめリモコンに装着されています。  
 CD-ROM:  
 Utility Software for XDCAM (専用アプリケーションソフトウェア、SxSデバイスドライバソフトウェアを収録) (1)  
 Manuals for Solid-State Memory Camcorder (PDF版取扱説明書を収録) (1)  
 取扱説明書 (1)  
 保証書 (1)  
 SxSデバイスドライバソフトウェア使用許諾契約書 (1)

## 本機の特長

PMW-EX3は、有効画素数約207万画素(1920×1080)の1/2型CMOSイメージセンサーを搭載し、記録メディアにSxS<sup>1)</sup>メモリーカードを使用する、小型・高性能のXDCAM EX<sup>1)</sup>シリーズカムコーダーです。  
 有効走査線数1080本のHD映像をプログレッシブスキャンモードまたはインターレーススキャンモードで撮影・記録できます。

### 新世代のHD記録システム

#### 新開発のノンリニア記録メディア

SxSメモリーカードを使用することによって、記録画像へのランダムアクセスやファイルベースの操作が可能です。

#### MPEG-2 Long GOP 画像圧縮による HD 記録

MPEG-2 Long GOP方式により、1920×1080のHD 画像を記録します。  
 XDCAM<sup>1)</sup> HDおよびHDV<sup>2)</sup> 1080iと同じコーデックを採用し、クオリティの高いHD記録を可能にしています。

#### ビットレートの選択が可能

要求される画質と記録時間に応じて、ビットレートを35 Mbps (HQモード) または25 Mbps (SPモード) に設定できます。

#### 長時間記録

高効率の圧縮方式によって、高画質のHD画像を32GBのSxSメモリーカード1枚にHQモード(35 Mbps VBR)で約100分、SPモード(25 Mbps CBR)で約140分記録できます。  
 2つのカードスロットのそれぞれにカードを装着しておくことによって、フレームをロスすることなく、2枚のカードに連続して記録することができます。

#### マルチフォーマット対応

各種のビデオフォーマットでの撮影が可能で、様々なコンテンツ制作に活用できます。

- プログレッシブ方式：1080/23.98P、1080/25P、1080/29.97P、720/25P、720/23.98P、720/29.97P、720/50P、720/59.94P
- インターレース方式：1080/50i、1080/59.94i

異なるフォーマットの画像でも、同じSxSメモリーカードに保存できます。

### 高品質の非圧縮音声記録

HD画像に合わせて、16ビット、48kHzリニアPCMによるオーディオ2チャンネルの記録が可能です。

### IT 対応

MP4フォーマットのデータファイルとして記録されるため、コンピューターでのデータのコピー、転送、共有などに対応でき、本機で記録した素材を様々な環境で幅広く活用できます。

### 待ち時間なしで記録を開始

フラッシュメモリーカードを記録メディアとして使用するため、記録開始ボタンを押すと、カードの空きスペースを使ってただちに記録を開始します。データが上書きされる心配や、カード上で記録開始点を指定する必要はありません。

### エクスパンド機能付きサムネイル表示

記録開始・停止ごとに、ビデオ・オーディオを含む1つのクリップが独立して生成されます。再生モードにすると、各クリップがそれぞれサムネイル画像として表示され、目的のクリップを簡単に検索できます。

さらにエクスパンド機能を使用すれば、選択したクリップを時分割してサムネイル表示することができ、長時間のクリップ内でのシーン検索が容易になります。

## 先端カメラ技術

### 1/2 型 “Exmor”<sup>1)</sup> CMOS センサー

PMW-EX3 は、3 個の新開発 1/2 型 “Exmor” CMOSセンサーを搭載し、フルスペックハイビジョン対応の記録・再生が可能です。

### 新開発レンズマウント

小型化と高い光学特性を両立させた新型レンズマウント(1/2型EXマウント)を採用し、付

属の標準ズームレンズに加え、PMW-EX3専用の交換レンズを使用できます。

付属のレンズアダプターを使用すれば、従来のソニー 1/2型バヨネットマウントレンズの使用も可能です。

### 高性能の専用ズームレンズ VCL-614B2X を付属

広角から望遠まで広範囲で高品質の撮影が可能です。フォーカス、ズーム、アイリスそれぞれに調整リングを備え、きめ細かく調整できます。

専用レンズには、フォーカス合わせを正確かつ容易に行えるように、様々な補助機能が用意されています。

- ワンプッシュオートフォーカス
- MFアシスト
- 手ぶれ補正

## 多彩な映像表現を可能にする撮影モード

### 23.98P ネイティブ記録

PMW-EX3は、ソニー CineAlta<sup>1)</sup> シリーズの新モデルとして、23.98Pネイティブモードでの撮影をハンディサイズで実現しました。

### スロー&クイックモーション機能

撮影フレームレートを再生フレームレートと異なる設定にすることによって、フィルムカメラの早回し(オーバークラック)または遅回し(アンダークラック)に相当する効果が得られます。

### スローシャッター機能

最大64フレームまで蓄積することができ、低照度の状況下でもノイズの少ないクリアな映像撮影が可能です。

### ガンマカーブの選択

撮影シーンに応じて、CineAltaシリーズのカムコーダーと同等のガンマカーブを選択できます。

### インターバルレック(間欠記録)

あらかじめ設定した間隔で撮影を行います。長期間の撮影や、被写体の動きを時間を短縮して見るなどの用途に有効です。

## フレームレック機能

クレイアニメ制作などに最適な機能です。ボタンを押すごとに、あらかじめ設定したフレーム数を記録する機能です。

## 開角度によるシャッター設定

電子シャッターのスピード調整に加え、フィルムカメラ同様のシャッター開角度調整が可能です。

## ピクチャープロファイル

目的のシーンに最適な画質設定を登録しておくことによって、即座に再現することができます。

## ショットトランジション

あらかじめ目的のズームポジションやホワイトバランス設定などを登録しておくことによって、現在の画像から目的の構図・設定までスムーズに変化させることができます。

## 操作性を高める様々な機能とデザイン

- 3.5 型高解像度 LCD 内蔵のカラービューファインダー：アイカップを跳ね上げることによって、LCDを直接見て操作することも可能です。
- エクスバンドフォーカス
- ピーキング
- 被写界深度表示
- 輝度レベル表示
- ヒストグラム表示
- 機能を割り当てられる 4 個のアサインブルボタン
- ハンドル、付属レンズのグリップ両方で可能なズーム操作、記録開始・停止
- バッテリーパックでの長時間動作
- USB、i.LINK<sup>1)</sup> を含む多彩なインターフェース
- 自動追尾ホワイトバランス (ATW)
- 内蔵NDフィルター
- ゲイン選択
- 4倍速、15倍速ピクチャーサーチ
- フリーズミックス機能
- 赤外線リモートコマンド<sup>1)</sup> 付属
- 外部同期用入出力
- リモートコントロールユニット対応：  
別売のリモートコントロールユニットRM-B750/B150/B170やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501から操作できます。

1)XDCAM、XDCAM EX、SxS、i.LINK、Exmor、CineAlta、およびリモートコマンドはソニー株式会社の商標です。

2)HDVは、ソニー株式会社、および日本ビクター株式会社の商標です。

その他本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。

---

## XDCAM EX web site

---

XDCAM EXに関連する情報について詳しくは、ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトをご覧ください。

## ソフトウェアの使いかた

付属のCD-ROM（ラベル表示「Utility Software for XDCAM」）には、コンピューター上でSxSメモリーカードにアクセスしたり、撮影素材を管理するときに必要な、アプリケーションソフトウェアやドライバーソフトウェアが収納されています。また、ソフトウェアのインストール方法についての情報が、PDF形式で記録されています。

### ご注意

SxSメモリーカードをExpressCardスロットが標準搭載されているコンピューターで使用するときは、コンピューターにSxSデバイスドライバーソフトウェアをインストールする必要があります。

## CD-ROMマニュアルを読む

### 準備

CD-ROM に収納されているマニュアルをご覧いただくためには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。  
Adobe Reader 6.0 以上

### メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記URLよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

Adobe、およびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

### マニュアルを読むには

次のようにします。

#### 1 CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。

表紙ページが自動的にブラウザで表示されます。

ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っている index.htm ファイルをダブルクリックしてください。

#### 2 読みたいマニュアルを選択してクリックする。

PDFファイルが開きます。

### メモ

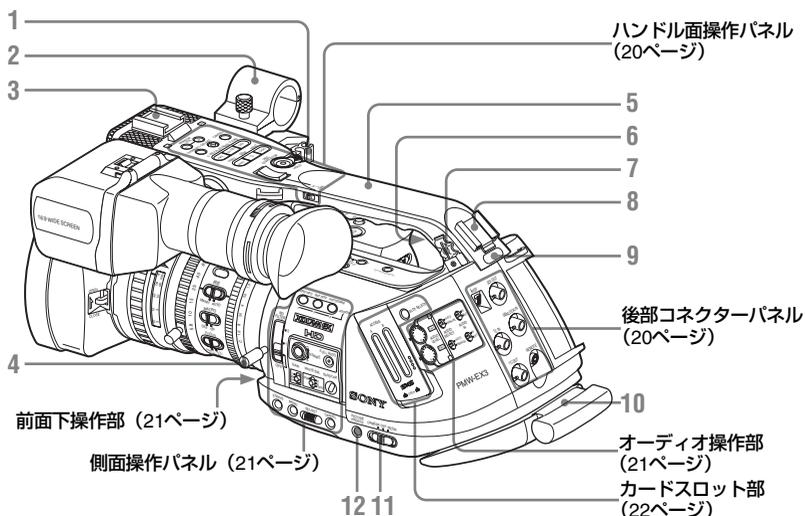
Adobe Readerのバージョンによって、ファイルが正しく表示されないことがあります。正しく表示されない場合は、「準備」の項のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

### ご注意

CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

## 各部の名称

## 本体

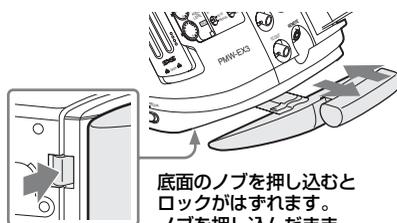


◆それぞれの機能・使いかたについては、( )内に記載されているページをご覧ください。

1. 外部マイク用ケーブルクランプ (77 ページ)
2. 外部マイク取り付け部 (77ページ)
3. 前部アクセサリシュー  
別売りのビデオライトなどを取り付けます。
4. レンズマウントレバー (37ページ)
5. ハンドル
6. 内蔵スピーカー (107ページ)
7. 別売りアクセサリ用ケーブルクランプ
8. 後部アクセサリシュー  
別売りのプロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220R (48ページ)などを取り付けます。
9. 後部タリーランプ (53、164ページ)

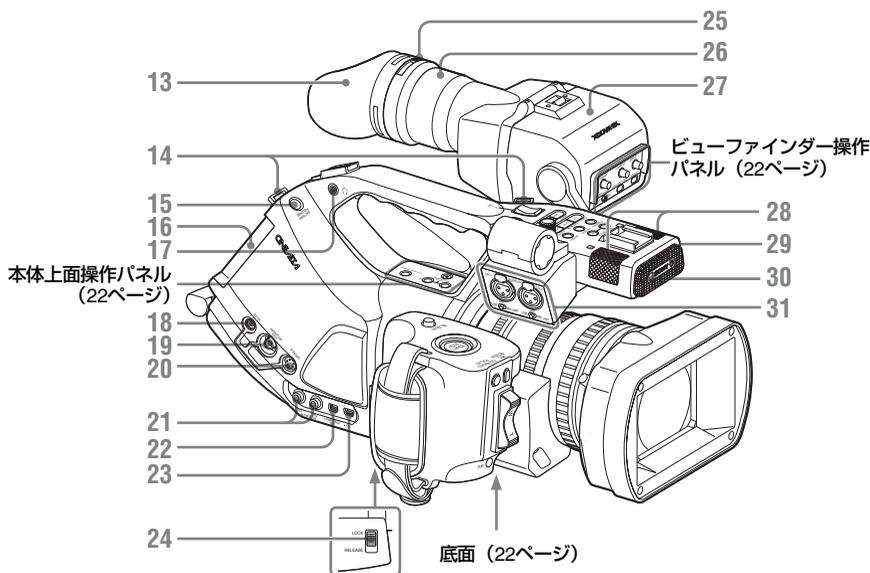
## 10. 肩当パッド

引き出して使用することもできます。



底面のノブを押し込むとロックがはずれます。ノブを押し込んだまま、出し入れしてください。

11. 電源 (CAMERA/MEDIA切り換え) スイッチ (30ページ)
12. PICTURE PROFILE (ピクチャープロフィール) ボタン (94ページ)



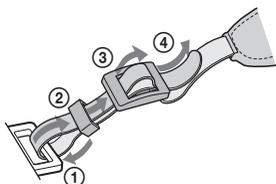
18～23の端子にはキャップ/カバーが取り付けられています。

### 13. アイカップ

左右の向きを逆にして取り付け直すこともできます。  
取り付けるときは、アイカップを少し伸ばして、溝を合わせてはめ込んでください。

### 14. ショルダーベルト取り付け部 (左右)

付属のショルダーベルトを図のように取り付けます。



15. BATTERY RELEASE (バッテリー取り出し) ボタン (28ページ)

16. バッテリーパック装着部 (28ページ)

17. ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) (78、107ページ)

18. DC IN (DC 電源入力) 端子 (30ページ)

19. MONITOR OUT (モニター出力) 端子 (BNC 型) (141ページ)

20. S VIDEO (Sビデオ) 端子 (4ピン) (141ページ)

21. AUDIO OUT (音声出力) CH-1/CH-2端子 (RCAピンジャック) (141ページ)

22. COMPONENT OUT (コンポーネント出力) 端子 (Mini D 端子) (141ページ)

23. USB端子 (Mini B端子) (142ページ)

24. レンズマウントゆるみ止めスイッチ (36ページ)

25. 視度調整リング (32ページ)

26. アイピース (34ページ)

27. ビューファインダー (32ページ)

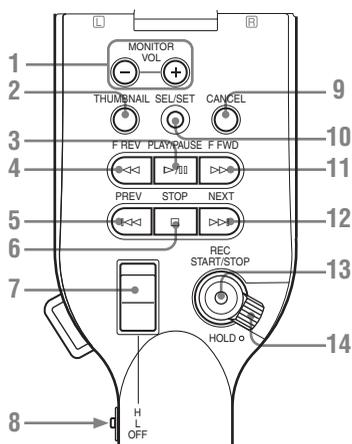
28. 内蔵ステレオマイク (77ページ)

29. REC/TALLY (記録/タリー) ランプ (53、164ページ)

30. 赤外線リモコン受光部

31. AUDIO IN CH-1/CH-2 (オーディオ入力チャンネル1/チャンネル2) 端子 (XLR) と入力切り換えスイッチ (77ページ)

## ハンドル面操作パネル

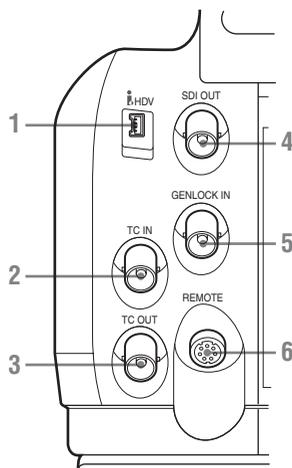


1. **MONITOR VOL (モニター音量調節) ボタン (78、107ページ)**
2. **THUMB NAIL (サムネイル表示) ボタン (105ページ)**
3. **PLAY/PAUSE(再生/一時停止)ボタン(105ページ)**
4. **F REV (逆高速再生) ボタン (107ページ)**
5. **PREV (逆方向クリップジャンプ) ボタン (107ページ)**
6. **STOP (停止) ボタン (105ページ)**
7. **ハンドルZOOM (ズーム) ボタン (68ページ)**
8. **ズームスピードスイッチ (68ページ)**
9. **CANCEL(キャンセル)ボタン(123ページ)**
10. **SEL/SET(選択/確定)ボタン(十字スティック) (123ページ)**  
上(前)下(後)左右に倒すか、軸方向に押して使用します。  
本書の操作説明では「十字スティック」と記載します。
11. **F FWD (高速再生) ボタン (107ページ)**
12. **NEXT (順方向クリップジャンプ) ボタン (107ページ)**
13. **REC START/STOP (記録開始 / 記録停止) ボタン (53ページ)**

## 14. REC HOLD (記録ホールド) レバー (54ページ)

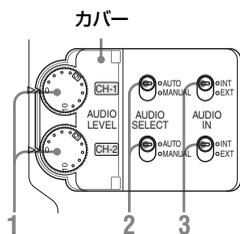
### 後部コネクターパネル

各端子にはキャップが取り付けられています。



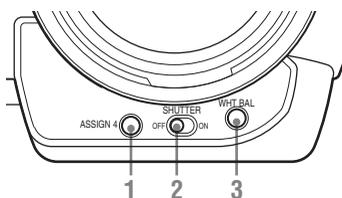
1. **i.LINK (HDV) 端子 (4ピン、IEEE1394 準拠S400) (144ページ)**
2. **TC IN (タイムコード入力) 端子 (BNC型) (147ページ)**
3. **TC OUT (タイムコード出力) 端子 (BNC型) (147ページ)**
4. **SDI OUT (シリアルデジタル出力) 端子 (BNC型) (140ページ)**
5. **GENLOCK IN (外部同時入力) 端子 (BNC型) (147ページ)**
6. **REMOTE (リモート) 端子 (8ピン) (149ページ)**

## オーディオ操作部



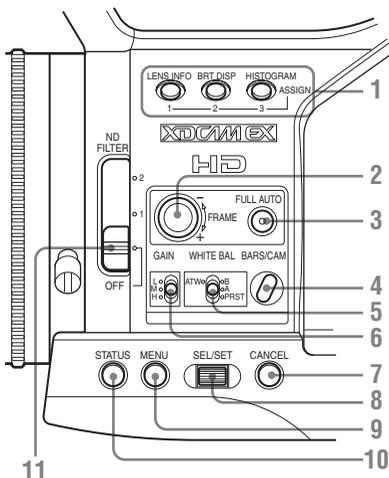
1. AUDIO LEVEL CH-1 /CH-2(オーディオレベルCH-1/CH-2) 調整つまみ (76ページ)
2. AUDIO SELECT (音声レベル調整モード切り換え) スイッチ (76ページ)
3. AUDIO IN (音声入力切り換え) スイッチ (76ページ)

## 前面下操作部



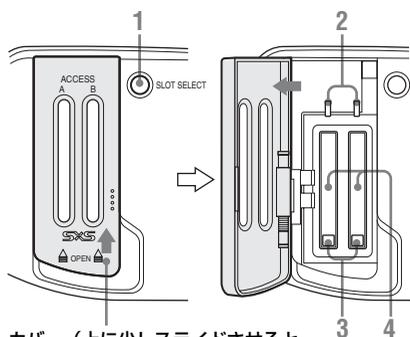
1. ASSIGN 4 (アサインابل4) ボタン (81ページ)
2. SHUTTER (シャッター) スイッチ (63ページ)
3. WHT BAL (ホワイトバランス自動調整) ボタン (57ページ)

## 側面操作パネル



1. ASSIGN 1/2/3 (アサインابل1/2/3) ボタン (81ページ)
2. S&Q (スロー & クイック) モーションダイヤル (85ページ)
3. FULL AUTO (フルオートモード) ボタンとインジケーター (53ページ)
4. BARS/CAM (カラーバー/カメラ信号切り換え) ボタン (79ページ)
5. WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ (57ページ)
6. GAIN (ゲイン) スイッチ (62ページ)
7. CANCEL(キャンセル) ボタン(123ページ)
8. SEL/SET (選択/確定) ダイアル (ジョグダイヤル) (123ページ)  
上下に回すか、水平方向に押して使用します。  
本書の操作説明では「ジョグダイヤル」と記載します。
9. MENU (メニュー表示 ON/OFF) ボタン (123ページ)
10. STATUS (ステータス表示切り換え) ボタン (117ページ)
11. ND フィルター切り換えスイッチ (57ページ)

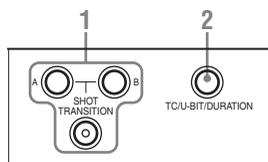
## カードスロット部



カバー（上に少しスライドさせるとロックがはずれます。）

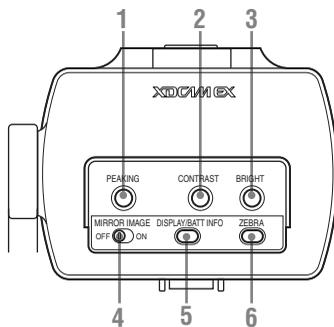
1. SLOT SELECT (SxSメモリーカード選択) ボタン (44ページ)
2. ACCESS (アクセス) ランプ (44ページ)
3. EJECT (SxSメモリーカード取り出し) ボタン (44ページ)
4. SxSメモリーカードスロット (44ページ)

## 本体上面操作パネル



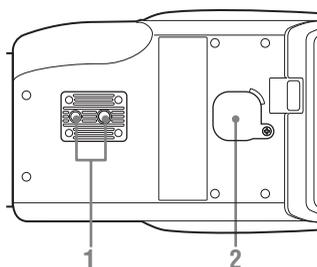
1. SHOT TRANSITION (ショットトランジション) 操作部 (88ページ)
2. TC/U-BIT/DURATION (タイムデータ切り換え) ボタン (74ページ、106ページ)

## ビューファインダー操作パネル



1. PEAKING (ピーキング) つまみ (70ページ)
2. CONTRAST (コントラスト) つまみ (32ページ)
3. BRIGHT (明るさ) つまみ (32ページ)
4. MIRROR IMAGE (反転表示) スイッチ (34ページ)
5. DISPLAY/BATT INFO (画面表示/バッテリーインフォ) ボタン (25、29ページ)
6. ZEBRA (ゼブラ) ボタン (61ページ)

## 底面



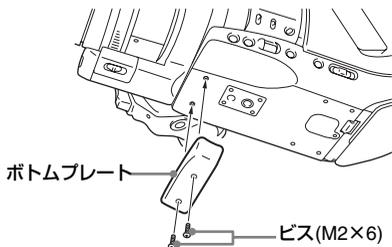
1. 三脚用ネジ穴

### ご注意

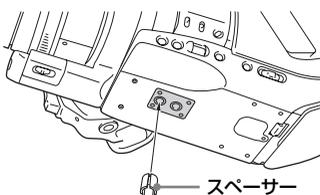
穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。ネジの径と合わない、本機が落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。

### 三脚に取り付ける際は

本機を安定させるため、底面のビス2ヶ所を取りはずし、付属のボトムプレートと同梱のビス (M2×6) で固定してください。



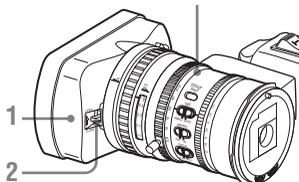
別売りのVCT-SP2BPに取り付ける際はカムコーダサポートVCT-SP2BPをご使用のときは、2つある三脚用ネジ穴のうち本機レンズ側にある穴へ付属のスペーサーを挿入してから取り付けを行ってください。



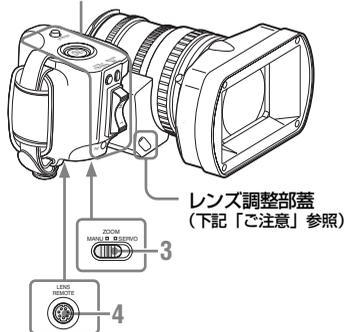
2. バックアップ電池取り付け部 (160ページ)

ズームレンズVCL-614B2X (付属)

レンズ調整部 (23ページ)



グリップ面操作部 (24ページ)



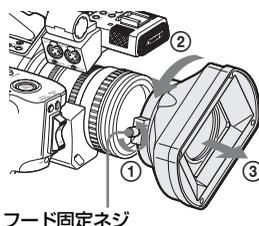
1. レンズフード
2. レンズキャップ開閉レバー (53ページ)
3. ZOOM (ズームモード切り換え) スイッチ (67ページ)
4. LENS REMOTE (レンズコントロールリモコン) 端子 (69ページ)

ご注意

レンズは工場出荷時に最適な状態に調整されていますので、蓋の中の調整部に触らないでください。

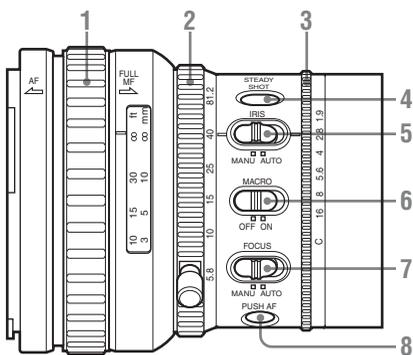
レンズフードを取りはずすには

- ①フード固定ネジをゆるめ、②矢印の方向に回して、③取りはずします。



再度取り付けるときは、本体とフードの印を合わせて、取りはずしたときと反対方向に回し、フード固定ネジを締めてください。

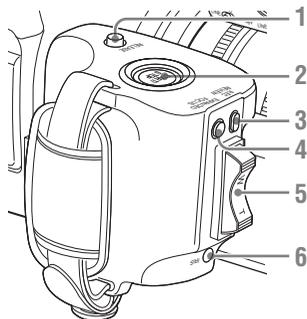
レンズ調整部



1. フォーカスリング (69ページ)
2. ズームリング (67ページ)
3. アイリスリング (66ページ)

4. **STEADY SHOT** (手ぶれ補正) ボタン (72ページ)
5. **IRIS** (アイリス調整モード選択) スイッチ (66ページ)
6. **MACRO** (マクロ) スイッチ (72ページ)
7. **FOCUS** (フォーカス調整モード) スイッチ (69ページ)
8. **PUSH AF** (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン (71ページ)

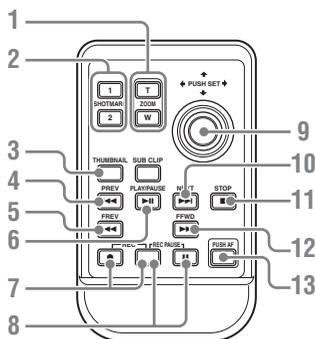
## グリップ面操作部



1. **RELEASE** (グリップロック解除) ボタン (39ページ)
2. **REC START/STOP** (記録開始/記録停止) ボタン (54ページ)
3. **REC REVIEW** (レックレビュー) ボタン (80ページ)
4. **EXPANDED FOCUS**(エクスパンドフォーカス) ボタン (70ページ)
5. 電動ズームレバー (68ページ)
6. **IRIS** (ワンプッシュオートアイリス) ボタン (66ページ)

## 赤外線リモートコマンダー (付属)

特に説明のないボタンは、本体の対応するボタンと同様に使用できます。



1. **ZOOM T/W** (ズーム) ボタン
2. **SHOTMARK** (ショットマーク) 1、2ボタン (80、115ページ)
3. **THUMBNAIL** (サムネイル) ボタン
4. **PREV** (逆方向クリップジャンプ) ボタン
5. **F REV** (逆高速再生) ボタン
6. **PLAY/PAUSE** (再生/一時停止) ボタン
7. **REC** (記録開始) ボタン
  - ボタンと無印のボタン (誤操作防止ボタン) を同時に押すと、記録を開始します。
8. **REC PAUSE** (記録一時停止) ボタン
  - ボタンと無印のボタン (誤操作防止ボタン) を同時に押すと、記録を停止します。
9. **PUSH SET** (選択/確定) ボタン  
本体のSEL/SETボタン(十字スティック)と同等に機能します。
10. **NEXT** (順方向クリップジャンプ) ボタン
11. **STOP** (停止) ボタン
12. **F FWD** (高速再生) ボタン
13. **PUSH AF** (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン

### ご注意

SUB CLIPボタンは、本機では使用しません。

◆リモコンで操作するときは、「リモコンを使う」(41ページ)をご覧ください。

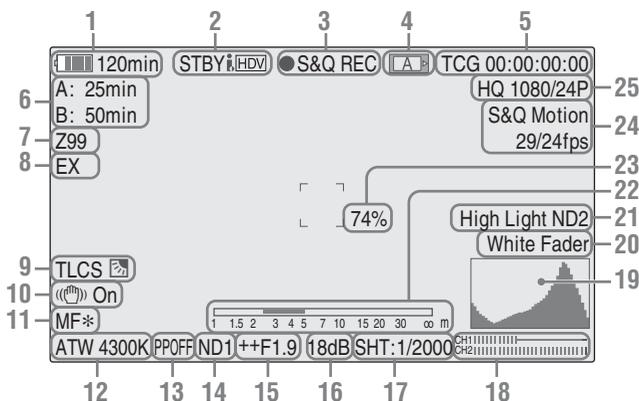
# 画面表示

## カメラモード時の画面表示

本機がカメラモード（撮影のためのモード）になっているときは、DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。  
もう一度DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、表示が解除されます。  
「●REC」などの記録ステータス表示は、DISPLAY/BATT INFOボタンの操作にかかわらず表示されます。

### 名称の注釈

- [M] :VF SETメニューのDisplay On/Offで個別に表示/非表示を選択することもできます（133ページ参照）。
- [A] :対応する機能を割り当てたアサインボタンで個別に表示/非表示を選択することができます（81ページ参照）。
- [D] :画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます（26ページ参照）。



### 1. バッテリー残量/DC IN電圧表示 [M] (29ページ参照)

### 2. i.LINK状態表示

i.LINK接続されている場合（144ページ）のみ、接続機器の状態（●RECまたはSTBY）を表示します。

### 3. 特殊記録/動作状態表示

●REC	録画中
STBY	録画待機中
●S&Q REC	スロー&クイックモーション録画中

S&Q STBY スロー&クイックモーション録画待機中

●INT REC インターバルレック録画中

INT STBY インターバルレック録画待機中

●FRM REC フレームレック録画中

FRM STBY フレームレック録画待機中

### 4. メディア状態表示

[A]	スロットAのメモリーカードが有効
[B]	スロットBのメモリーカードが有効

- 5. タイムデータ表示 **[M]** (75ページ参照)
- 6. メディア残量表示 **[M]** (47ページ参照)
- 7. ズームポジション表示 **[M]** (67ページ参照)
- 8. レンズエクステンダー表示  
(レンズエクステンダー使用時のみ)
- 9. TLCSモード表示 **[M]** **[D]** (129ページ参照)

	バックライトモード
	標準モード
	スポットライトモード

- 10. 手ぶれ補正モード表示 **[M]** (72ページ参照)
- 11. フォーカスモード表示 **[M]** (MF時のみ **[D]**)  
(71ページ参照)  
(オートフォーカスレンズ装着時のみ)
- 12. ホワイトバランスモードと色温度表示 **[M]** **[D]** (58ページ参照)
- 13. ピクチャープロファイル表示 **[M]** **[D]** (96ページ参照)
- 14. NDフィルター表示 **[M]** (57ページ参照)
- 15. アイリスポジション表示 **[M]** **[D]** (66ページ参照)
- 16. ゲイン表示 **[M]** **[D]** (62ページ参照)
- 17. シャッターモード / シャッタースピード表示 **[M]** **[D]** (64ページ参照)
- 18. オーディオレベルメーター **[M]** (77ページ参照)

- 19. ヒストグラム表示 **[M]** **[A]**
- 20. フェーダー表示 **[M]** (93ページ参照)
- 21. 映像レベル注意表示 **[M]**  
映像レベルが高すぎるときや低すぎるときに、適切なNDフィルターの番号を注意表示します。
- 22. 被写界深度バー表示 **[M]** **[A]**  
(シリアルレンズ装着時のみ)
- 23. 輝度レベル表示 **[M]** **[A]**
- 24. 特殊記録モード表示 **[M]**

Frame Rec	フレームレックモード
Interval Rec	インターバルレックモード
S&Q Motion xx/xx fps	スロー&クイックモーションモード
EXT-LK	タイムコード外部ロック (147ページ参照)

- 25. ビデオフォーマット表示 **[M]** (55ページ参照)

## ダイレクトメニュー操作

名称の後ろに**[D]**が付いた項目は、画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます。

ダイレクトメニューは、OTHERSメニューのDirect Menu (138ページ) でAllモード、Partモード、Offを切り換えます。

Partモードに設定されているときは、GAIN、SHUTTER、WHITE BALスイッチの設定によって操作が制限されます。

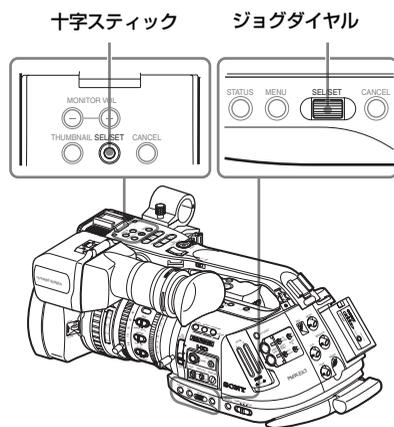
Allモードに設定されているときは、GAIN、SHUTTER、WHITE BALスイッチの操作は無効になります。

### ご注意

フルオートモード (54ページ) で強制的に自動モードになる機能は、FULL AUTOボタンのインジケーターが点灯しているときはダイレクトメニュー操作はできません。

### 操作するには

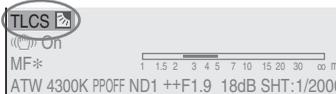
設定には、ハンドル面操作パネルの十字スティックまたは側面操作パネルのジョグダイヤルを使用します。



- 1 十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

ダイレクトメニューがAllまたはPartになっているときは、操作できる項目のうちの一つにカーソルが表示されず。

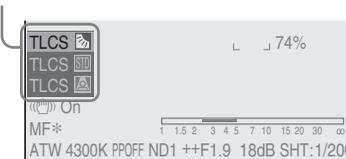
例：TLCSモード表示



- 2** 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して操作したい項目にカーソルを合わせ、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

選択した項目のダイレクトメニューが表示されます。

例：TLCSモードのダイレクトメニュー



- 3** 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して設定を選び、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

メニューが消えて、新しい設定が表示されます。

## 電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

AC電源を接続した場合は、バッテリーパックが装着されていても、AC電源が優先されます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーおよびAC電源を使用しないでください。

- リチウムイオンバッテリーパック：BP-U30/U60
- ACアダプター（バッテリーチャージャー兼用）：BC-U1/U2

## バッテリーパックを使う

リチウムイオンバッテリーパックBP-U30またはBP-U60を装着します。

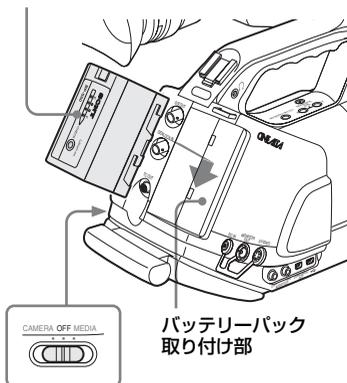
## ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1/U2を使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- 本機で使用できないバッテリーパックを装着したときは、電源を入れるとビューファインダー画面にエラーメッセージが表示されます。BP-U30またはBP-U60に交換するか、バッテリーパックを取りはずして、DC IN端子に電源を接続してください。

## 取り付ける

バッテリーパックを奥まで差し込み、押し下げてロックします。

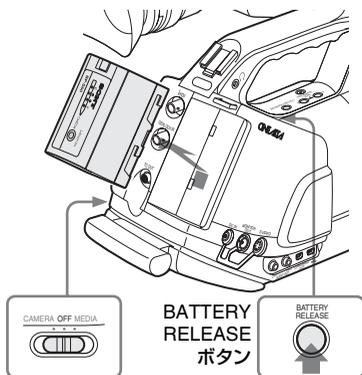
## バッテリーパック



電源スイッチ：OFF

## 取りはずす

BATTERY RELEASEボタンを押しながらバッテリーパックを持ち上げてロックをはずして、引き抜きます。

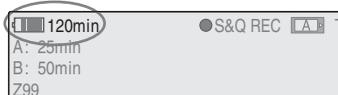


電源スイッチ：OFF

## 残量を確認する

### 使用中に確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、ビューファインダー画面にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。



アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

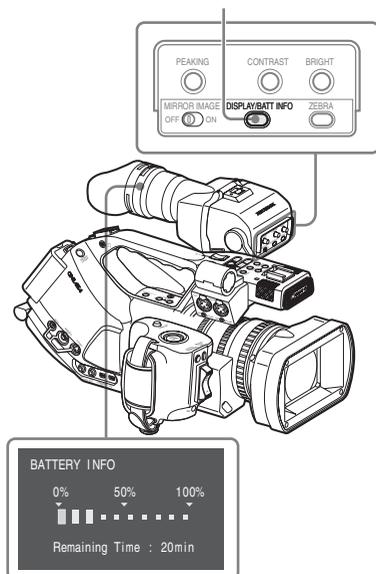
### ご注意

バッテリーパックの動作時間は、バッテリーパックの使用頻度や使用時の周囲温度によって変化します。

### 電源 OFF 状態で確認する

本機の電源を切った状態でも、DISPLAY/BATT INFOボタンを長く押し、ビューファインダーにバッテリーパックの情報 (BATTERY INFO画面) が表示されます。表示は5秒後に消灯します。

### DISPLAY/BATT INFOボタン



## バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると (Low BATT状態)、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、タリランプの点滅とブザー音で警告します。さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると (BATT Empty状態)、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り換わります。いったん電源スイッチをOFFにして、DC IN端子に電源を接続するか、充電されたバッテリーパックに交換してください。

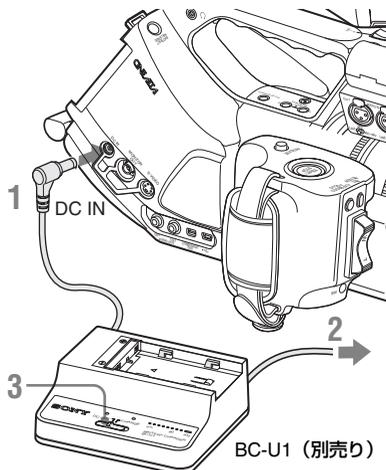
### 警告残量を変更する

工場出荷時には、Low BATTはフル充電の10%、BATT Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、OTHERS メニューのBattery Alarm (138ページ) で変更することもできます。

## AC電源を使う（DC IN電源）

本機は BP-U30/U60 用のバッテリーチャージャー BC-U1/U2をACアダプターとして使用することによって、下記のようにAC電源に接続して動作させることができます。

接続例：BC-U1の場合



- 1 BC-U1/U2 の DC 電源出力ケーブルを本機のDC IN端子に接続する。
- 2 BC-U1/U2に付属の電源コードをBC-U1/U2のAC電源入力端子に接続して、AC電源に接続する。
- 3 BC-U1/U2のモード切り換えスイッチをDC OUTに設定する。

◆BC-U1/U2 の取扱説明書も併せてご覧ください。

DC IN端子からの電源で撮影・再生しているときは、ビューファインダーの画面に入力電圧が表示されます。



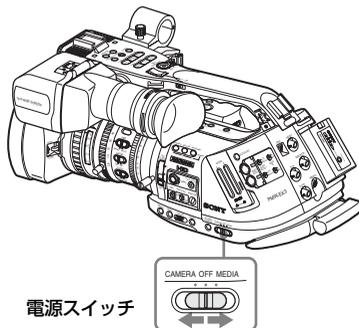
### ご注意

BC-U1/U2のモードスイッチをCHARGEに設定しても、本機に装着したバッテリーパック

は充電されません。本機から取りはずして、チャージャーに直接マウントして充電してください。

## 電源を入れる

本機には、撮影するためのカメラモードと再生のためのメディアモードがあり、電源を入れるときに選択します。



電源スイッチをCAMERA 側にして電源を入れるとカメラモードになります。電源スイッチをMEDIA 側にして電源を入れるとメディアモードになります。

## 電源を切る

電源スイッチをOFFの位置にします。

### ご注意

- 本機は、電源スイッチをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取りはずしてください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをOFFにして、さらに10秒程度時間をおいてから取りはずしてください。電源スイッチをOFFにしない場合や、OFFにしてもすぐにバッテリーパックやDC IN電源を取りはずした場合、本機やSxSメモリーカードの故障、または誤動作の原因となることがあります。

# 時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池を交換した後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面に初回設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

## INITIAL SETTING

Time Zone: UTC +09:00 TOKYO  
Date/Time: 2008/01/01 00:00:00 SET  
Finish

## Time Zone について

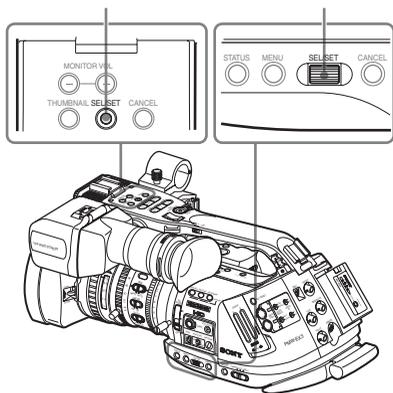
UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

## Date/Timeを設定する

設定には、ハンドル面操作パネルの十字スティックまたは側面操作パネルのジョグダイヤルを使用します。

十字スティック

ジョグダイヤル



- 1 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回してカーソルをDate/Timeに合わせ、十字スティックかジョグダイヤルを押す。

カーソルが年の設定エリアに移動します。

## INITIAL SETTING

Time Zone: UTC +09:00 TOKYO  
Date/Time: 2008/01/01 00:00:00 SET  
Finish

- 2 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して年を設定し、十字スティックかジョグダイヤルを押す。カーソルが月の設定エリアに移動します。
- 3 年と同様に、月、日、時、分、秒の順で設定する。  
SETで十字スティックかジョグダイヤルを押すと、カーソルがDate/Timeに戻ります。
- 4 カーソルをFinishに合わせて、十字スティックかジョグダイヤルを押す。

設定画面が消え、時計合わせが完了します。電源スイッチで選択したモード(カメラモードまたはメディアモード)での動作に移行します。

設定画面が消えた後は、OTHERSメニューのTime Zone(136ページ)およびClock Set(136ページ)を使用してTime ZoneおよびDate/Timeの設定を変更することができます。

## ご注意

- 動作電源が供給されていない(バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない)状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

## ビューファインダーを調整する

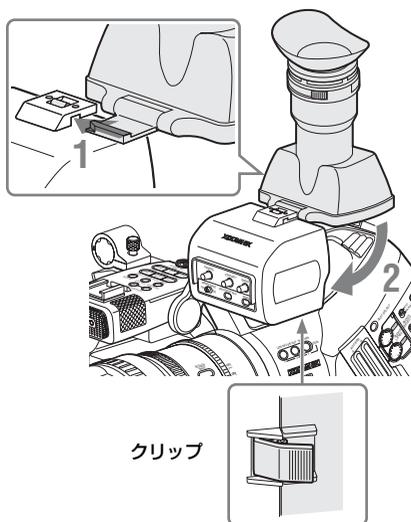
ビューファインダーは、使用状況に合わせて位置、角度や、明るさ、コントラスト、色の濃さなどを、見やすいように調整することができます。

明るさなどを変えても、記録される映像に影響はありません。

### ⚠ 警告

接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

### アイピース（付属）を取り付ける

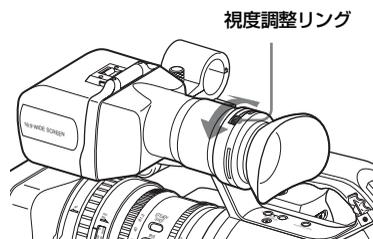


クリップ

- 1 アイピースを水平にスライドさせて取り付ける。
- 2 アイピースを閉じ、底のクリップにロックさせる。

### 視度を調整する

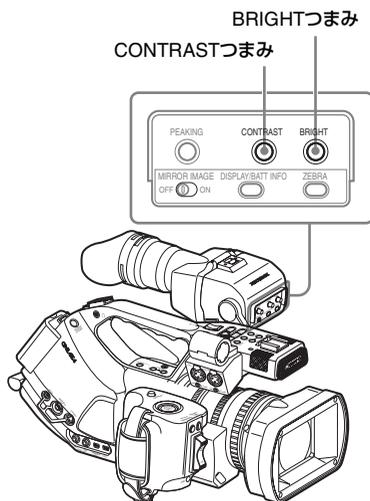
視度調整リングを操作すると、ユーザーの視力に合わせてビューファインダーの画像がはっきり見えるように調整することができます。



市販の口径52mmの遠視補正レンズを取り付けることもできます。

### コントラスト、明るさを調整する

ビューファインダー背面のつまみで調整します。



**CONTRAST:** コントラスト

**BRIGHT:** 明るさ

それぞれ、正面から見て右回しでレベルが高くなり、左回しで低くなります。

## 色の濃さを調整する

VF SETメニューを使用して調整できます。MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、 でVF SETメニューを選択し、メニューからVFを選択してColorを設定してください。



◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

## カラー/モノクロを切り換える

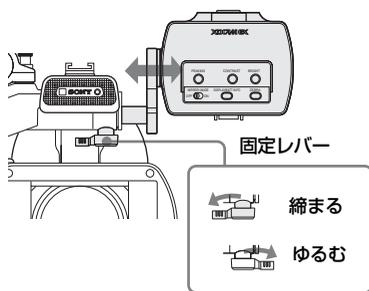
モノクロの方が被写体の確認やフォーカス合わせがしやすい場合は、ビューファインダーの画面をモノクロ表示に切り換えることができます。

VF SETメニューのVFを選択し、Modeの設定をColorからB&Wに変更してください。アサインボタン(81ページ)にVF Modeを割り当てると、ボタン操作でビューファインダーのカラー/モノクロの切り換えが可能になります。

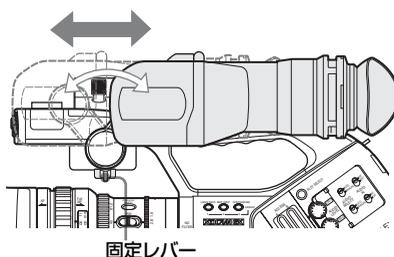
## 位置(目からの距離)を調整する

ハンドル下の固定レバーをゆるめる(ビューファインダー方向に回す)と、支柱を水平方向に引き出したり、支柱を軸にして前後の位置を調整することができます。

## 1 水平位置を決める。



## 2 前後の位置を決める。



位置が決まったら、固定レバーを元どおり締めてください。

### ご注意

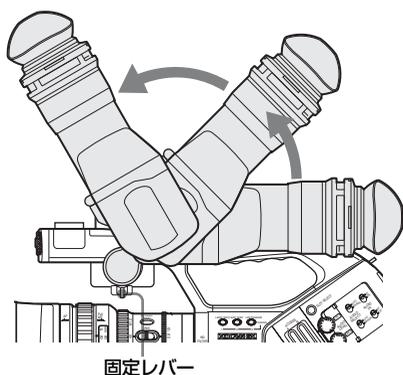
前後の位置を調整するときは、ビューファインダーの角度も変わります。レバーを締めてから、見易い角度に調整し直してください。

## 角度を調整する

ビューファインダーの角度を調整します。

### ご注意

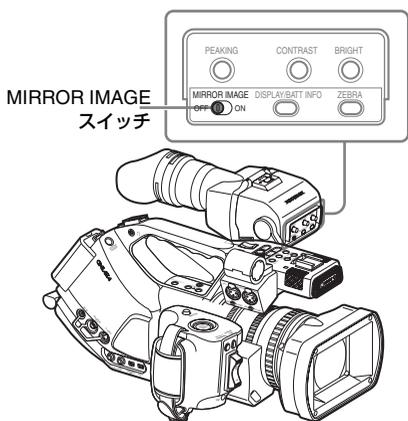
ハンドル下の固定レバーがきちんと締まっていないと、前後の位置がずれる場合がありますので、締めてから調整してください。



### 画像を反転させるには

ビューファインダーは、被写体側から見ることもできるように180°回転します。

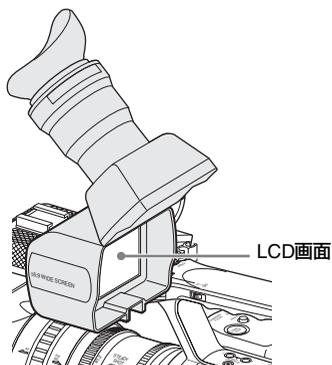
この状態では、ビューファインダー背面のMIRROR IMAGEスイッチをONにして、文字表示の上下左右を反転させることによって、メニューや操作メッセージを通常どおり読むことができます。



本機がメディアモードになっているときは、映像の上下左右も反転します。カメラモードでは映像は上下のみ反転します。ただしレックレビュー（80ページ）実行時は左右も反転します。

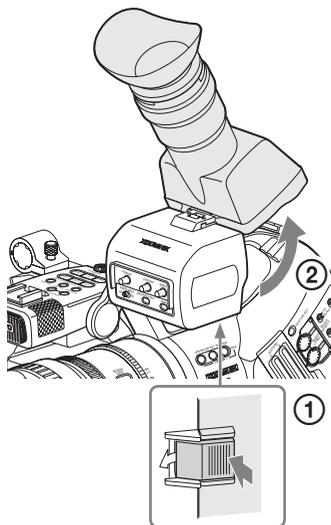
### アイピースを開く・取りはずす（LCD画面を直接見て操作する）

ビューファインダーのアイピースを開けると、内部のLCD画面を直接見ることができます。



### 開くには

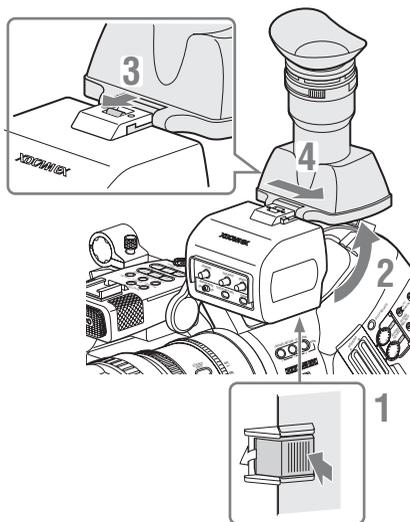
底のクリップを押してはずし、上に開きます。120°開いた位置でロックします。



通常はロック位置で使用してください。ロック位置からさらに開くこともできますが、再度120°の位置でロックしたい場合は、

いったん元の閉じた位置まで戻してから開き直してください。

取りはずすには



- 1 底のクリップを押してはずす。
- 2 アイピースを上げる。
- 3 上のボタンをアイピースと反対の方向にスライドさせてロックをはずす。
- 4 アイピースを水平にスライドさせて取りはずす。

## レンズを調整する

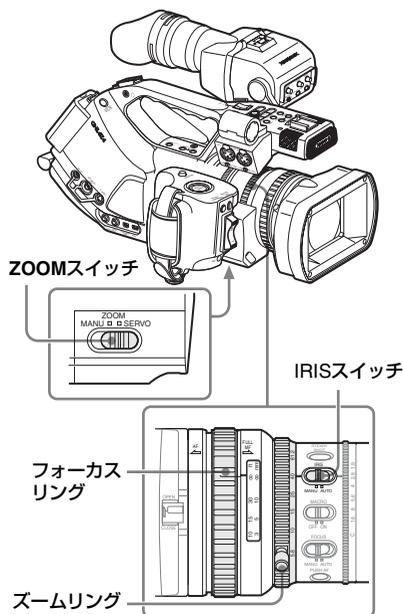
本書では、付属の VCL-614B2X と別売りの XS8X4AS-XB8 (36ページ参照) を、「専用レンズ」と呼びます。

### ⚠ 警告

レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光がレンズを通して機器内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

## フランジバックを調整する

ズーム操作の際に望遠・広角の両方でフォーカスがきちんと合わない場合は、フランジバック（レンズ取り付け面から結像面までの距離）調整を行います。一度調整すれば、レンズを交換しない限り再調整の必要はありません。

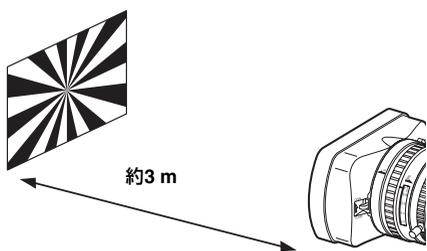


付属および別売りのソニー 1/2型EXマウントの専用レンズでは、メニュー操作によってフランジバックを自動的に調整することができます。

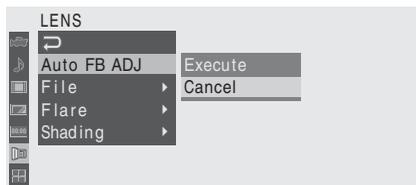
### ご注意

- コントラストの不鮮明な被写体を使用したり、調整中に本機や被写体を動かすと、調整が正しく行われませんので、調整開始後は完了するまでレンズや本体に触れないでください。
- シャッター設定が SLS になっている場合は、SLS設定をOFFにしてから調整を行ってください。
- フランジバック調整中に、照明器具や太陽、明るい窓などの光源が、画枠に映りこまないようにしてください。

- 1 電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードで起動する。
- 2 IRISスイッチをAUTOにする。
- 3 フランジバック調整用チャートなどのコントラストのはっきりした被写体を約3m離れた位置に置き、適正な映像出力が得られるように照明する。



- 4 ZOOMスイッチをSERVO側にする(電動ズームモード)。
- 5 MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でLENSメニューを選択し、メニューからAuto FB ADJを選択する。



- 6 カーソルをExecuteに合わせ、十字スティックがジョグダイヤルを押す。  
フランジバック調整が始まります。

**調整中は**  
実行中メッセージが表示されます。

**調整が正常に終了すると**  
完了メッセージに変わります。

**フランジバック調整が正しく行われなかった場合は**  
エラーメッセージが表示されます。  
被写体や照明の状態を確認して、調整をもう一度やり直してください。

◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

専用以外のレンズを使用するときは、レンズの説明書を参照して、マニュアルでフランジバック調整を行ってください。

## レンズを交換する

付属の標準ズームレンズ VCL-614B2X に加え、本機専用の広角ズームレンズが別売りで用意されています。

### PMW-EX3 専用の交換レンズ

Fujinon XS8X4AS-XB8 : 1/2型EXマウント広角ズームレンズ

付属のレンズアダプターを使用することによって、ソニー 1/2型バヨネットマウントレンズを装着することもできます。  
ただし、専用レンズ以外のレンズを使用する場合は、使用できる機能やメニュー設定、および性能が制限される場合があります。

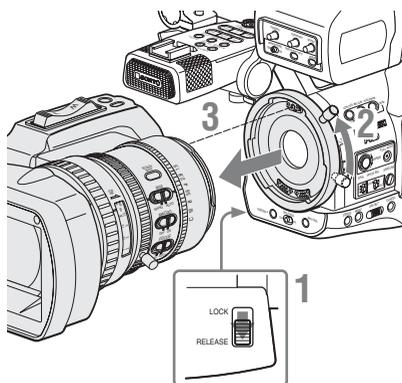
- ◆専用レンズ以外で、本機で使用できるレンズについては、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

### ご注意

レンズの交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。

### 付属のレンズを取りはずす

付属のレンズは、次の手順で取りはずしてください。



- 1 レンズマウントゆるみ止めスイッチを**RELEASE**側にする。
- 2 レンズを下から支えて、レンズマウントレバーを上げる。
- 3 レンズを前方に引き抜く。

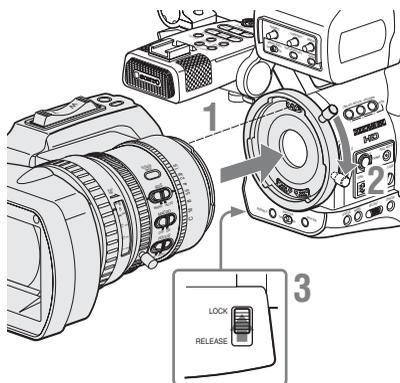
### ご注意

- 別のレンズをすぐに取り付けないときは、付属のマウントキャップを取り付け、レンズマウントレバーを元の位置に下げてください。
- 付属以外のレンズを初めて取り付けた場合、本機の起動に20秒程度かかる場合があります。

### 専用レンズを取り付ける

別売りの1/2型EXマウントレンズを取り付けるときは、次のようにします。

付属のレンズを再度取り付けるときも、同じ手順で取り付けてください。

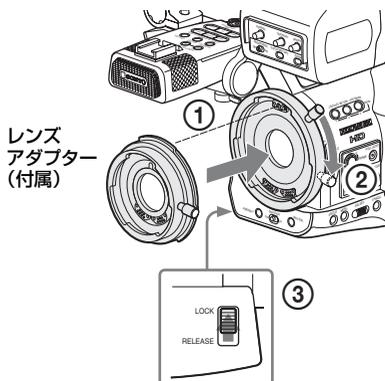


- 1 レンズの位置合わせピンを、本体側の溝に合わせてはめ込む。
- 2 レンズマウントレバーを下げる。
- 3 レンズゆるみ止めスイッチを**LOCK**側に戻す。

### ソニー 1/2型バヨネットマウントレンズを取り付ける

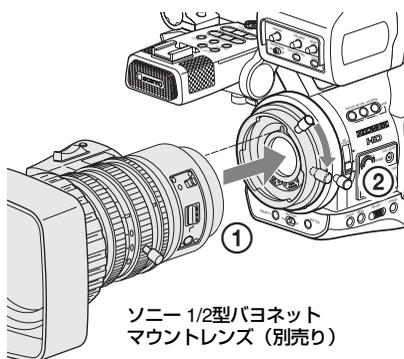
本機に付属のレンズアダプターを使用します。

- 1 レンズアダプターを本体に取り付ける。



- ① レンズアダプターの位置合わせピンを本体側の溝に合わせてはめ込む。
- ② 本体のレンズマウントレバーを下げる。  
(レンズアダプター側のレンズマウントレバーは上げておきます。)
- ③ レンズマウントゆるみ止めスイッチをLOCK側に戻す。

## 2 レンズを取り付ける。



- ① レンズの位置合わせピンを、レンズアダプターの溝に合わせてはめ込む。
- ② レンズアダプターのレンズマウントレバーを下げる。

取りはずしは逆の手順で行ってください。

## レンズファイル呼び出す

レンズ固有の特性(補正データ)を内蔵のメモリーにファイルとして保存しておくことによって、レンズを交換したときもファイルを呼び出すだけで最適な状態に設定することができます。

### 専用レンズを使用するときは

専用レンズ用のレンズファイル(2ファイル)には、それぞれに最適な補正データが工場出荷時に保存され、自動的に呼び出されるように設定されています(LENS メニュー Auto Recall: On)。

### 専用以外のレンズを使用するときは

LENSメニューを使用して、補正データを保存したレンズファイル呼び出します。

- ◆ レンズファイルの保存について詳しくは、「レンズファイルの操作」(159ページ)をご覧ください。

### シリアル通信に対応したレンズに交換したときは

対応するファイルが自動的に呼び出されません。

### シリアル通信に対応していないレンズに交換したときは

対応するファイルをメニュー操作で呼び出してください。

- 1 MENU ボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、 で LENS メニューを選択する。
- 2 FileからRecallを選択し、選択肢エリアから対応するレンズファイルを選択する。

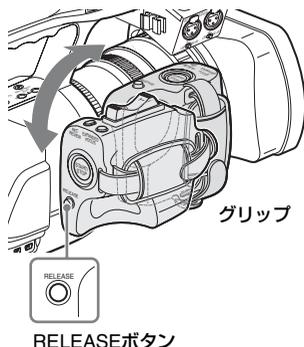
LENS	
	VCL-614B2X
	Lens ID XS8X4AS-XB8
	Recall ▶ User_File1
	Store ▶ User_File2
	File ID : User_File3
	No Offset : User_File4
	Auto Recall : On

- 3 確認メッセージが表示されたら、「実行」(Execute)を選択する。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

## グリップを調整する

付属のレンズのグリップは約120度回転します。任意の位置で撮影が可能です。RELEASEボタンを押しながら、ゆっくり回転させてください。



15度ごとにクリック位置があります。クリックした位置でRELEASEボタンを放して、グリップをロックしてください。

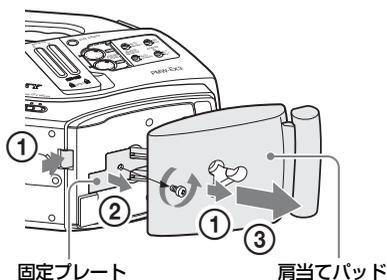
## 頬当てパッドを使う

本機を右肩に乗せて操作するとき、付属の頬当てパッドを取り付けることによって、本体側面のつまみ類が直接顔に当たるのを防ぐことができます。

### 取り付けるには

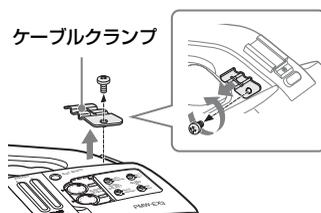
頬当てパッドと別売りアクセサリ用ケーブルクランプを、本体からいったん取りはずします。

#### 1 頬当てパッドを取りはずす。



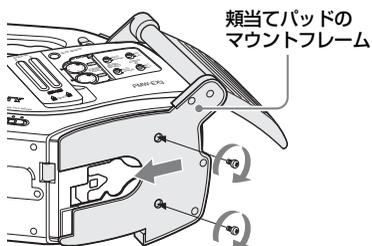
- ① ノブを押しながら、頬当てパッドを引き出す。
- ② ネジをゆるめ、本体底面から固定プレートをははずす。
- ③ 頬当てパッドを引き抜く。

#### 2 別売りアクセサリ用ケーブルクランプを取りはずす。

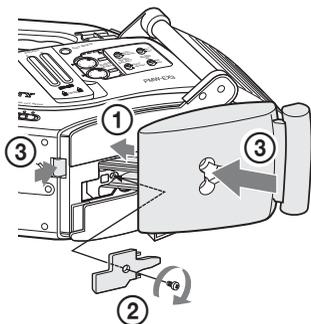


- 3 頬当てパッドを、本体の後ろ側からはめ込んで、付属のネジ2本で固定する。

頬当てパッドのマウントフレーム底部の穴を、本体側の穴に合わせてください。



- 4 肩当てパッドを元どおり取り付け。



- ① 肩当てパッドを本体底の穴に差し込む。
- ② 固定プレートを、元どおり本体にネジ止めする。
- ③ ノブを押しながら、肩当てパッドを押し込む。

- 5 手順2で取りはずしたケーブルクランプを取り付ける。

ケーブルクランプの穴を、頬当てパッドのマウントフレーム（支柱部先端）の穴と本体側のネジ穴に合わせ、付属のネジで共締めする。

（手順2で取りはずしたネジは、別に保存してください。）

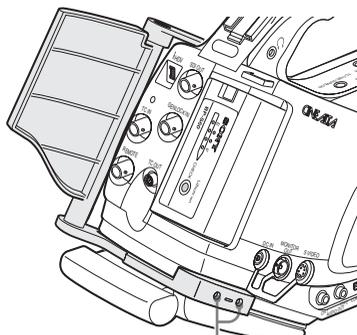


- 6 支柱を垂直に引き上げるように持って、パッドを本体側面方向に倒す。

側面のつまみ類を操作するときは、後面パネル側に倒してください。



**DC ケーブルクランプを取り付けるには**  
 頬当てパッドのフレームのアクセサリ用ネジ穴（フラップと反対側の下部）に付属のDCケーブルクランプを取り付けることによって、DC IN端子に接続したBC-U1/U2のDC電源出力ケーブル（30ページ参照）を固定することができます。



アクセサリ用ネジ穴



- 1 ケーブルクランプ裏の突起をフレームの溝に合わせてはめ、ネジ穴が揃うようにスライドさせて位置を調整する。
- 2 付属のネジで固定する。

## リモコンを使う

### 初めて使用するときは

付属の赤外線リモートコマンダー(リモコン)を初めて使用するときは、電池ホルダーから絶縁シートを引き抜いてください。



ホルダーには工場出荷時にリチウム電池CR2025がセットされています。

### リモコンで本機を操作するときは

リモコンを使用するときは、本体の電源を入れてから、リモコン操作機能を有効にしてください。

リモコン操作機能の有効/無効の切り換えには、セットアップメニューまたはアサインابلボタンを使用します。

#### メニューで有効にするには

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でOTHERSメニューを選択し、IR RemoteをOnにします。



- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

#### アサインابلボタンを使用するには

アサインابلボタンのいずれかに、IR Remoteを割り当てると、ボタンを押して有効/無効を切り換えることができます。

- ◆機能を割り当てる方法については、「アサインボタン」の機能を変更する」(81ページ)をご覧ください。

**ご注意**

誤動作を防ぐため、本体の電源を切るとリモコン操作が自動的に無効に戻るよう設定されています。電源を入れるごとに有効に切り換えて使用してください。

**電池の交換時期**

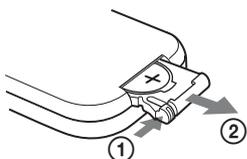
リチウム電池の能力が低下すると、ボタンを押しても操作できないことがあります。リチウム電池の寿命は通常約1年ですが、使用頻度によって変わります。

リモコンのボタンを押しても本機がまったく動作しない場合は、電池を交換し、動作を確認してください。

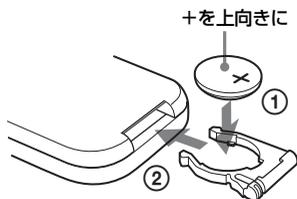
**リモコンの電池を交換する**

市販のリチウム電池 CR2025 を使用します。CR2025 以外の電池は使用しないでください。

- ① ロックレバーを押したまま、② 電池ホルダーを引き出し、電池を取りはずす。



- ② ①+を上向きにして新しい電池を入れ、②カチッと音がするまで電池ホルダーを押し込む。



**ご注意**

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

## SxSメモリーカードの取り扱い

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売り）に記録します。

### SxSメモリーカードについて

#### 本機で使用可能なSxSメモリーカード

本機では、下記のソニー製SxS PROまたはSxS-1メモリーカードをご使用ください。SxS PROおよびSxS-1以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

#### SxS PRO

- SBP-32 (32GB)
- SBP-64A (64GB)

#### SxS-1

- SBS-32G1A (32GB)
- SBS-64G1A (64GB)

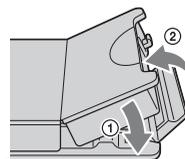
これらカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

- SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です
- ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

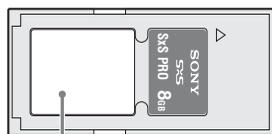
#### SxSメモリーカード使用上のご注意

- 下記の場合、記録したデータが破壊（消滅）されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中、またはフォーマット中にSxSメモリーカードを抜いたり、振動、衝撃を与えたり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所
  - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中／直射日光のあたる場所／熱器具の近くなど
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ご使用の場合は、正しい挿入方向をご確認ください。
- SxSメモリーカードの保管時および携帯時は、専用ケースに入れて確実にロックしてください。



- SxSメモリーカードに保存しているデータは、万一の故障によるデータの損失に備えて、バックアップを取っておいてください。SxSメモリーカードに保存したデータの損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ラベルシートの貼り付け部以外には専用ラベルシートを貼らないでください。専用ラベルシートを貼るときは、所定のラベルシート貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。

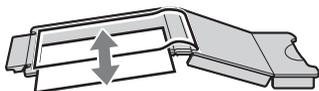


専用ラベルシート貼り付け部

- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。（本機の機能による「フォーマット」や「削除」では、カード内のデータは完全には消去されません。譲渡／廃棄の際は、市販のデータ消去専用ソフトを使用するか、カー

ドを物理的に破壊するなどお客様の責任においてデータの処理をしてください。)

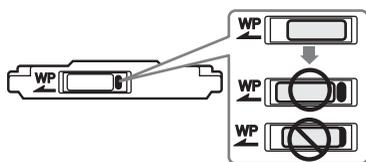
- メディア残量が少ないと、クリップを操作できないときがあります。そのような場合は、PC で不要なファイルを削除してから再度操作を行ってください。
- 専用ケースカードの取り出し・再挿入の際は、専用ケースが完全に開いた状態で行ってください。



### 誤消去を防止する

SxS メモリーカードのライトプロテクトスイッチを「WP」側にすると、記録や編集、消去ができなくなります。

ライトプロテクトスイッチ

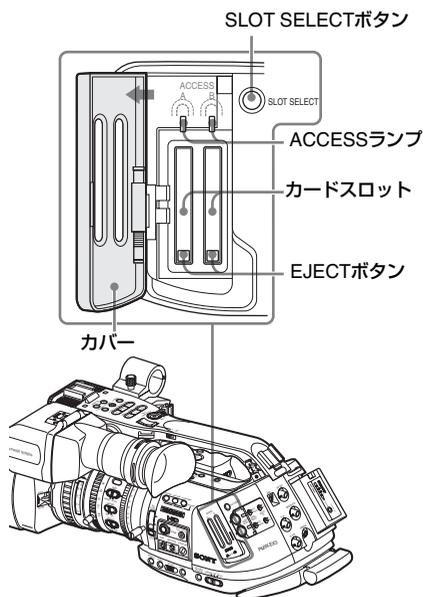


### ご注意

本機に挿入したままで、SxSメモリーカードのライトプロテクトスイッチを操作しないでください。本機から取り出してからスイッチを切り換えてください。

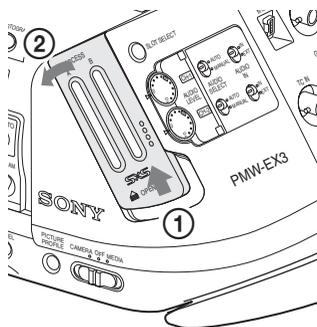
## SxSメモリーカードを入れる / 取り出す

カードスロットはカバー内にあります。

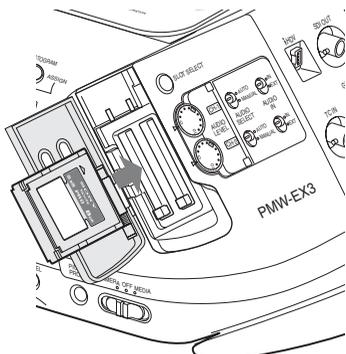


### SxSメモリーカードを入れる

- 1 カバーを上を持ち上げてロックをはずし、左に開く。



- 2 SxSメモリーカードをカードスロットに差し込む。



ラベルを右にして差し込む。

ACCESSランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

### 3 カバーを閉める。

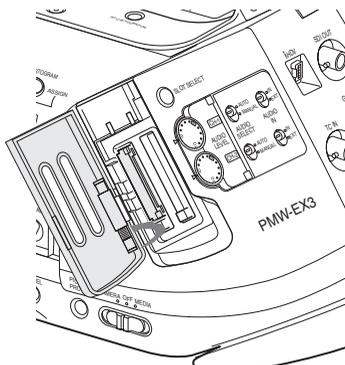
#### ACCESS ランプによる状態表示

A と B のカードスロットの状態を示すために、それぞれに ACCESS ランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>SxSメモリーカードが装着されていない。</li> <li>使用できないカードが装着されている。</li> <li>SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。</li> </ul>

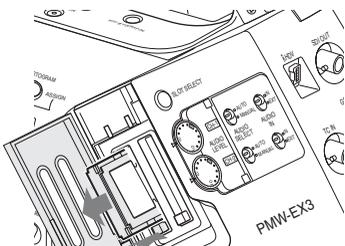
#### SxSメモリーカードを取り出す

### 1 カバーを開け、EJECTボタンを押してロックを解除してボタンを引き出す。



1度ボタンを押して、ロックを解除する。

### 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。



#### ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 電源スイッチを MEDIA（メディアモード）側にして本機の電源を ON にしたときは、ビューファインダーにSxSメモリーカードの認識作業中を示す画面が表示されます。



使用可能なメモリーカードが入っている場合は、自動的にサムネイル画面（104ページ）に切り替わります。使用可能なメモリーカードが挿入されていない場合は、この画面が表示されたままになります。

## 使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して使用するカードを切り換えることができます。

記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わります。

### ご注意

- 再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面（104ページ）が表示されている場合は、ボタン操作が有効です。
- SLOT SELECTボタンを押して、使用するメディア（別売りのSxSメモリーカード、プロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220R、またはメディアアダプターMEAD-MS01/SD01）が入ったスロットを切り換えた直後は、SLOT SELECTボタンの機能が無効になります。再びスロットを切り換えるときは、数秒経ってからSLOT SELECTボタンを押してください。

## SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

### メディアフォーマットについてのご注意

本機でフォーマットしたSxSメモリーカード以外には使用できません。

## フォーマット（初期化）を実行する

フォーマット確認メッセージが表示されたら、ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して「実行」（Execute）を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

フォーマットが始まります。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

### フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

### フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

## メニュー操作でフォーマット（初期化）する

フォーマット指示メッセージが表示されていないときは、OTHERSメニューのFormat Media（139ページ）を選ぶと、同様の手順でフォーマットを実行することができます。

### ご注意

- SxSメモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

## 残りの記録可能時間を確認する

カメラモードでは、ビューファインダー画面の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。



現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。バッテリー / メディアステータス画面（121ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

### ご注意

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。

## SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」(Media Near Full)が表示され、タリールランプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」(Media Full) に変わり記録が停止します。

### ご注意

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。

記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」(Media Full)が表示されます。

## SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

### 修復を実行する

**ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して「実行」(Execute)を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。**

修復が始まります。

実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

### 修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合があります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

- 1 本機のコピー機能（112ページ）または付属の専用アプリケーションソフトウェアを用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
- 2 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。
- 3 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

## 修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

### ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。

本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

## 管理ファイルを更新する

クリップが再生できない状態になったときは、管理ファイルを更新することによって症状が改善する場合があります。

管理ファイルの更新には、OTHERSメニューClip (139ページ) のUpdate Mediaを使用します。

## 外部ハードディスクを使う

本機では、別売りのプロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220Rを使用できます。

### ご注意

- PHU-220Rを使って高速再生（107ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- PHU-220R 使用時は、スロー&クイックモーション撮影（85ページ）のスローモーション撮影はできません。
- PHU-220R使用時は、PHU-220Rのモードセレクトスイッチを[73GB×3]に設定して使用してください。

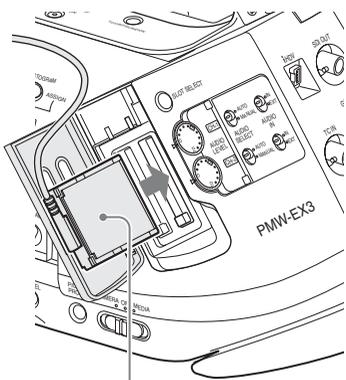
## PHU-220Rを取り付ける/取りはずす

PHU-220Rを、本機のアクセサリシューにマウントし、接続ケーブルを SxS メモリーカードスロットに接続して使用することによって、SxSメモリーカード使用時と同様に記録・再生が行えます。

- ◆ 本体への取り付け方法については、PHU-220Rの取扱説明書をご覧ください。

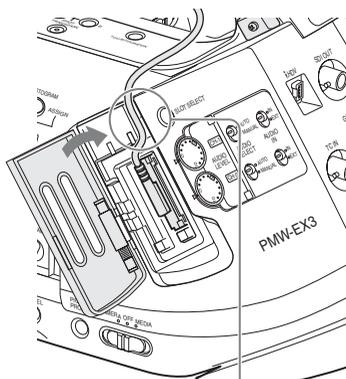
## PHU接続ケーブルを取り付ける

- 1 本機の電源スイッチを **CAMERA** 側にする。
- 2 カードスロット部のカバーを開け、**PHU接続ケーブル**をカードスロットに差し込む。



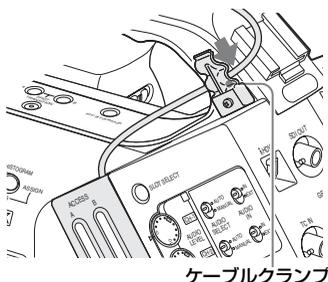
ケーブルが上になるように差し込む。

### 3 ケーブルをスロットB上のケーブルガイドに通し、カバーを閉める。



ケーブルガイドを通す。

### 4 ケーブルをケーブルクランプに固定する。



ケーブルクランプ

### 5 PHU-220Rの電源を入れる。

PHU-220R 本体の POWER インジケータが緑色で点灯します。

続いて本機のACCESSランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

### PHU接続ケーブルを取りはずす

SxSメモリーカードを取り出すときと同様に操作してください。

### PHU-220Rをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないPHU-220R、または別の仕様でフォーマットされたPHU-220Rを装着すると、フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

### フォーマット（初期化）を実行する

フォーマット確認メッセージが表示されたら、ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して「実行」(Execute)を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況(%)が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

### メニュー操作でフォーマット（初期化）する

フォーマット指示メッセージが表示されていないときは、OTHERS メニューの Format Media (139ページ)を選ぶと、同様の手順でフォーマットを実行することができます。

#### ご注意

- 本機でのPHU-220Rに対するフォーマットはクイックフォーマットです。管理情報のみの消去になりますので、記録データを完

全に消去したい場合は、PC に接続してフルフォーマットを実施してください。

- 本機で使用する PHU-220R は、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

## 残りの記録可能時間を確認する

カメラモードでは、ビューファインダー画面の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したPHU-220Rの残量を確認することができます。



現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、ハードディスクの残量から計算して分単位で表示します。

バッテリー / メディアステータス画面（121ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

## PHU-220Rを修復する

何らかの原因でPHU-220R内のデータに異常が発生した場合は、ハードディスクの修復が必要になります。

修復が必要なPHU-220Rを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがビューファインダー画面に表示されます。

### 修復を実行する

ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して「実行」(Execute)を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

修復が始まります。

実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

### 修復できなかったときは

- エラーが発生した PHU-220R は、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

# メディアアダプターを使う

## XQDメモリーカード

別売のXQD ExpressCardアダプター QDA-EX1を使用することによって、XQDメモリーカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

- ◆XQD ExpressCardアダプター QDA-EX1の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

- XQDメモリーカードを使って高速再生を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- XQDメモリーカード使用時は、スロー&クイックモーション撮影のスローモーション撮影はできません。
- すべてのXQDメモリーカードの動作を保証するものではありません。動作確認済みのメモリーに関してはお買い上げ店にお問い合わせください。

## フォーマット（初期化）する

本機で初めてXQDメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するXQDメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。XQDメモリーカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。本機が対応していないフォーマットで初期化されたXQDメモリーカードを装着するとメッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

## フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（139ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロット B）かを指定し、Executeを選択する。

フォーマットが始まります。実行中はメッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

### ご注意

XQDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

## 本機とパソコンの接続

XDCAM EXシリーズで記録したXQDメモリーカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンをUSBケーブルで接続して使用してください。

## 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットしなおして使用してください。

## “メモリースティック”/SDHCカード

本機では、別売りのメディアアダプターMEAD-MS01またはMEAD-SD01を使用することによって、“メモリースティック”（MEAD-MS01使用時）またはSDHCカード（MEAD-SD01使用時）をSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

## 使用可能な“メモリースティック”

“メモリースティックPRO-HGデュオHX”シリーズ

## 使用可能なSDHCカード

SDHCカード（SDスピードクラス：Class10）

- ◆メディアアダプター MEAD-MS01/SD01の使いかたについて詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

#### ご注意

- “メモリースティック”またはSDHCカードを使って高速再生（107ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- “メモリースティック”またはSDHCカード使用時は、スロー&クイックモーション撮影（85ページ）のスローモーション撮影はできません。

### フォーマット（初期化）する

本機で初めて“メモリースティック”またはSDHCカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用する“メモリースティック”またはSDHCカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

“メモリースティック”またはSDHCカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。本機が対応していないフォーマットで初期化された“メモリースティック”またはSDHCカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がビューファインダー画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

#### フォーマット（初期化）を実行する

**OTHERSメニューのFormat Media（139ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロット B）かを指定し、Executeを選択する。**

フォーマットが始まります。実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

#### ご注意

“メモリースティック”またはSDHCカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

### 本機とパソコンの接続

XDCAM EXシリーズで記録した“メモリースティック”またはSDHCカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンを USB ケーブルで接続して使用してください。

### 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットしなおして使用してください。

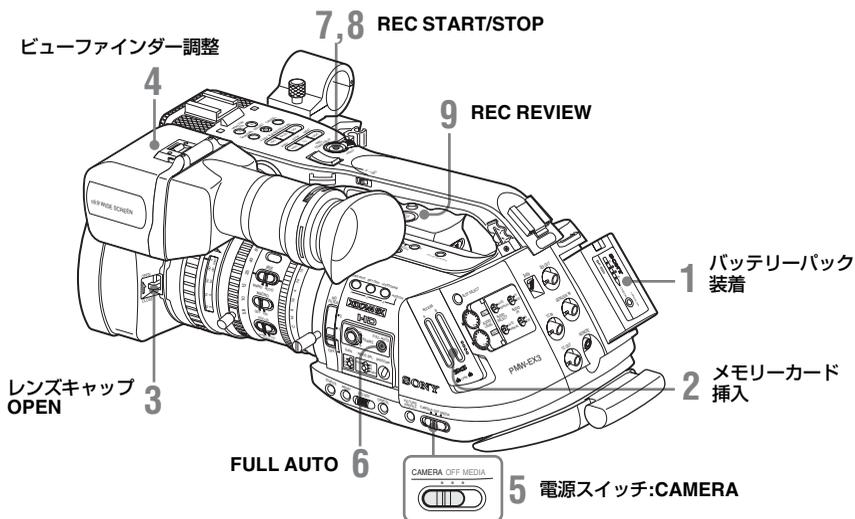
- Memory Stick (“メモリースティック”) および  MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick PRO-HG Duo (“メモリースティックPRO-HGデュオ”) および  MEMORY STICK PRO-HG Duo は、ソニー株式会社の商標です。
- “XQD” はソニー株式会社の商標です。

## 基本操作手順

この説明書では、付属および別売りの専用レンズを使用して操作する場合を例に説明します。

専用以外のレンズを使用する場合は、表示やメニュー設定値が異なる場合があります。

専用レンズを使用した基本的な撮影は次の手順で行います。



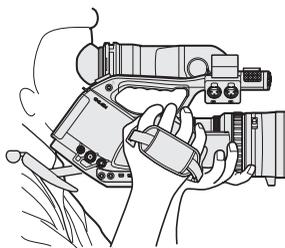
### 準備する

- 1 充電したバッテリーパックを取り付ける。
- 2 SxSメモリーカードを入れる。  
2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わります。
- 3 レンズキャップ開閉レバーを上げて、レンズフードに付いているレンズキャップを開ける。
- 4 ビューファインダーを見やすい状態に調整する。
- 5 電源スイッチをCAMERA側にする。  
本機の電源が入り、カメラモードになります。

リモコンを使用するときは、リモコン操作モードを有効にしてください（41ページ）。

### ご注意

グリップを持って撮影するときは、左手で本機の底面を支えて操作してください。



## 撮影する（フルオートモード）

- 6 FULL AUTOボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させる。**  
フルオートモードが ON になり、TLCS（129ページ参照）が働いて、オートアイリス、AGC、オートシャッター、ATW（自動追尾ホワイトバランス）がONになり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。

それぞれをマニュアルで調整したいときは、フルオートモードをOFFにしてください。

- ◆「アイリスを調整する」（66ページ）
- ◆「ゲインを設定する」（62ページ）
- ◆「電子シャッターを設定する」（63ページ）
- ◆「ホワイトバランスを調整する」（57ページ）

### ご注意

フルオートモードをONにしても、AF（オートフォーカス）は有効になりません。

- ◆フォーカスの自動調整については、71ページをご覧ください。

- 7 REC START/STOPボタンを押す。**  
ハンドル面操作パネルのREC START/STOPボタン、レンズのグリップのREC START/STOPボタンのどちらでも記録を開始できます。

（赤外線リモコン使用時は、RECボタンを誤操作防止ボタンと同時に押してください。）

前後のタリーランプが点灯して、記録が始まります。

- 8 記録を停止するときは、もう一度REC START/STOPボタンを押す。**

（赤外線リモコン使用時は、REC PAUSEボタンを誤操作防止ボタンと同時に押してください。）

記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

### ご注意

記録停止操作後、ACCESSランプが緑に変わるまでは、記録を再開することはできません。

### 誤操作を防止するには

ハンドルのREC START/STOPボタンには、誤操作防止用のREC HOLDレバーがあります。ハンドルのREC START/STOPボタンを使用しない場合は、誤ってボタンが押されても記

録が開始/停止しないように、レバーをHOLD側にセットしておくことをお勧めします。



REC HOLDレバー

ロックを解除するときには、レバーを元の位置に戻してください。

## 直前に撮影した映像を確認する（レックレビュー）

- 9 REC REVIEWボタンを押す。**  
レックレビュー機能（80ページ）が働いて、直前に記録された画像がビューファインダー画面で再生されます。クリップの最後まで再生されると、STBY（記録待機）モードに戻ります。

### クリップを削除するには

Last Clip DEL機能を使用すると、直前に記録したクリップを削除することができます。

- ◆「直前に記録したクリップを削除する」（101ページ）

メモリーカードに記録された全クリップの削除する場合はAll Clips DEL機能を使用します（101ページ参照）。

クリップを指定して削除する場合は、メディアモードに切り換えて操作してください（112ページ参照）。

**クリップ（記録データ）とクリップ名**  
記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

本機で記録されるクリップには、自動的に8文字のクリップ名（前半4桁の英数字＋後半4桁の番号）が生成されます。

**例：ABCD0001**

クリップ名の前半部分（4桁の英数字）はOTHERSメニューのClip（139ページ参照）で記録開始前に任意の文字列に設定することも可能です。（記録後に変更することはできません。）

クリップ名の後半部分（4桁の番号）は、記録順に自動的にカウントアップされます。

**記録されるクリップについて**

XDCAM EXシリーズでは、FAT32 File Systemを採用しています。

従って、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがあります。その場合でも本機上では連続した再生が可能です。

クリップの記録時間によっては、AとBのカードスロットに挿入した2枚のメモリーカードにまたがって記録することができます。

コンピューターを使用してHDDなどにコピーする場合は、連続性を保つため、付属のCD-ROMに収録されている専用のアプリケーションソフトウェアを使用することをお勧めします。

**ご注意**

Explorer（Windows環境）やFinder（MAC環境）を使用してコピーなど行った場合は記録素材の連続性、関連性を保持できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

**ビデオフォーマットを選ぶ**

本機では、記録・再生のビデオフォーマットをOTHERSメニューのVideo Format（139ページ）で切り換えて使用することができます。

工場出荷時は、HQ 1080/60iに設定されています。

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているフォーマットが画面に表示されます。



**選択できるフォーマット**

選択できるフォーマットは、OTHERSメニューのCountry（139ページ）で使用地域がNTSC Areaに設定されているかPAL Areaに設定されているかによって異なります。

本機でのビデオフォーマットは、記録ビットレート（HQ/SP）と記録画サイズ（有効ライン数）、記録フレームレート、撮像時のスキャン方式(i/P)の組み合わせで表示・選択します。フレームレートは、小数点以下を四捨五入し2桁の整数で表示されます。

HQのフォーマットを選択したときは、ビットレート35 Mbps VBRで記録を行います。

SPのフォーマットを選択したときは、HDV互換のビットレート25 Mbps CBRで記録を行います。

**NTSC Area 選択時**

フォーマット	本機での表示
HQ 1920×1080 59.94 インターレース	HQ 1080/60i
SP 1440×1080 59.94 インターレース	SP 1080/60i
HQ 1920×1080 29.97 プログレッシブ	HQ 1080/30P

フォーマット	本機での表示
HQ 1920×1080 23.98 プログレッシブ	HQ 1080/24P
SP 1440×1080 23.98 プログレッシブ	SP 1080/24P
HQ 1280×720 59.94 プログレッシブ	HQ 720/60P
HQ 1280×720 29.97 プログレッシブ	HQ 720/30P
HQ 1280×720 23.98 プログレッシブ	HQ 720/24P

## PAL Area 選択時

フォーマット	本機での表示
HQ 1920×1080 50 インターレース	HQ 1080/50i
SP 1440×1080 50 インターレース	SP 1080/50i
HQ 1920×1080 25 プログレッシブ	HQ 1080/25P
HQ 1280×720 50 プログレッシブ	HQ 720/50P
HQ 1280×720 25 プログレッシブ	HQ 720/25P

## SP 1080/24Pモード時の記録方式

SP 1440×1080 23.98プログレッシブのビデオフォーマット（本機での表示はSP 1080/24P）で撮影を行った場合、メモリーカードへの記録は2-3プルダウンした59.94 のインターレースモード（本機での表示はSP 1080/60i）で行われます。

## フォーマットを変更する

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でOTHERSメニューを表示させ、Video Formatを選択します。

OTHERS	
 Genlock	▶ HQ 1080/60i
 Direct Menu	: SP 1080/60i
 i.LINK I/O	: HQ 1080/30P
 Trigger Mode	: HQ 1080/24P
 Country	: SP 1080/24P
 Video Format	: HQ 720/60P
 Clip	▶ HQ 720/30P

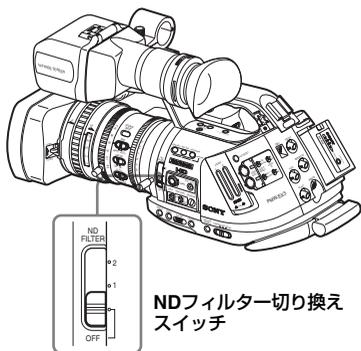
- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」（123ページ）をご覧ください。

COMPONENT OUT、SDI OUT、MONITOR OUT、およびS VIDEO端子からの信号も、このメニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

- ◆詳しくは、「出力のフォーマットと制限」（157ページ）をご覧ください。

## NDフィルターを切り換える

本機では、レンズの絞りを適切な範囲に保つためNDフィルターを使用できます。被写体の明るさに応じてNDフィルター切り換えスイッチを切り換えてください。



2: 1/64ND

1: 1/8ND

OFF: CLEAR(NDなし)

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているフィルター番号が画面に表示されます。



### ご注意

NDフィルター切り換えスイッチがOFFの位置になっているときは、ボタンを押しても何も表示されません。

## ホワイトバランスを調整する

照明の色温度に応じてホワイトバランスを調整します。撮影の状況に応じて調整モードを選択できます。

### プリセットモード

色温度をプリセット値(工場出荷時: 3200K)に調整するモードです。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、ピクチャープロファイルで設定したホワイトバランスに固定して撮影したい場合に使用します。

### メモリー A/メモリー Bモード

- メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。
- WHT BALボタンを押すと、ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整値をメモリー A またはメモリー B に保存し直します。

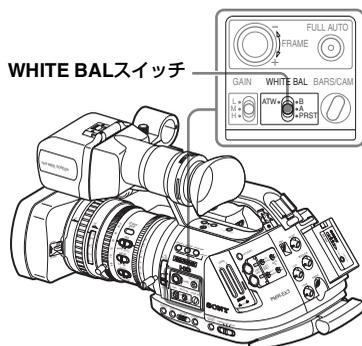
### ATW(自動追尾ホワイトバランス)モード

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整するモードです。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。CAMERA SETメニューのATW Speed (129ページ)で、5段階の調整速度を選択できます。

## 調整モードを選択する

### スイッチで切り換える

WHITE BALスイッチで、プリセットモード、メモリー Aモード、ATWモード(メモリー Bモード)を選択できます。WHITE BALスイッチのBの位置には、工場出荷時にATWモードが割り当てられています。CAMERA SETメニューのWhite Switch (129ページ)で、メモリー Bモードを選択するように変更することができます。



**B:** ATWモードまたはメモリー Bモード  
**A:** メモリー Aモード  
**PRST:** プリセットモード

- フルオートモード (54ページ) をONにすると、強制的にATWモードになります。
- アサインボタンに、ATWのON/OFF機能を割り当てると、フルオートモードOFFのときボタン操作でATWを単独でON/OFFすることができるようになります。
- ◆アサインボタンについて詳しくは、「アサインボタンの機能を変更する」(81ページ) をご覧ください。

### ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているモードと色温度が画面に表示されます。



**ATW:** ATWモード  
**W:A:** メモリー Aモード  
**W:B:** メモリー Bモード  
**W:P:** プリセットモード

ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、ATW、W:A、W:B、W:Pの切り換えが可能です。

ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、ATWとWHITE BALスイッチで選択されているモードの切り換えが可能です。

- ◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(26ページ) をご覧ください。

## オートホワイトバランスを実行する

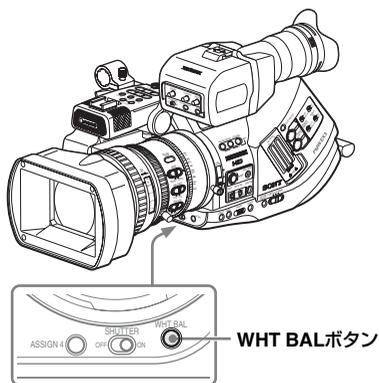
照明の色温度に応じてホワイトバランスを調整します。  
調整値は、メモリー AまたはBに保存できません。

### ご注意

プリセットモードのときは、オートホワイトバランスは実行できません。

- 設定値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 照明条件に合わせて、NDフィルターを切り換える。
- 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。  
被写体の近くの白いもの(白布、白壁)で代用することもできます。  
画面内に高輝度スポットが入らないようにしてください。
- レンズの絞りを調整する。  
マニュアル(手動調整)モードの場合は、絞りを適正值に合わせてください。
- WHT BALボタンを押す。  
ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

## ブラックバランスを調整する



調整中は、画面に実行中メッセージが表示されます。

オートホワイトバランスが正常終了すると、メッセージが完了メッセージに変わり、得られたホワイトバランスの色温度が表示されます。

- メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順<sup>1</sup>で選択したメモリー(AまたはB)に保存されます。
- ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

### オートホワイトバランスが正常に終了しなかったときは

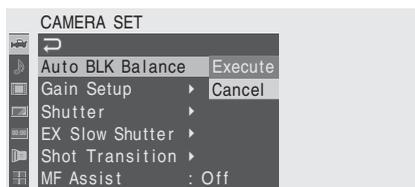
画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、再度ホワイトバランスの調整を試みてください。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

本機では、電源を入れ直すたびに自動的にブラックバランスが調整されますが、必要に応じてメニュー操作で調整しなおすこともできます。

調整にはCAMERA SETメニューを使用します。

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、 でCAMERA SETメニューを表示させ、Auto BLK Balanceを選択します。



- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

Executeを選択すると、ブラックバランスの自動調整が実行されます。

調整中は、画面に実行中メッセージが表示されます。

オートブラックバランスが正常に終了すると、メッセージが完了メッセージに変わります。

## マーカーやゼブラパターンを表示する

撮影中は、ビューファインダー画面の映像に各種のマーカーやゼブラパターンを重ねて表示することができます。  
記録映像には影響ありません。

### マーカーを表示する

設定にはVF SETメニューのMarkerを使用します。  
MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、 でVF SETメニューを選択し、メニューからMarkerを選択します。



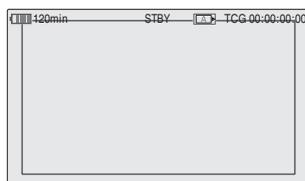
### マーカー表示を有効にする

- SettingをOnにして、それぞれのマーカーのON/OFFおよび表示条件を設定します。  
SettingをOffにすると、すべてのマーカーが非表示になります。
- アサインボタンにMarkerを割り当てると、ボタンを押すことによって Setting On/Offを操作できるようになります。
- ◆ アサインボタンについては「アサインボタン機能を変更する」(81ページ)をご覧ください。

### セーフティーゾーンマーカーを表示する

Safety ZoneをOnにすると画面上にセーフティーゾーンマーカーが表示されます。  
Safety Areaで、セーフティーゾーン表示の大きさを、映像エリアの80%、90%、92.5%、95%の4種類から選択できます。

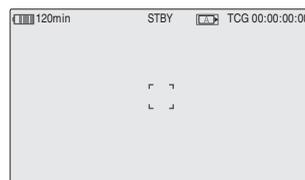
例：95%



アスペクトマーカーがOnのときは、アスペクトマーカーの範囲内での有効エリアを表示します。

### センターマーカーを表示する

Center MarkerをOnにすると、画面上にセンターマーカーが表示されます。



### アスペクトマーカーを表示する

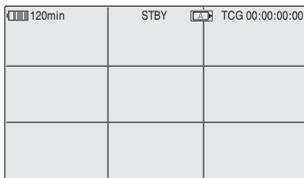
Aspect MarkerをOnにすると、画面上にアスペクトマーカーが表示されます。  
Aspect Selectで、アスペクトマーカーの幅を、4:3、13:9、14:9、15:9の4種類から選択します。

例：4:3



### ガイドフレームラインを表示する

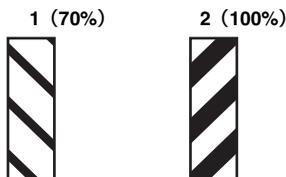
Guide FrameをOnにすると、画面上にガイドフレームラインが表示されます。



## ゼブラパターンを表示する

ビューファインダー画面の映像に、映像の適切な輝度レベルを示すゼブラパターンを重ねて表示することができます。

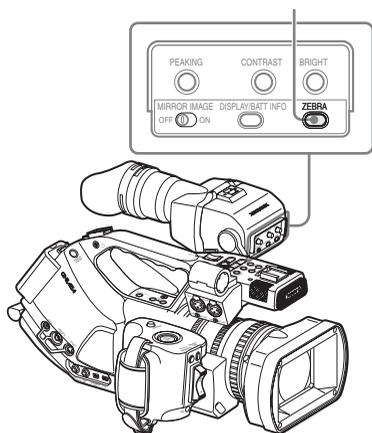
### ゼブラの初期設定



## ゼブラパターン表示をON/OFFする

ZEBRAボタンを押すと、ゼブラパターン表示をON/OFFすることができます。

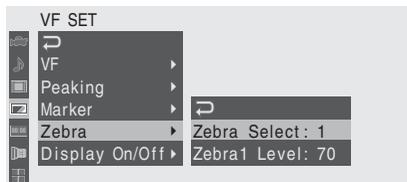
### ZEBRAボタン



## ゼブラパターンを変更する

VF SETメニューのZebraを使用すると、表示されるゼブラパターンを変更することができます。

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でVF SETメニューを選択し、メニューからZebraを選択します。



### Zebra Select

表示されるゼブラパターンを選択します。

**1** : Zebra1 Levelで設定した映像レベルを中心に± 10% のエリアに対してゼブラパターン(Zebra1)を表示する。

**2** : 100%以上の映像レベルに対してゼブラパターン (Zebra2) を表示する。

**Both** : Zebra1とZebra2の両方を表示する。

### Zebra1 Level

Zebra1の中心値を50～107%の範囲で設定できます。初期値は70%です。

# ゲインを設定する

被写体の明るさに応じて映像アンプのゲイン(利得)を設定できます。撮影の状況に応じて設定モードを選択できます。

## 固定ゲインモード(手動切り換え)

スイッチやメニュー操作で映像アンプのゲインを選択します。

## AGCモード(自動ゲイン調整)

映像の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動制御します。

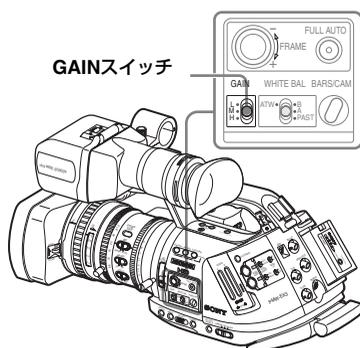
## 固定ゲインで撮影する

### スイッチで切り換える

GAINスイッチでゲインを切り換えます。

#### ご注意

AGCモードがOnになっているときは、固定ゲインは選択できません。



スイッチの各ポジションは、工場出荷時に下記のように設定されています。

**L:** 0 dB

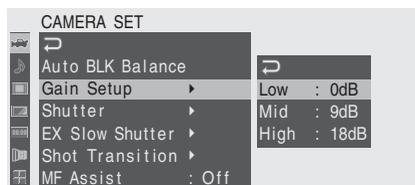
**M:** 9 dB

**H:** 18 dB

それぞれのゲイン値は、CAMERA SETメニューで-3 dB~+18 dBの範囲で変更することができます。

### 変更するには

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でCAMERA SETメニューを選択し、メニューからGain Setupを選択します。



◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

### ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているゲイン値が画面に表示されます。



ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューでゲインを3 dB刻みで切り換えることができます(AGCモードへの切り換えも可能です)。ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、AGCモードとGAINスイッチで選択されているゲインとの切り換えのみ可能です。

#### ご注意

フルオートモード(54ページ)がONのときは、ダイレクトメニューは選択できません。

◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(26ページ)をご覧ください。

## AGCモードで撮影する

フルオートモード（54ページ）をONにすると、強制的にAGCモードになります。

フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューで TLCS（129ページ）を選択して AGC を On に設定するか、ダイレクトメニューでAGCを選択することによって、AGCモードを単独でONにすることができます。

## 電子シャッターを設定する

電子シャッター機能を使用すると、シャッター速度（撮像フレームあたりの蓄積時間）を切り換えることができます。

電子シャッターは、自動または手動で調整できます。

### 固定シャッター（手動切り換え）

シャッター速度（蓄積時間）を設定して撮影します。

### 標準モード（Speed モード /Angle モード）

動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用します。

秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択できます。

### ECS（拡張クリアスキャン）モード

周波数でシャッター速度を設定します。モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用します。

### SLS（スローシャッター）モード

蓄積フレーム数でシャッター速度を設定します。

### 超高感度スローシャッター（EX Slow Shutter）

蓄積フレーム数でシャッター速度を設定します。最大64 フレームまで蓄積でき、低照度の状況下でノイズの少ないクリアな映像を撮影したいときや、残像を伴う幻想的な映像を撮影したいときに便利なモードです。

### オートシャッター（自動シャッター調整）

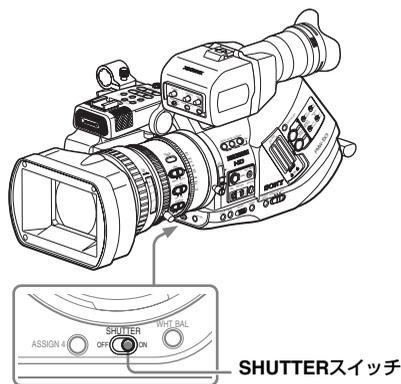
映像の明るさに応じて自動でシャッター速度を調整します。

## 固定シャッターで撮影する

SHUTTERスイッチをONにすると、CAMERA SETメニューのShutterで設定したモードとシャッター速度の固定シャッターがONになります。

### ご注意

オートシャッターモードがONになっているときは固定シャッターは選択できません。



## CAMERA SETメニューで設定する

CAMERA SETメニューを使用して、シャッターモードと速度を設定します。MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でCAMERA SETメニューを表示させ、Shutterを選択します。

CAMERA SET	
Auto BLK Balance	Mode : Speed
Gain Setup	Shutter Speed: 1/125
Shutter	Shutter Angle: 180°
EX Slow Shutter	ECS Frequency: 60.02
Shot Transition	SLS Frame : 2
MF Assist : Off	

### Speed (標準スピード) モード

ModeをSpeedに設定して、Shutter Speedで時間 ( $[1/\text{設定値}]$ 秒) を設定します。設定されているフレーム周波数によって、選択できる値が異なります。

フレーム周波数	シャッタースピード (秒)
60i, 60P 50i, 50P	1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
24P	1/32, 1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
25P	1/33, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000
30P	1/40, 1/50, 1/60, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000

### Angle (標準アングル) モード

ModeをAngleに設定して、Shutter Angleで開角度を設定します。

180°、90°、45°、22.5°、11.25°から選択できます。

### ECS (拡張クリアスキャン) モード

ModeをECSに設定して、ECS Frequencyで周波数を設定します。

設定されているフレーム周波数によって、選択できる値が異なります。

### SLS (スローシャッター) モード

ModeをSLSに設定して、SLS Frameで蓄積フレーム数を設定します。

2~8フレームから選択できます。

### ご注意

SP 1080/24Pモード、スロー&クイックモーションモードでは、スローシャッターは使用できません。

## ダイレクトメニューで設定する

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているシャッターモードと設定値が画面に表示されます。



ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューでシャッターモードと速度を設定することができます。

**ご注意**

- ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、SHUTTERスイッチがONになっているとダイレクトメニューでシャッターを OFF にすることはできません。またSHUTTERスイッチがOFFになっているときは、オートシャッターとシャッター OFFの切り換えのみが可能です。
- フルオートモード (54ページ) がONになっているときや、EX Slow ShutterモードがOnに設定されているときは、ダイレクトメニューは選択できません。
- ◆ ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(26ページ)をご覧ください。

ド (54ページ) をONにすることはできません。

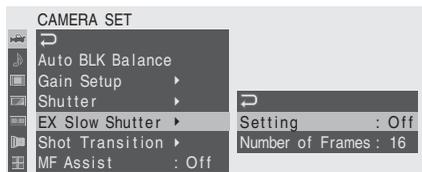
**オートシャッターで撮影する**

本機がフルオートモード (54ページ) がONになっているときは、強制的にオートシャッターになります。

フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューでTLCs (129ページ) を選択し、Auto ShutterをOnに設定することによって、オートシャッターを単独でONにすることができます。

**超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) で撮影する**

CAMERA SETメニューでEX Slow Shutterを選択します。



SettingをOnにして、Number of Framesで蓄積フレーム数を設定します。

16、32、64フレームから選択できます。

**ご注意**

- SP 1080/24Pモード、スロー&クイックモーションモードのときは、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) は使用できません。
- SHUTTERスイッチのON/OFFは、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) には影響ありません。
- 記録中に超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) をOn/Offすることはできません。
- 超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) がOnになっているときは、フルオートモー

## アイリスを調整する

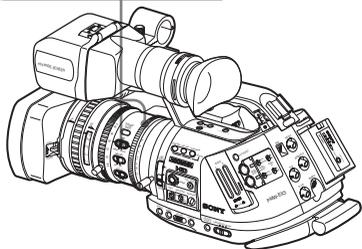
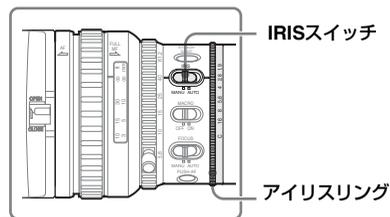
被写体の明るさに応じてアイリスの開度を調整します。

### オートアイリス（自動調整）モード

被写体の明るさに応じて自動的にアイリスを調整します。

### マニュアルアイリス（手動調整）モード

アイリスリングやメニュー操作で、アイリスの開度を調整します。



### オートアイリスモードで撮影する

フルオートモード（54ページ）がONになっているときは、強制的にオートアイリスモードになります。

フルオートモードがOFFのときは、IRISスイッチをAUTOにすると、オートアイリスモードになります。

オートアイリスの制御目標レベル（明るめ/暗め）を、セットアップメニューまたはダイレクトメニューで設定できます。（この設定は、AGCにおけるゲイン制御、オートシャッター

におけるシャッタースピード制御にも連動します。）

### セットアップメニューで制御目標レベルを調整する

CAMERA SETメニューのTLCS（129ページ）のLevelを設定します。

### ダイレクトメニューで制御目標レベルを調整する

制御目標レベルはダイレクトメニューで設定することもできます。

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、現在のアイリス設定が画面に表示されます。



十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューで設定を変更することができます。

◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」（26ページ）をご覧ください。

#### ご注意

レンズにより、オートアイリスの動きが異なります。CAMERA SETメニュー TLCS（129ページ）のSpeed設定で調整することができます。

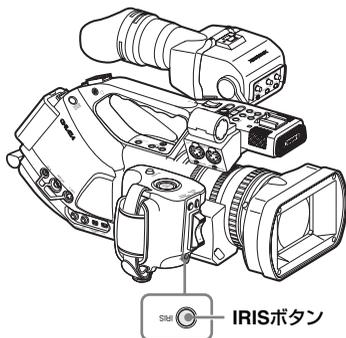
### マニュアルでアイリスを調整する

IRISスイッチをMANU側に切り換えると、マニュアルアイリスモードになります。

アイリスリングを回してアイリス調整します。

#### 一時的にオートアイリスに切り換える

マニュアルアイリスモード（IRISスイッチ：MANUALに設定）でIRISボタンを押すと、ワンタッチオートアイリス機能が働きます。ボタンを押している間オートアイリスが働き、ボタンを放すとマニュアルアイリスモードに戻ります。



## ズームを操作する

付属の専用レンズでは、手動または電動でズームを操作できます。

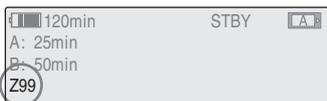
### 手動ズームモード

ズームリングを回してズームを操作します。

### 電動ズーム（サーボ）モード

電動ズームレバーやハンドルのズームボタンを押してズームを操作します。付属のリモコン、および別売りのレンズリモートコントロールユニットでの操作も可能です。

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、画面に現在のレンズズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。

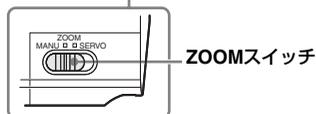
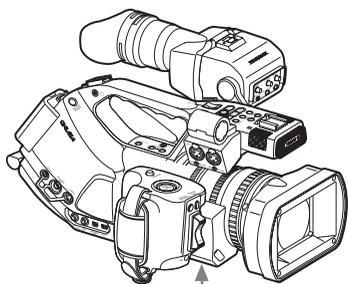


VF SETメニューのDisplay On/Off（133ページ）のZoom Position設定で、バー表示に変更することもできます。



## モードを切り換える

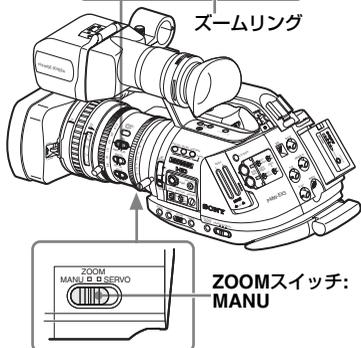
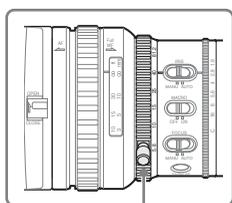
マニュアルモード、サーボモードは、本機底面のZOOMスイッチで切り換えます。



## 手でズームを操作する

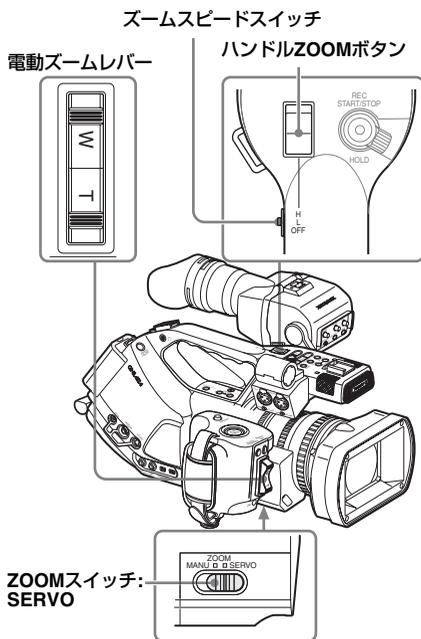
ZOOMスイッチをMANU側にすると、手動ズームモードになり、ズームリングが有効になります。

ズームリングを回して、ズームを調整してください。



## 電動でズームを操作する

ZOOMスイッチをSERVO側にするとサーボモードになり、電動ズームが有効になります。サーボモードでは、グリップの電動ズームレバー、ハンドルのZOOMボタンでズームを調整できます。



## 電動ズームレバーで調整する

広角にしたいときはW（ワイド）側を、望遠にしたいときはT（テレ）側を押します。レバーを深く押しとズーム速度が速くなり、浅く押しと遅くなります。

### ご注意

低速でズーム調整する場合、レンズの個体差や環境によって、ズームがスムーズに動作しない場合があります。

## ハンドルZOOMボタンで調整する

広角にしたいときはW（ワイド）側を、望遠にしたいときはT（テレ）側を押します。

ズームスピードスイッチで選択した速度でズームが変化します。  
ズームスピードは、CAMERA SETメニューのZoom Speed（127ページ）で変更することもできます。

スピード スイッチ	ZOOMボタンの動作
H	CAMERA SETメニューのZoom SpeedのHighで設定された速度でズームが変化する。 (初期設定：70)
L	CAMERA SETメニューのZoom SpeedのLowで設定された速度でズームが変化する。 (初期設定：30)
OFF	動きません。

#### ご注意

CAMERA SETメニューでZoom Speed (High/Low) を0~7の低速に設定すると、レンズの個体差や環境によって、ズームがスムーズに動作しない場合があります。

#### 赤外線リモコンのZOOMボタンで調整するとき

ズーム速度は、CAMERA SETメニューZoom SpeedのRemoteの設定（初期設定：50）に従います。

#### ご注意

CAMERA SETメニューでZoom Speed (Remote) を0~7の低速に設定すると、レンズの個体差や環境によって、ズームがスムーズに動作しない場合があります。

- ◆ リモコン操作を有効にする方法については、41ページの「リモコンを使う」をご覧ください。

#### レンズコントロールリモコンを使用するとき

LENS REMOTE端子に接続した別売りのレンズコントロールリモコンでズームを操作できます。

- ◆ 別売りのレンズコントロールリモコンでのズームの操作方法については、レンズコントロールリモコンの操作ガイドをご覧ください。

## フォーカスを調整する

付属の専用レンズのフォーカス調整モードには次の3種類があります。

### Full MF（フルマニュアルフォーカス）モード

フォーカスリングによるフォーカス合わせのみ有効なモードです。  
∞～最短撮影距離までリングを持ち直さずに回してフォーカス合わせが可能です。

### MF（マニュアルフォーカス）モード

PUSH AFボタンを押した時のみ一時的にオートフォーカスが起動するモードです。  
MFアシスト機能も使用できます。

### AF（オートフォーカス）モード

常にオートフォーカスが働くモードです。  
フォーカスリングおよびPUSH AFボタンも有効です。

#### ご注意

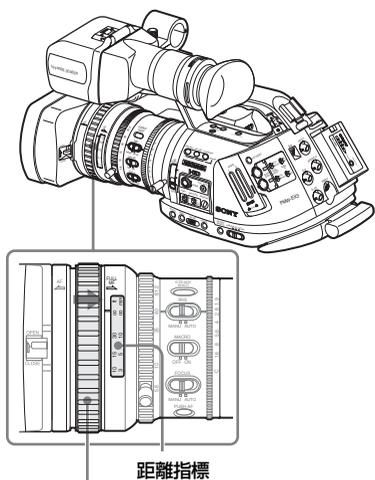
温度変化によるフォーカスの移動を補正するため、無限遠（∞）位置には余裕を持たせています。無限遠の被写体をMFまたはFull MFモードで撮影する場合は、ビューファインダー画面で確認しながらフォーカス合わせをしてください。

### Full MFモードで調整する

フォーカスリングを後方（本体側）に引くと、常にマニュアルでフォーカスを合わせるFull MFモードになります。

#### ご注意

フォーカスリングを後方にスライドさせると、フォーカスが目盛の位置に瞬時に移動します



距離指標

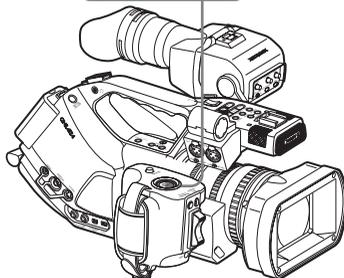
## フォーカスリング: 後方

ビューファインダーの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

Full MFモードでは、リングの距離指標が有効です。フォーカスの合う距離はフォーカスリングの絶対位置に対応します。

## EXPANDED FOCUS

EXPANDED FOCUSボタンを押すと、ビューファインダーで画像の中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。フォーカスを合わせたら、もう一度EXPANDED FOCUSボタンを押すか、5秒間フォーカスリングを操作しなければ、通常（記録）画角の表示に戻ります。

EXPANDED FOCUS  
ボタン

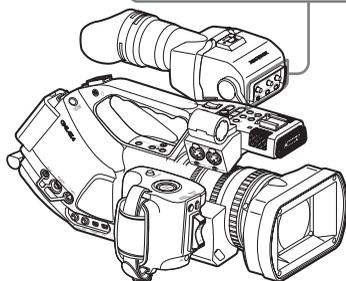
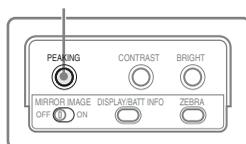
## ピーキング

PEAKINGつまみを右に回すと、ピーキング機能が動いて、ビューファインダーの表示画像の輪郭が強調され、マニュアルでのフォーカス調整が容易になります。

つまみを右に回すほど、強調レベルが高くなります。

記録される映像信号には影響しません。

### PEAKINGつまみ

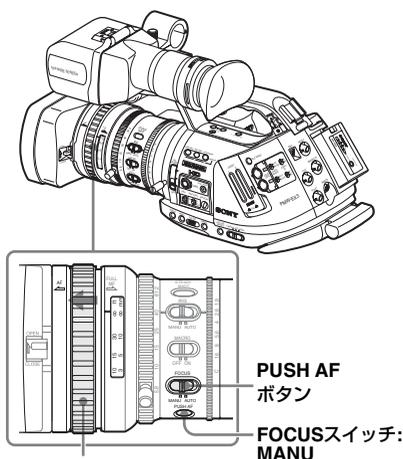


輪郭色などを、VF SETメニューのPeaking（132ページ）で設定できます。

つまみを止まるまで左に回すと、ピーキング機能はオフになります。

## MFモードで調整する

フォーカスリングを前方(レンズフード側)にスライドさせ、FOCUSスイッチをMANUにすると、必要となきのみオートフォーカスを動かせることができるMFモードになります。



フォーカスリング: 前方

## フォーカスリングを使う

ビューファインダーの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。MFモードでは、リングの距離指標は無効となります。

## ワンプッシュオートフォーカス

PUSH AFボタンを押します。一時的にオートフォーカスが起動します(ワンプッシュオートフォーカス)。ワンプッシュオートフォーカスは、フォーカスが合った時点で終了します。

## MFアシスト機能

MFアシスト機能をONにしておくと、フォーカスリングでのフォーカス合わせを止めた時点でオートフォーカスが起動し、画面中央部の被写体に対してフォーカスの微調整(フォーカスの追い込み)を行います。

微調整が終了した時点でMFアシストによるオートフォーカス動作は終了します。

## CAMERA SET メニューで ON にする

CAMERA SETメニューのMF Assist (127ページ)をONに設定します。

## ダイレクトメニューで ON にする

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、選択されているフォーカスモードが画面に表示されます。



MFモードが選択されているときは、十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューで MF アシスト機能をON/OFFできます。ONにするとモード表示の右に\*が表示されます。

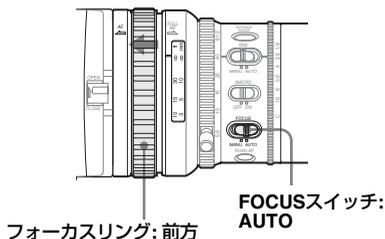
### ご注意

MF以外のモードになっているときは、ダイレクトメニューは選択できません。

◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(26ページ)をご覧ください。

## AFモードで調整する

フォーカスリングを前方にスライドさせ、FOCUSスイッチをAUTOにすると、常にオートでフォーカスを合わせるAFモードになります。



AFモードでは、リングの距離指標は無効となります。

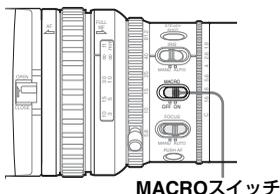
## AFモードでフォーカスを合わせる

AFモードでは、映像の変化を常に観測し、変化があったと判断する度にオートフォーカスを起動します。フォーカスが合った時点でフォーカス動作を終了して、また映像に変化があるまで待機します。

AFモードでは、PUSH AFボタンを押したり、フォーカスリングを操作した場合も、直後にオートフォーカスが起動します。

## マクロモードを使う

フォーカス調整モードがMFまたはAFのときは、MACROスイッチをON側にするとマクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。マクロモードは、Full MFモードでは無効になります。



MACROスイッチ

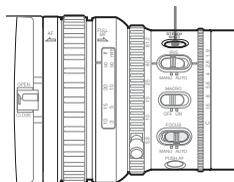
## 手ぶれ補正を効かせる

付属の専用レンズの手ぶれ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

レンズのSTEADY SHOTボタンを押す。

ボタンを押すごとに、手ぶれ補正モードがON/OFFします。

STEADY SHOTボタン



設定は、ビューファインダー画面に表示されます。



### ご注意

三脚に載せて安定した状態で使用するとき、手ぶれ補正をOFFにしてください。

# フリッカーを補正する

フリッカーを補正するには、2つの方法があります。

## 電子シャッターのスピードを「1/電源周波数」に合わせる

電子シャッター（63ページ）を有効にして、シャッタースピードを電源周波数に応じて設定します。

### 電源周波数が 50Hz のとき

シャッタースピードを 1/50秒または 1/100秒に設定します。

### 電源周波数が 60Hz のとき

シャッタースピードを 1/60秒または 1/120秒に設定します。

## フリッカー補正機能を使用する

CAMERA SETメニューのFlicker Reduce（127ページ）のModeをAutoまたはOnに設定して、Frequencyを電源周波数（50Hzまたは60Hz）に合わせます。

### ご注意

撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

## フリッカー補正の推奨設定

### Frequency

Frequency設定は、必ず撮影地域の電源周波数に合わせて使用してください。

### Mode

- 屋外など、フリッカーが発生しない照明下ではModeをOffに設定することを推奨します。（このような環境ではAuto設定も有効ですが、正しい補正が行われない場合があります。）
- 屋内など、フリッカーが発生する照明下ではModeをAutoに設定することを推奨しま

す。（フリッカーがある照明下で定点撮影する場合はOn設定も有効です。）

撮影環境ごとのModeの推奨設定は下記のとおりです。

Flicker Reduce/ Mode設定	撮影環境	
	フリッカーがある照明下	フリッカーがない照明下
Auto	◎	○
On	○	×
Off	×	◎

◎：設定を推奨します。

○：使用可能です。

×：設定を推奨しません。

## タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービット、現在時刻などのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

- ◆ 外部のタイムコードジェネレーターにロックさせることもできます。詳しくは、「外部同期」(147ページ)をご覧ください。

### タイムコードの動作モード

タイムコードの動作モードは、3種類の歩進モードと時計モードから選択できます。

#### Rec Runモード

タイムコードは記録時に歩進します。メモリーカードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続します。メモリーカードを取り出して別のカードで記録を行うと、再び元のカードを入れてもタイムコードは連続しません。

#### Free Runモード

メモリーカードへの記録状態に関係なく常に歩進します。

#### Regenモード

タイムコードは記録時に歩進します。メモリーカードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録します。

#### Clockモード

タイムコードには現在時刻が記録されます。

#### ご注意

インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーションのときは、TC/UB SETメニューでTimecodeのModeをPresetに設定すると、Runの設定にかかわらず、タイムコードはRec Runモードになります。Mode

を Clock に設定すると、タイムコードは Regenモードになります。

### タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UB SETメニューのTimecodeおよびTC Formatを使用して設定します。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。



### 任意のタイムコードに設定する

- 1 TimecodeのModeをPresetに設定する。
- 2 Settingの右に表示されるタイムコード値を設定し、SETを選択する。

### タイムコードをリセットする

歩進モードで記録するタイムコードを00:00:00:00にリセットすることができます。

- 1 TimecodeのResetを選択する。
- 2 Executeを選択する。

### タイムコードに実時刻を入れる

#### TimecodeのModeをClockに設定する。

タイムコードに内蔵クロックの実時刻が入ります。

### タイムコードのDF/NDFを切り換える

TC/UB SETメニューのTC Formatで、DF(ドロップフレームモード)/NDF(ノンドロップフレームモード)を切り換えることができます。

ただし、選択されているフレーム周波数によっては、TC Formatの設定にかかわらず、DF/NDFのいずれかに固定されます。

## ビデオフォーマットによるタイムコードの制限

選択しているビデオフォーマットごとに、タイムコードの設定に制限があります。

ビデオフォーマット	フレーム設定	TC Format
HQ1080/60i SP 1080/60i HQ1080/30P	00~29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時はDF固定)
HQ 1080/50i SP 1080/50i HQ 1080/25P	00~24	NDF固定
HQ 1080/24P HQ 720/24P	00~23 <sup>1)</sup>	NDF固定 <sup>2)</sup>
SP 1080/24P	00~29 <sup>3)</sup>	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時はDF固定)
HQ 720/60P	00~29 (ダブルカウント)	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時はDF固定)
HQ 720/50P	00~24 (ダブルカウント)	NDF固定
HQ 720/30P	00~29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時はDF固定)
HQ 720/25P	00~24	NDF固定

1) Settingの際にフレームの桁は、00、04、08、12、16、20に限定されます。

記録開始のフレームは00、04、08、12、16、20に限定されます。

SDI OUT端子からの出力は、1080/24Pでカメラモード時にGenlockの24P System (138ページ)の設定が24PsFのとき以外は、2-3プルダウンされた60iとなるため、SDI OUT端子からの出力に重畳するタイムコードのフレームは00~29に振り直されます。

2) TC ModeがClockのときも、NDFでカウントするため徐々に実時刻からタイムコードがずれます。

1080/24Pでカメラモード時にGenlockの24P System (138ページ)の設定が24PsFのときのSDI OUT端子、COMPONENT OUT端子からの出力以外は、2-3プルダウンされた映像となるため、画面に表示されるタイムコードが重複するフィールドが発生します。

3) DFのときは、フレームの桁は00~29の間で自由に設定可能です。

NDFのときは、記録開始のフレームは00、05、10、15、20、25に限定されます。

## ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在年月日に設定することも可能です。

設定には、TC/UB SETメニューのUsers Bitを使用します。



## 任意の8桁を設定する

1 Users BitのModeをFixにする。

2 Settingの右に表示される値を設定し、SETを選択する。

16進数のA~Fは、大文字のA~Fで表示されます。

## 現在の年月日をユーザービットとして記録する

### Users BitのModeをDateにする。

Settingの右に現在年月日が表示されます。

## タイムデータを表示する

カメラモードではDISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます。



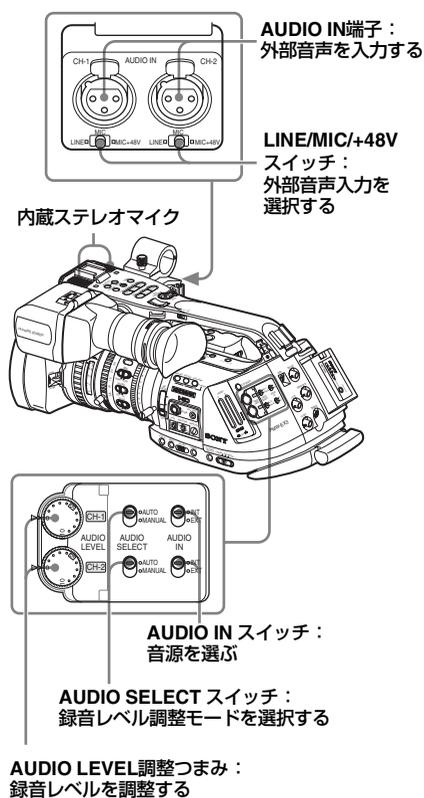
表示は、TC/U-BIT/DURATIONボタンを押すたびに、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

表示	内容
TCG **: **: **: **: *	タイムコード
CLK **: **: **: **: *	タイムコード (Clockモード)
UBG * * * * *	ユーザービット
DUR **: **: **: *	記録開始からの経過時間

## 音声を記録する

本機では、映像と同期して2チャンネル (CH-1/CH-2) の音声を記録できます (リニアPCM記録)。

内蔵ステレオマイク (無指向性エレクトレットコンデンサーマイク) またはAUDIO IN端子に接続した外部音声入力を、AUDIO INスイッチで切り換えて使用します。



## 内蔵ステレオマイクを使う

AUDIO INスイッチ (CH-1/CH-2) を両方ともINT側に設定する。

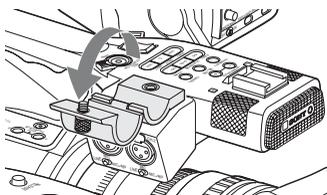
## 外部入力を使う

- 1 AUDIO INスイッチ (CH-1/CH-2) をEXT側にする。
- 2 AUDIO IN端子 (CH-1/CH-2) に外部オーディオ機器を接続する。
- 3 LINE/MIC/+48Vスイッチ (CH-1/CH-2) をLINE (ラインレベル+4 dBu) に設定する。

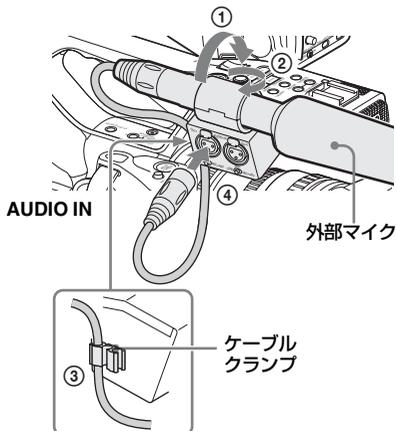
## 外部マイクを使う

エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-673 などを取り付けて使用することができます。

- 1 マイクホルダーのネジをゆるめ、カバーを開ける。



- 2 外部マイクを取り付けて、マイクホルダーのカバーを元どおり閉めてマイクを固定し、AUDIO IN端子 (CH-1またはCH-2) にマイクケーブルを接続する。



- 3 マイクを接続した端子に対応するAUDIO INスイッチ (CH-1またはCH-2) をEXT側にする。
- 4 接続したマイクに合わせて、LINE/MIC/+48Vスイッチ (CH-1/CH-2) を切り換える。  
MIC：電源供給不要のマイクを接続したとき  
+48V：+48V 電源供給を要するマイク (ECM-673など) を接続したとき

### ご注意

取り付けたマイクに強い力が加わると、マイクホルダーが壊れる可能性があります。特に長いマイクをお使いの場合は、マイクに力が加わらないよう充分ご注意ください。

## 録音レベルを調整する

チャンネルごとに、自動 (AGC) 調整モード、マニュアル調整モードを選択できます。

### 自動調整する (AGC)

AUDIO SELECT スイッチ (CH-1/CH-2) をAUTOにすると、録音レベルは自動調整されます。

## 手動で調整する

AUDIO SELECT スイッチ (CH-1/CH-2) を MANUAL にして、AUDIO LEVEL 調整つまみを回して、録音レベルを調整します。つまみを5の位置にすると0 dBになり、10で最大 (+12dB)、0で最小 (-∞) になります。

DISPLAY/BATT INFO ボタンを押すと、画面に入力レベルが表示されます。



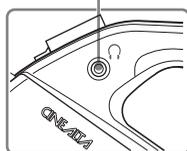
## 特殊記録モードでの音声記録

- インターバルレック/フレームレックモードでは、音声は記録されません。
- スロー&クイックモーション撮影で、再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。

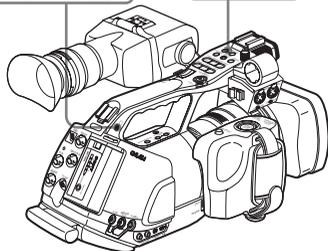
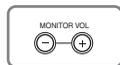
## 音声をモニターする

ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) に接続したヘッドホンで、記録される音声をモニターできます。

ヘッドホン端子



MONITOR VOLボタン



### ご注意

カメラモードでは内蔵スピーカーで音声をモニターすることはできません。

## モニター音量を調整するには

MONITOR VOL ボタンを使用します。- ボタンを押すと小さくなり、+ ボタンを押すと大きくなります。最小にすると、音声は聞こえなくなります。

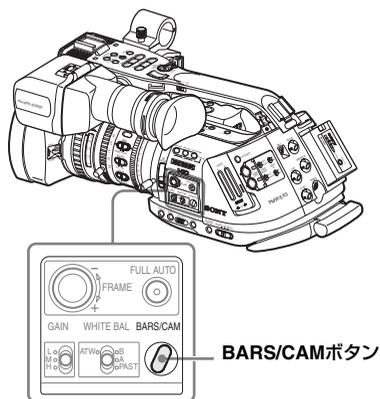
音量調整中は、画面にレベルがバー表示されます。

## カラーバー / 基準音声信号を出力する

撮像中の映像に代えてカラーバーを出力することができます。

AUDIO SETメニューのAudio Input(130ページ)で1kHz ToneがOnに設定されているときは、カラーバーと同時に1kHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーは、SDI OUT端子、COMPONENT OUT端子、MONITOR OUT、S VIDEO端子から、また基準音声信号はAUDIO OUT端子からも出力されます。



### BARS/CAMボタンを押す。

撮像画がカラーバーに切り換わります。  
もう一度押すと、撮像画に戻ります。

カラーバーの種類は、CAMERA SETメニュー Color Bar Type (127ページ) で選択できます。

**Multi:** ARIBマルチフォーマットカラーバー

**75%:** 輝度75%縦ストライブ

**100%:** 輝度100%縦ストライブ

### ご注意

- 記録中は、BARS/CAMボタンを押してもカラーバーには切り換わりません。(カラーバーからカメラ画像への切り換えは可能です。)

- スロー&クイックモーション撮影時、超高度度スローシャッター (EX Slow Shutter) モードのときは、カラーバーを出力することはできません。

## ショットマークを記録する

映像/音声の重要なシーンに、ショットマークをデータとして記録しておく、マークを付けたシーンだけが表示される「ショットマーク画面」で目的のシーンを容易に頭出しでき、効率的な編集作業が可能になります。

◆ショットマーク画面については、「ショットマーク画面を表示する」(114ページ)をご覧ください。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できます。

ショットマークは撮影中に随時記録するか、記録終了後にメディアモードで再生画像を確認しながら追加することができます。

### 撮影中にショットマークを記録する

リモコン操作を有効にして(41ページ参照)、SHOTMARK 1ボタン、またはSHOTMARK 2ボタンを使用します。



ショットマークを入りたいシーンで、**SHOTMARK 1**または**2**ボタンを押す。

アサインボタンに、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当てて使用することもできます(81ページ参照)。

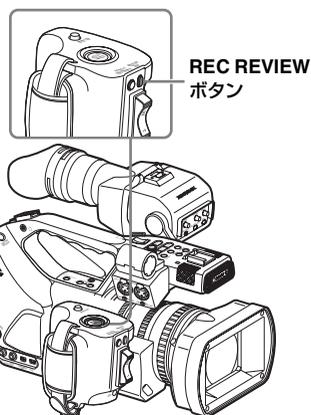
押したボタンに対応するショットマークが記録されます。

◆記録終了後にショットマークを追加する方法については、「再生中にショットマークを追加する」(107ページ)、「ショットマークを追加・削除する」(115ページ)をご覧ください。

## レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認(レックレビュー)できます。

付属の専用レンズのREC REVIEWボタン、またはアサインボタンにRec Reviewを割り当てて使用します(81ページ参照)。



記録を停止したら、**REC REVIEW**ボタンまたは**Rec Review**を割り当てたアサインボタンを押す。

設定した部分の再生が始まります。レックレビューでは、CAMERA SETメニューのRec Review(128ページ)の設定に従って、クリップの最後の3秒、10秒、またはクリップ全体を再生します。工場出荷時は3秒に設定されています。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY(記録待機)モードに戻ります。

### ご注意

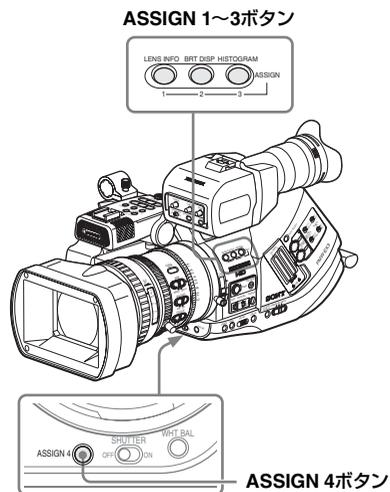
●最後に記録されたクリップがレックレビューの設定時間(3秒または10秒)に満

たない場合には、クリップ全体が再生され  
ます。

- レックレビューによる再生時は、STOP ボタン以外は動きません。  
STOPボタンを押すと、レビューを中止して、STBY（記録待機）モードに戻ります。
- ビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。
- レックレビュー中は、セットアップメニュー、およびピクチャープロファイルメニューは操作できません。

## アサインブルボタンの機能を変更する

本機には、機能を変更して使用できる4個のアサインブルボタンがあります。



工場出荷時には、それぞれ次の機能が割り当てられています。

### ASSIGN 1 ボタン (LENS INFO)

被写界深度表示のON/OFF

### ASSIGN 2 ボタン (BRT DISP)

輝度レベル表示のON/OFF

### ASSIGN 3 ボタン (HISTOGRAM)

ヒストグラム表示のON/OFF

### ASSIGN 4 ボタン

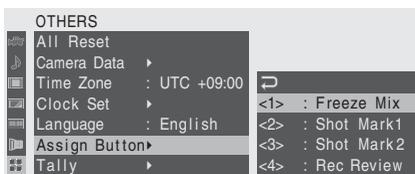
Offに設定されています。押しても機能しません。

## 機能を変更する

OTHERSメニューのAssign Buttonを使用します。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」（123ページ）をご覧ください。

## 1 OTHERSメニューのAssign Buttonを選ぶ。



## 2 機能を変更するボタンを選ぶ。

## 3 割り当てたい機能を選ぶ。

機能名	内容
Marker	全マーカー表示（セーフティゾーンマーカー、センターマーカー、アスペクトマーカー、ガイドフレーム）のON/OFF
Last Clip DEL	ラストクリップデリート機能の実行
ATW	ATW機能のON/OFF
Rec Review	レックレビューの実行
Rec	記録の開始/停止
Freeze Mix	フリーズミックス機能の実行
Expanded Focus	拡大フォーカス機能のON/OFF
Spotlight	TLCSスポットライトモードのON/OFF
Backlight	TLCS/バックライトモードのON/OFF
IR Remote	赤外線リモコンの有効/無効の切り換え
Shot Mark1	ショットマーク1の打ち込み
Shot Mark2	ショットマーク2の打ち込み
Fader	フェーダー機能のON/OFF
VF Mode	ビューファインダー画面のカラー/モノクロ切り換え
BRT Disp	輝度レベル表示のON/OFF
Histogram	ヒストグラム表示のON/OFF
Lens Info	被写界深度表示のON/OFF

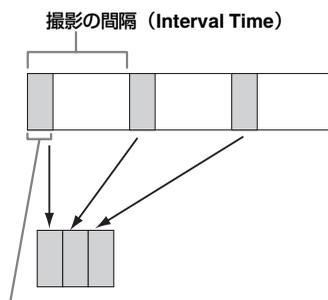
## 4 メニューを抜ける。

割り当てられた機能は、ボタン/リモートステータス画面（121ページ）で確認することができます。

# インターバルレック

間欠的に映像を記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。

1度に記録するフレーム数（Number of Frames）と間隔時間（Interval Time）を設定し、間欠的に映像を自動記録できます。



1回に記録する画像フレーム数  
(Number of Frames)

三脚などに本機を固定して、本体の REC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

### ご注意

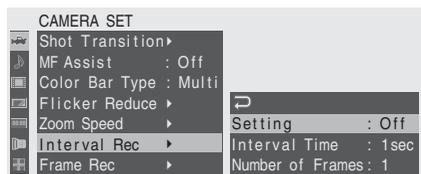
- インターバルレックは、フレームレック、スロー&クイックモーションと同時に On にすることはできません。インターバルレックを On にすると、フレームレック、スロー&クイックモーションは強制的に Off になります。
- インターバルレックモードでは、音声は記録できません。
- OTHERSメニューのVideo Formatで記録ビットレートがSPのフォーマットが選択され、かつi.LINK I/OがEnableに設定されているときは、インターバルレックモードにできません。
- OTHERSメニューのVideo FormatがSP1080/24Pに設定されているときは、インターバルレックはできません。

## 撮影前の設定

インターバルレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューで設定を行ってください。

◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

### 1 CAMERA SETメニューのInterval Recを選ぶ。



### 2 SettingをOnにする。

インターバルレックモードになります。画面の特殊記録モード表示がONになっているときは、画面右上で「Interval Rec」が点滅します。

### 3 Interval Timeで撮影の間隔を設定する。

表示をスクロールすることによって、1～10/15/20/30/40/50 sec、1～10/15/20/30/40/50 min、1～4/6/12/24 hour から選択できます。

### 4 Number of Framesで、1度に記録する画像フレーム数を選択する。

Video Format (55ページ) が720/60Pまたは720/50Pに設定されているときは、2、6、12フレームから選択できます。それ以外に設定されているときは、1、3、6、9フレームから選択できます。

### 5 メニューを抜ける。

## インターバルレックモードで撮影する

事前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

## REC START/STOPボタンを押す。

インターバルレックモードでの記録が開始されます。

画面右上の「Interval Rec」表示が点滅から点灯に変わります。

### ご注意

- インターバルレックモードで記録が行われている間は、Interval TimeおよびNumber of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- インターバルレックモードで記録実行中は、フリーズミックス、レックレビューは使用できません。
- インターバルレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます(74ページ参照)。
- インターバルレックモードで記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。

## 記録を止める

## REC START/STOPボタンを押す。

インターバルレックモードの記録が停止します。

もう1度押すと、インターバルレックモードの記録が再開します。

## インターバルレックモードを解除する

CAMERA SETメニューでInterval RecのSettingをOffにします。

### ご注意

本機の電源スイッチをOFFにした場合も、Interval RecのSettingは自動的にOffに戻ります。ただしInterval TimeおよびNumber of Framesの設定値は保持されます。

# フレームレック: コマ撮りする

フレームレック機能は、クレイアニメなどの撮影をするときに有効です。

記録開始ボタンを押すたびに、あらかじめ設定したフレーム数 (Number of Frames) だけ間欠的に映像を記録します。

三脚などに本機を固定して、本体の REC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

## ご注意

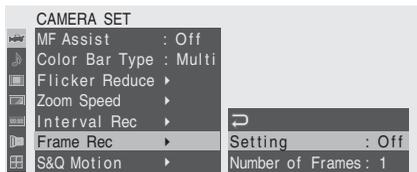
- フレームレックは、インターバルレック、スロー&クイックモーションと同時に On にすることはできません。フレームレックを On にすると、インターバルレック、スロー&クイックモーションは強制的に Off になります。
- フレームレックモードでは、音声は記録できません。
- OTHERSメニューのVideo Formatで記録ビットレートがSPのフォーマットが選択され、かつi.LINK I/OがEnableに設定されているときは、フレームレックモードにできません。
- OTHERSメニューのVideo FormatがSP1080/24Piに設定されているときは、フレームレックはできません。

## 撮影前の設定

フレームレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューで設定を行ってください。

- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

### 1 CAMERA SETメニューのFrame Recを選択する。



### 2 SettingをOnにする。

フレームレックモードになります。画面の特殊記録モード表示がONになっているときは、画面右上で「Frame Rec」が点滅します。

### 3 Number of Framesで、1度に記録する画像フレーム数を選択する。

Video Format (55ページ) が、720/60P または 720/50P に設定されているときは、2、6、12フレームから選択できます。それ以外に設定されているときは、1、3、6、9フレームから選択できます。

### 4 メニューを抜ける。

## フレームレックモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### 1 REC START/STOPボタンを押す。

フレームレックモードでの記録が始まります。

画面右上のFrame Rec表示が点滅から点灯に変わります。

メニューのNumber of Framesで設定したフレーム数を記録すると、自動的にFRM STBY (フレームレックスタンバイ) 状態になります。

### 2 再度 REC START/STOPボタンを押す。

REC START/STOPボタンを押すたびに、Number of Framesで設定したフレーム数を記録し、自動的にFRM STBY状態になります。

## ご注意

- 設定されたフレーム数の記録が終わるまでは、記録を途中で停止することはできません。

ん。記録途中で電源スイッチがOFFになったときは、設定されたフレーム数の記録が終了してから、電源が切れます。

- フレームレックモードで記録が行われている間は、レックレビューおよびフリーズミックス操作はできません。
- フレームレックモードで記録が行われている間は、Number of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- フレームレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます（74ページ参照）。
- フレームレックモード記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。

## 記録を止める

### CAMERA SETメニューでFrame RecのSettingをOffにする。

記録が停止し、フレームレックモードが解除されます。

#### ご注意

本機の電源スイッチを OFF にした場合も、Frame RecのSettingは自動的にOffに戻ります。ただしNumber of Framesの設定値は保持されます。

## スロー&クイックモーション撮影する

HQのプログレッシブ(P)方式のビデオフォーマットに設定されているときは（55ページ）、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常で撮影した映像を低速再生したり高速再生するよりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

#### 例

ビデオフォーマットがHQ 720/24Pのとき、フレームレートを1～23 fpsに設定して撮影するとクイックモーション映像になり、25～60 fpsに設定して撮影するとスローモーション映像になります。

#### ご注意

- スロー&クイックモーションは、フレームレック、インターバルレックと同時にOnにすることはできません。スロー&クイックモーションモードにすると、フレームレック、インターバルレックは強制的にOffになります。
- 再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。
- OTHERSメニューのVideo FormatがHQ 1080/60i、HQ 1080/50i、SP 1080/60i、SP 1080/50i、SP 1080/24Pのいずれかに設定されているときは、スロー&クイックモーション撮影はできません。
- PHU-220R（48ページ）を使用する場合は、下記の条件に設定してください。下記以外の条件では、正常に記録できません。

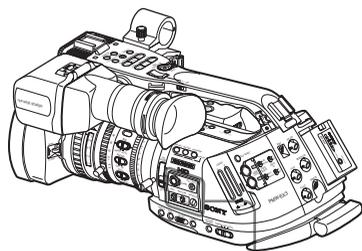
—NTSC Area

記録フォーマット	記録フレームレート
HQ 1080/30P	1～30 fps
HQ 1080/24P	1～24 fps
HQ 720/60P	1～60 fps
HQ 720/30P	1～30 fps

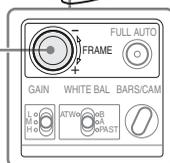
記録フォーマット	記録フレームレート
HQ 720/24P	1~24 fps
—PAL Area	
記録フォーマット	記録フレームレート
HQ 1080/25P	1~25 fps
HQ 720/50P	1~50 fps
HQ 720/25P	1~25 fps

## 撮影前の設定

スロー&クイックモーションで記録を始める前に、あらかじめ必要な設定を行ってください。



S&Qモーションダイヤル



### 1 S&Qモーションダイヤルを1秒以上押す。

スロー&クイックモーションスタンバイ状態になります。

画面上に「S&Q Motion」が点灯し、下に現在設定されているフレームレート（記録フレームレート/再生フレームレート）が表示されます。



### 2 S&Qモーションダイヤルを回して、記録フレームレートを設定する。

設定されているビデオフォーマットによって選択範囲が異なります。

有効垂直ライン数 1080のフォーマットのとき:1~30 fps

有効垂直ライン数720のフォーマットのとき:1~60 fps

### リモートコントロールユニット RM-B750/B150/B170 を接続したときは

CAMERA SETメニューのS&Q Motionが有効になり、RM-B750/B150/B170からの操作が可能になります。

◆詳しくは、「リモートコントロールユニットからスロー&クイックモーションを操作する」(150ページ)をご覧ください。

### ダイレクトメニューで撮影フレームレートを設定する

画面の特殊記録モード表示がオンになっているときは、十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ビューファインダーに表示されるダイレクトメニューで記録フレームレートを切り換えることもできます。

◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(26ページ)をご覧ください。

## スロー&クイックモーションモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### REC START/STOPボタンを押す。

スロー&クイックモーションモードでの記録が始まります。

#### ご注意

- スロー&クイックモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。

- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードはRec Runで記録されます（74ページ参照）。

## 記録を停止する

### REC START/STOPボタンを押す。

スロー&クイックモーションの記録が停止します。

#### ご注意

遅いフレームレートで撮影していた場合は、REC START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。

## スロー&クイックモーションモードを解除する

S&Qモーションダイヤルを押します。

#### ご注意

本機の電源スイッチをOFFにした場合も、スロー&クイックモーションモードは自動的にOFFになります。ただしフレームレートの設定値は保持されます。

## フリーズミックス：位置を合わせる

フリーズミックス機能を使うと、記録したクリップの映像の静止画（フリーズ画）と、カメラ入力画像を一時的に重ね合わせて表示することができるため、位置合わせが簡単に行えます。

## フリーズミックスを使用する

あらかじめアサインابلボタンのひとつにFreeze Mix（フリーズミックス機能）を割り当てます。

- ◆ 機能の割り当てかたについては、「アサインابلボタンの機能を変更する」（81ページ）をご覧ください。

## フリーズミックス表示する

- 1 記録を停止して、**STBY（記録待機）**状態にする。
- 2 **REC REVIEW**ボタンまたは**Freeze Mix**を割り当てた**ASSIGN**ボタンを押してレックレビューする。
- 3 位置合わせをしたいレビュー画像で、**Freeze Mix**を割り当てた**ASSIGN**ボタンを押す。

手順3でASSIGNボタンを押したときの画像が、フリーズ画としてカメラ入力画像に重ねて表示されます。

## フリーズミックス表示を解除する

ASSIGNボタンまたはREC START/STOPボタンで解除できます。

- Freeze Mixを割り当てたアサインابلボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常のカメラ画像になります。
- REC START/STOPボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常の記録が始まります。

## ご注意

- 記録された画像とカメラ入力画像の Video Format の設定が異なる場合は、フリーズミックス表示はできません。
- 記録ビデオフォーマットがSP 1080/24Pの場合は、フリーズミックスは使用できません。
- スロー&クイックモーションモード、スローシャッター撮影時は、フリーズミックス表示はできません。
- フリーズミックス表示中は、セットアップメニュー、ピクチャープロファイルメニューは操作できません。

## ショットランジション

ショットランジションとは、撮影手順に沿ってカメラの設定や機能をショットとして登録しておくことで、手間のかかる映像効果を容易に得るための機能です。

この機能を使って、あらかじめフォーカス、ズーム、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス、カラーマトリクス、ディテールレベルの設定をショットとして登録しておくことによって、現在の画像から登録したショット、またはショットから別のショットへ、なめらかに遷移することができます。

例えば、画面手前にフォーカスが合っている状態から徐々に画面奥の被写体にフォーカスを移動したり、アイリスを設定して被写界深度を変化させることができます。また、ホワイトバランスなどの手動調節機能を登録して、屋内の被写体から屋外の被写体へと、異なる撮影環境の間も、なめらかに場面を切り換えることができます。

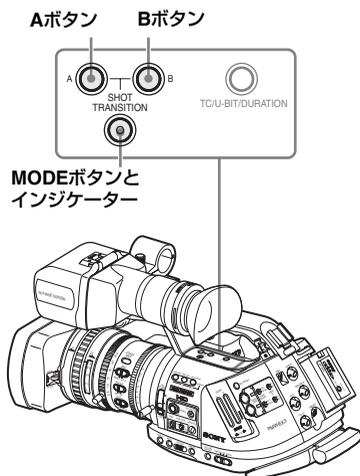
## ご注意

- ショットランジション機能を使用するときは、専用レンズを使用してください。専用以外のレンズでは正しく動作しない場合があります。
- インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) の各機能に、ショットランジションを組み合わせることはできません。
- ショットランジションでフォーカスを遷移させたい場合は、フォーカスをMFまたはAFモードに設定してください(69ページ参照)。Full MFモードになっていると、フォーカスが遷移しません。
- ショットランジションでズームを遷移させたい場合は、ZOOMスイッチをSERVOに設定してください(67ページ参照)。MANUになっていると、ズームが遷移しません。
- MACRO スwitchを ON にしてマクロ領域のフォーカスポジションを登録した後、

MACRO スイッチを OFF に切り換えてショットトランジションを実行すると、登録したフォーカスポジションまで遷移できない場合があります。

## ショットトランジション操作部と画面表示

ショットトランジション操作には、本体上面操作パネルの3つのTRANSITION操作ボタンを使用します。



### A ボタン、B ボタン

それぞれにショットを登録できます。

### MODE ボタンとインジケーター

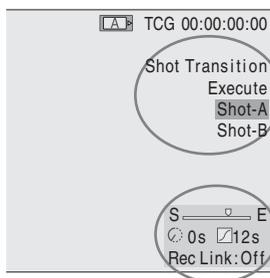
押すとショットトランジション操作モードになり、インジケーターが点灯します。

画面にショットトランジション操作エリアが表示されます。

ボタンを押すたびに、ショットトランジション操作モードが、Store、Check、Execute、Off (通常のカメラモード) の順で切り換わります。

Executeモードでは、ショットトランジション操作エリアの下にショットトランジション情報エリアが表示されます。

### ショットトランジション操作エリア



### ショットトランジション情報エリア

### ご注意

ショットトランジション操作モードが、Check、Executeになっているときは、カメラ操作はできません。調整が必要なときは、操作モードをStoreに切り換えてください。

## 撮影前の設定

ショットトランジションを使って記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのShot Transitionで必要な設定を行ってください。

設定内容は、ショットトランジション操作モードをExecuteにすると画面右下のショットトランジション情報エリアにアイコンなどで表示されます。

### ショットトランジション情報エリア

#### ショットトランジション進捗表示



スタートタイマー表示

### 設定手順

- 1 CAMERA SETメニューのShot Transitionを選択する。

CAMERA SET	
☰	☰
Auto BLK Balance	Trans Time : 2sec
Gain Setup ▶	Trans Speed : 5
Shutter ▶	Time/Speed : Speed
EX Slow Shutter ▶	Trans Curve : Soft Stop
Shot Transition ▶	Start Timer : Off
MF Assist : Off	Rec Link : Off

## 2 ショットトランジション実行時の条件を設定する。

### Trans Time

Time/SpeedをTimeにしたとき、ショットトランジション実行時の遷移時間を、2～15 secの範囲で1 sec刻みで設定します。

### Trans Speed

Time/Speed を Speed にしたとき、ショットトランジション実行時のズームの遷移速度（TELE端からWIDE端へ一定速度で移動する時間）を設定します。設定範囲は1～10です。数字が大きいかほど速くなります。

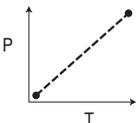
### Time/Speed

ショットトランジション実行時の遷移時間を、遷移時間で設定するか、ズームの遷移速度で設定するかを選択します。

設定	内容
Time	Transition Timeの設定が有効
Speed	Transition Speedの設定が有効

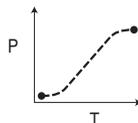
### Trans Curve

ショットトランジションの遷移パターンを設定します。設定したパターンのアイコンがショットトランジション情報エリアに表示されます。

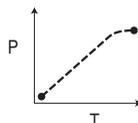
設定とアイコン	内容
	直線的に遷移する。
	

設定とアイコン	内容
---------	----

**Soft Trans** 開始直後と終了間際はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移する。



**Soft Stop** 終了間際はゆっくり遷移する。



P:パラメーター量 T:時間の遷移

### Start Timer

記録開始から、ショットトランジションの実行開始までの時間を設定します。スタートタイマーによるトランジションの遷移開始前は、ショットトランジション情報エリアにタイマー値がカウントダウン表示されます。

### Rec Link

ショットトランジションの実行開始と遷移するショットの選択を記録開始とリンクさせるかどうかを設定します。設定状態はショットトランジション情報エリアに表示されます。

**Off** : 記録開始とリンクしない。

(ショットトランジションの実行開始とショットの選択をA/Bボタンの操作で行う。)

**Shot-A** : 記録開始とリンクしてShot-Aへの遷移を開始する。

**Shot-B** : 記録開始とリンクしてShot-Bへの遷移を開始する。

## 3 設定が終わったらメニューを抜ける。

### ショットを登録する

A、Bの2種類のショットを登録できます。

**1** MODE ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアにStoreを表示させる。

- 2 ショットに登録したい画像になるようにカメラを調整する。
- 3 調整が終わったら、ショットAボタンまたはショットBボタンを押す。

押したボタンの側にカメラ設定値が登録されます。

登録したカメラ設定値は、次に登録し直すまで保持されます。

### 登録したショットを確認する

- 1 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアに**Check**を表示させる。
- 2 確認したいショットに登録した側のボタン（AまたはB）を押す。

登録したショットのカメラ設定値の画像に変わります。

この操作では、実際に遷移する様子を確認することはできません。

### ショットトランジション撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

Rec Linkの設定によって操作が異なります。

### 現在の画像から登録したショットに遷移させる

- 1 記録を開始したい画像になるようにカメラを調整する。
- 2 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアに**Execute**を表示させる。
- 3 **REC START/STOP** ボタンを押す。  
記録が始まります。
- 4 **Rec Link Off** のときは、ショットトランジションを開始したいタイミングで、遷移したいショットに登録した側のボタン（AまたはB）を押す。

記録中のカメラ設定から、ショットに登録したカメラ設定に向かって遷移します。

**Rec Link**が**Shot-A**または**Shot-B**のときは、それぞれショットAまたはショットBに登録したカメラ設定値に向かって、自動的に遷移します。Aボタン、Bボタンを押す必要はありません。

### ご注意

- ショットトランジションが開始された後は、手順1の状態に戻ることはできません。再現する必要がある場合はショットとして登録してください。
- i.LINK 接続した外部機器を本機の **REC START/STOP** に連動させて記録した場合、外部機器の性能によっては、**Rec Link**を**Shot-A**または**Shot-B**に設定しても、外部機器の録画開始とショットトランジションの開始タイミングが合わない場合があります。

### ショットAからショットBに遷移させる

**Rec Link**が**Off**または**Shot-B**のときは、ショットAからショットBに遷移させることができます。

- 1 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション表示画面に**Check**を表示させる。
- 2 **A**ボタンを押す。  
ショットAに登録したカメラ設定値の画像となります。
- 3 **MODE** ボタンを押して、ショットトランジション表示画面に**Execute**を表示させる。
- 4 **REC START/STOP** ボタンを押す。  
ショットAに登録したカメラ設定値で、記録が始まります。
- 5 **Rec Link Off** のときは、ショットトランジションを開始したいタイミングで、**B**ボタンを押す。  
**Rec Link**が**Shot-B**のときは、ショットBに登録したカメラ設定値に向かって、自

動的に遷移します。Bボタンを押す必要はありません。

## ショットBからショットAに遷移させる

Rec LinkがOffまたはShot-Aのときは、ショットBからショットAに遷移させることができます。

- 1 MODE ボタンを押して、ショットトランジション操作エリアにCheckを表示させる。**
- 2 Bボタンを押す。**  
ショットBに登録したカメラ設定値の画像になります。
- 3 MODEボタンを押して、ショットトランジション操作エリアにExecuteを表示させる。**
- 4 REC START/STOPボタンを押す。**  
ショットBに登録したカメラ設定値で、記録が始まります。
- 5 Rec Link Offのときは、ショットトランジションを開始したいタイミングで、Aボタンを押す。**  
**Rec LinkがShot-Aのときは、**ショットAに登録したカメラ設定値に向かって、自動的に遷移します。Aボタンを押す必要はありません。

## 記録を終了する

記録が終わったら、REC START/STOPボタンを押してください。

## トランジション実行中に記録を中止するには

記録中にREC START/STOPボタンを押すと、ショットトランジション実行中でも、記録が停止します。  
停止した時点の設定値でカメラのEE画になります。

## ショットトランジションを解除する

MODEボタンを押して、インジケータを消灯させます。  
ビューファインダーは通常の画面に戻ります。

# フェーダー機能

フェーダー機能を使用すると、フェードインで記録を開始したり、フェードアウトで記録を終了することができます。

アサインボタンにフェーダー機能を割り当てて操作することもできます。

- ◆機能の割り当てかたについては、「アサインボタンの機能を変更する」(81ページ)をご覧ください。

### ご注意

- インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、超高感度スローシャッター (EX Slow Shutter) の各機能と、フェーダーを組み合わせることはできません。
- フェードインで記録したクリップのサムネイルにおける代表画(104ページ参照)は全体が白い画面または黒い画面になります。代表画を変更すると識別しやすくなります。
- i.LINK 接続した外部機器を本機の REC START/STOP に連動させて記録した場合、外部機器の性能によっては、外部機器の録画開始とフェードインの開始タイミング、外部機器の録画終了とフェードアウトの終了タイミングが合わない場合があります。

## 撮影前の設定

あらかじめ次の手順でフェーダー機能の設定を行ってください。

- 1 CAMERA SETメニューのFaderを選択する。**

CAMERA SET		
Zoom Speed	▶	
Interval Rec	▶	Fade In : Off
Frame Rec	▶	Fade In Type : Black
S&Q Motion	▶	Fade In Time : 2sec
Rec Review : 2sec		Fade Out : Off
Fader	▶	Fade Out Type : Black
TLCS	▶	Fade Out Time : 2sec

## 2 フェードインの条件を設定する。

### Fade In

フェードインで開始するときは On にします。  
(アサインボタンで操作する場合はメニューで On にする必要はありません。)

### Fade In Type

フェードイン時の初期状態を選択します。

White: 全体が白い画面からフェードインする。

Black: 全体が黒い画面からフェードインする。

### Fade In Time

フェードインの遷移時間 (1/2/3/5/10 sec) を設定します。

## 3 フェードアウトの条件を設定する。

### Fade Out

フェードアウトで記録を終了するときは On にします。

(アサインボタンで操作する場合はメニューで On にする必要はありません。)

### Fade Out Type

フェードアウト時の最終状態を設定します。

White: 全体が白い画面にフェードアウトする。

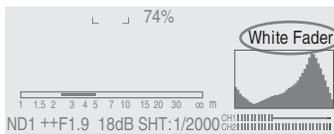
Black: 全体が黒い画面にフェードアウトする。

### Fade Out Time

フェードアウトの遷移時間 (1/2/3/5/10 sec) を設定します。

## 4 メニューを抜ける。

- メニューで Fade In を On にしたときは、メニューを抜けると同時にフェードインスタンバイ状態になります。
- 画面のフェーダー表示が ON になっているときは、Fade In Type で設定したフェードイン時の初期状態「White Fader」または「Black Fader」が点滅します。



### アサインボタンを使うときは

アサインボタンに Fader 機能を割り当てた場合は、Fade In/Fade Out の On/Off を、ボタン操作で行えます。

### フェードインの設定

本機が STBY (記録待機) モードのときに Fader 機能を割り当てた ASSIGN ボタンを押すと、フェードイン機能がオンになります。

### フェードアウトの設定

本機が記録モードのときに Fader 機能を割り当てた ASSIGN ボタンを押すと、フェードアウトスタンバイ状態になります。

### フェードインで記録を開始する

事前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### REC START/STOP ボタンを押す。

フェードインで記録が始まります。  
設定したフェードインが完了すると、通常の記録モードになります。  
フェードインタイプ表示は、フェードイン中は点灯し、フェードインが終わると消灯します。

### フェードアウトで記録を終了する

- メニューで Fade Out を On にした場合は、本機が記録モードになると自動的にフェードアウトスタンバイ状態になります。
- 記録開始後に Fader 機能を割り当てた ASSIGN ボタンを押すと、フェードアウトスタンバイ状態になります。

### フェードアウトを開始したい時点で REC START/STOP ボタンを押す。

フェードアウトが始まります。

フェードアウトが完了すると同時に記録が停止します。  
フェードアウトタイプ表示は、フェードアウト中は点灯し、フェードアウトが終わると消灯します。

### フェーダー機能を解除する

FaderメニューのFade In/Fade OutをOffにします。

ASSIGNボタン使用時は、もう一度ボタンを押すとOffになります。

#### ご注意

本機の電源スイッチを OFF にした場合も、Fade In/Fade Outは自動的にOffに戻ります。ただしメニューのTypeおよびTime設定は保持されます。

## ピクチャープロファイル

撮影条件などに合わせて調整した設定値をピクチャープロファイルとして保存し、必要に応じて再現することが可能です。

ピクチャープロファイルを選択するだけで、希望の画質で記録することができます。

本機では、6種類のピクチャープロファイル(PP1～PP6)を登録することができます。工場出荷時は、すべて標準設定値(ピクチャープロファイルOffの場合と同じ)が登録されています。

ピクチャープロファイルの操作には、PICTURE PROFILEメニューを使用します。

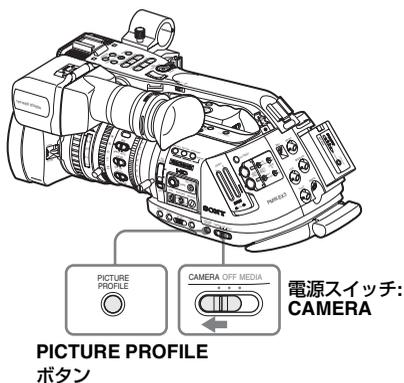
#### ご注意

ピクチャープロファイルは、カメラモードでのみ操作できます。メディアモードでは操作できません。

リモートコントロールユニットRM-B750/B150/B170やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501などの外部コントロール機器を接続した場合は、PP6が自動的に選択され、接続したコントロール機器からピクチャープロファイルを設定することができます。

- ◆外部コントロール機器での操作について詳しくは、「REMOTE 端子を介して操作する」(149ページ)をご覧ください。

## ピクチャープロフィールを登録する



- 1 電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードで起動する。
- 2 PICTURE PROFILEボタンを押す。PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 3 ジョグダイヤルまたは十字スティックを操作してSELを選択し、リストから登録するピクチャープロフィールの番号を選択する。

PICTURE PROFILE	
SEL	OFF
SET	PP1: STANDARD
	PP2: STANDARD
	PP3: STANDARD
	PP4: STANDARD
	PP5: STANDARD
	PP6: STANDARD

- 4 ジョグダイヤルまたは十字スティックを操作してSETを選択し、設定を変更する。

PICTURE PROFILE	
SEL	PP1: STANDARD
SET	⏪
	Profile Name ▶
	Matrix ▶
	Color Correction ▶
	White ▶
	Detail ▶

◆それぞれの設定項目については、「ピクチャープロフィール項目」(97ページ)をご覧ください。

- 5 設定が終わったら、PICTURE PROFILEボタンを押してメニューを抜ける。

## ピクチャープロフィールを選択する

### PICTURE PROFILEメニューでピクチャープロフィールを選択する

ピクチャープロフィールを登録しておく、呼び出すだけで登録された画質に調整することができます。

- 1 電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードで起動する。
- 2 PICTURE PROFILEボタンを押す。PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 3 ジョグダイヤルまたは十字スティックを操作してSELを選択し、リストからピクチャープロフィールを選択する。

例：

PICTURE PROFILE	
SEL	OFF
SET	PP1: SceneA
	PP2: SceneB
	PP3: SceneC
	PP4: SceneD
	PP5: SceneE
	PP6: SceneF

選択したプロフィールに応じた画質に調整されます。

(OFFを選択した場合は、画質は標準設定になり、調整はできません。)

#### 4 PICTURE PROFILEボタンを押し、メニューを抜ける。

### ダイレクトメニューでピクチャープロフィールを選択する

DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、現在選択されているピクチャープロフィールが画面に表示されます。



十字スティックまたはジョグダイヤルを使用して、ダイレクトメニューでピクチャープロフィールを選択できます。

◆ダイレクトメニューについて詳しくは、「ダイレクトメニュー操作」(26ページ)をご覧ください。

### ピクチャープロフィールの設定をコピーする

選択したピクチャープロフィールの設定内容を、別のピクチャープロフィールにコピーすることができます。

- 1 前項「**PICTURE PROFILE**メニューでピクチャープロフィールを選択する」の手順1~3のように操作して、コピー元のピクチャープロフィールを選択する。
- 2 **PICTURE PROFILE**メニューの**SET**から**Copy**を選択する。  
画面下部にピクチャープロフィールの番号がリスト表示されます。
- 3 コピー先のピクチャープロフィールを指定する。  
Execute/Cancelが表示されます。
- 4 **Execute**を選ぶ。  
コピーが始まります。

コピーが終了すると、完了メッセージが3秒間表示され、元の画面に戻ります。

### ピクチャープロフィールをリセットする

選択したピクチャープロフィールの設定内容を、工場出荷時の設定(標準値)に戻すことができます。

- 1 前々項「**PICTURE PROFILE**メニューでピクチャープロフィールを選択する」(95ページ)の手順1~3のように操作して、リセットしたいピクチャープロフィールを選択する。
- 2 **PICTURE PROFILE**メニューの**SET**から**Reset**を選択する。  
Execute/Cancelが表示されます。
- 3 **Execute**を選ぶ。  
リセットが実行されます。

リセットが終了すると、完了メッセージが3秒間が表示され、元の画面に戻ります。

## ピクチャープロフィール項目

PICTURE PROFILEメニューのSELでOffを選択したときの設定値を、太文字(例: **Standard**)で表示します。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Profile Name ピクチャープロフィール名の変更	プロフィール名	最大8文字のプロファイル名を設定する。 アルファベットの小文字a~z、大文字A~Z、数字0~9、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、およびスペースから選択。
Matrix マトリクス演算による映像全体の色相の調整	Setting <b>On</b> / Off	Onにすると、マトリクス演算による映像全体の色相調整機能が有効になる。
	<b>ご注意</b>	
	MatrixのSettingをOffにすると、Color Correction機能もOffになります。	
	Select <b>Standard</b> /High SAT / FL Light / Cinema	マトリクス演算に使用する内蔵プリセットマトリクスを選択する。
	Level -99~+99 ( <b>±0</b> )	映像全体の色の濃さ(Saturation)を調整する。
Phase -99~+99 ( <b>±0</b> )	映像全体の色合い(Hue)を調整する。	
	R-G, R-B, G-R, G-B, B-R, B-G -99~+99 ( <b>±0</b> )	それぞれ対応する係数を個別に設定し、映像全体の色相を微調整する。
Color Correction 特定のエリアの色相のみの調整	Setting <b>On</b> / <b>Off</b>	Onにすると、特定エリアの色相調整機能が有効になる。(色相を調整できるのは1エリアのみで、複数エリアの色相の同時調整はできない。)
	Area Detection <sup>1)</sup> Execute/Cancel	実行すると、画面中央部の色を検出し、その色を中心にTarget Widthで設定された幅のエリアをColor Correctionでの調整対象とする。
	Area Indication <sup>2)</sup> <b>On</b> / <b>Off</b>	Onにすると、画面上のColor Correctionの調整対象エリアに含まれる色の部分に対しゼブラパターンを表示する。
	Target Phase 0~359 ( <b>130</b> )	Color Correctionの調整対象エリアの中心の色を手動で設定する。
	<b>ご注意</b>	
	Area Detectionを実行すると、Area Detectionの実行結果によって上書きされます。必要に応じて手動で微調整できます。	
	Target Width 0~90 ( <b>40</b> )	Color Correctionの対象エリアの色相の幅を設定する。
Level -99~+99 ( <b>±0</b> )	設定対象の色に対する色の濃さ(Saturation)を設定する。	
Phase -99~+99 ( <b>±0</b> )	設定対象の色に対する色合い(Hue)を設定する。	

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
White ホワイトバランスのオフセット、プリセットホワイトの色温度の設定	Offset White On / Off	Onにすると、ホワイトモードがメモリー Aまたはメモリー Bのときのオートホワイトバランス収束値、およびATWのときのATW動作の収束値を、色温度低めあるいは色温度高めにシフトさせる。
	Offset<A> -99~+99 (±0)	それぞれホワイトモードがメモリー A、メモリー B、ATWのときのATWに対するオフセットホワイト量の設定 (収束値のシフト量) を調整する。
	Offset<B> -99~+99 (±0)	
	Offset<ATW> -99~+99 (±0)	
Detail 映像に付加するディテールの調整	Preset White 2100~10000 (3200)	ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているときのプリセット色温度を100Kステップで調整する。
	<b>ご注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホワイトバランスがメモリー A、BモードになっているかATWが起動しているとき以外は、Offset Whiteの設定やOffsetの設定を変更しても、その変化を画面で確認することはできません。</li> <li>• ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているとき以外は、Preset Whiteの設定を変更してもその変化を画面で確認することはできません。</li> </ul>	
	Setting On / Off	Onにすると、映像にディテールが付加される。
	Level -99~+99 (±0)	映像に付加するディテールの大きさを調整する。
	Frequency -99~+99 (±0)	ディテールの中心周波数 (ディテールの太さ) を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Crispensing -99~+99 (±0)	ノイズ成分を抑制するレベルを調整する。大きくすると、微小なディテール成分がなくなりレベルの大きいディテール成分のみ残るため、ノイズ感が少なくなる。小さくすると、微小なディテール成分も映像に付加されるが、ノイズも多くなる。
	H/V Ratio -99~+99 (±0)	ディテール成分の水平と垂直の比率を調整する。大きくすると垂直のディテール成分が水平に対し大きくなる。
	White Limiter -99~+99 (±0)	白側に付くディテールの大きさを制限する。
	Black Limiter -99~+99 (±0)	黒側に付くディテールの大きさを制限する。
V DTL Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM (GとRのどちらか大きい方)、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。	
Knee APT Level -99~+99 (±0)	ニーアパーチャー (ニーポイントより上の部分に付けるディテール量) を調整する。	

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Skin Tone Detail 映像の特定の色相の部分に付加するディテールの大きさの調整	Setting On / <b>Off</b>	Onにすると、映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルの調整が可能になる。Offにするとディテールの大きさは映像の全域で同一になる。
	Level -99~+99 ( <b>±0</b> )	映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルを調整する。
	Area Detection <sup>1)</sup> Execute/Cancel	実行すると、画面中央部の色を検出し、その色を中心に幅を持たせた色の範囲をSkin Tone Detailでの調整対象にする。
	Area Indication <sup>2)</sup> On / <b>Off</b>	Onにすると、画面上のSkin Tone Detailの調整対象エリアに含まれる色の部分に対しゼブラ1パターンが表示される。
	Saturation -99~+99 ( <b>±0</b> )	Skin Tone Detailを効かせる色の彩度（色の濃さ）の範囲を調整する。
Phase 0~359 ( <b>130</b> )	Phase 0~359 ( <b>130</b> )	Skin Tone Detailの調整対象エリアの色合い方向の中心値を調整する。
	<b>ご注意</b> Area Detectionを実行すると、検出結果で得られた色の色合い相当の値に自動的に変更されます。	
	Width 0~90 ( <b>40</b> )	Phaseで設定された色を中心にSkin Tone Detailの調整対象エリアに幅を持たせるときの色合い方向の幅を調整する。
		<b>ご注意</b> Area Detectionを実行すると、自動的に40に戻ります。
Knee ニー（高輝度部分に圧縮をかける機能）の調整	Setting On / <b>Off</b>	Onにすると、映像の高輝度部分に圧縮がかかる。
	<b>ご注意</b> 以下のときは、Kneeは固定され、変更できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Gamma設定がCINE1~4のとき</li> <li>• 電子シャッターがSLSモードのとき</li> <li>• EX Slow Shutterが動作しているとき</li> </ul>	
	Auto Knee On / <b>Off</b>	Onにすると、ニーをかけるレベルを、撮影している映像の輝度レベルから常に自動で最適に計算して動かす。Offにすると、撮影している映像のレベルに依存せず、ニーをかけるレベルを手動で調整できる。
	Point 50~109 ( <b>90</b> )	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーポイントを設定する。
	Slope -99~+99 ( <b>±0</b> )	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーの傾き（圧縮度合い）を調整する。
Knee SAT Level 0~99 ( <b>50</b> )	ニーポイントより上の部分の色つき具合（ニーサチュレーション）を調整する。	

PICTURE PROFILE SET

項目	細目と設定値	内容
Gamma ガンマ補正のレベルの調整と、ガンマカーブの切り換え	Level -99~+99 (±0)	ガンマ補正のレベルを調整する。
	Select <sup>3)</sup> STD1 / STD2 / <b>STD3</b> / STD4 / CINE1 / CINE2 / CINE3 / CINE4	ガンマ補正の基準カーブの種類を選択する。
Black ブラックの調整	-99~+99 (±0)	マスターブラックのレベルを調整する。
Black Gamma ブラックガンマレベルの調整	-99~+99 (±0)	映像の暗い部分のみを立てて階調をはっきりさせたり、逆に潰してノイズを抑えるブラックガンマ機能のレベルを調整する。
Low Key SAT ローキーサチュレーションの調整	-99~+99 (±0)	映像の暗い部分のみの色を濃くしたり、逆に薄くしてノイズを抑えるローキーサチュレーションのレベルを調整する。
Copy ピクチャープロファイルのコピー	Execute / Cancel	コピーを実行するときはExecuteを選択する。
Reset ピクチャープロファイルのリセット	Execute / Cancel	標準設定に戻すときはExecuteを選択する。

1) Area Detectionを実行するには

1. Area Detectionを選択する。

画面中央に検出領域を示す四角のマーカーが表示され、画面下に Execute/Cancelが表示されます。

2. Executeを選択する。

マーカー領域の色相検出を実行します。検出に成功すると完了メッセージが表示され、元の画面に戻ります。このときColor CorrectionまたはSkin Tone Detailの調整対象エリアはArea Detectionで検出された色を中心とするエリアに変更され、Area Indication（ゼブラパターン）が表示されます。検出に失敗した場合は、エラーメッセージが表示され、元の画面に戻ります。

2) Area IndicationのOn/Offは、PP1~PP6で連動して切り換わります。

3) GammaのSelectで選択できるガンマカーブ

- STD1: STD2より暗部のコントラストを弱め、中間域のコントラストを強める。
- STD2: STD3より暗部のコントラストを弱める。
- STD3: 標準的な設定（工場出荷設定）
- STD4: STD3より暗部のコントラストを強める。
- CINE1: 暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の階調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする。
- CINE2: CINE1とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する。
- CINE3: CINE1、CINE2より明部と暗部のコントラストを強め、かつ黒側の階調変化をはっきりさせる。
- CINE4: CINE3よりさらに暗部のコントラストを強める。STDより暗部のコントラストは弱く、明部のコントラストは強い。

## クリップを削除する

カメラモードでは、直前に記録したクリップの削除 (Last Clip DEL) およびメモリーカードに記録された全クリップの削除 (All Clips DEL) が可能です。

メディアモードでは、クリップを指定して削除することができます。

- ◆メディアモードでのクリップ削除については、「クリップを削除する」(112ページ) をご覧ください。

### 直前に記録したクリップを削除する

Last Clip DEL機能を割り当てたアサインボタンまたはセットアップメニューを使用して、「クリップを削除する」(112ページ) を削除することができます。

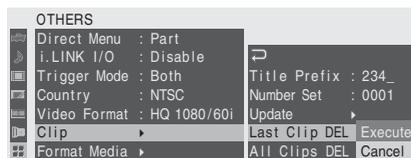
#### アサインボタンで削除する

あらかじめアサインボタンのいずれかに Last Clip DEL機能を割り当ててください(81ページ参照)。

- 1 Last Clip DEL機能を割り当てたアサインボタンを押す。**  
確認メッセージが表示されます。
- 2 十字スティックまたはジョグダイヤルを操作して、「実行」(Execute)を選択する。**  
最後に記録されたクリップがメモリーカードから削除されます。

#### セットアップメニューで削除する

- 1 OTHERS メニューの Clip から Last Clip DELを選択する。**



- 2 Executeを選択する。**  
確認メッセージが表示されます。
  - 3 再度Executeを選択する。**  
最後に記録されたクリップがメモリーカードから削除されます。
- ◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ) をご覧ください。

### 全クリップを削除する

セットアップメニューを使用して、現在選択されているスロットのメモリーカードに記録されているすべてのクリップを削除することができます。

- 1 OTHERS メニューの Clip から All Clips DELを選択する。**
- 2 Executeを選択する。**  
確認メッセージが表示されます。
- 3 再度Executeを選択する。**  
すべてのクリップがメモリーカードから削除されます。

#### ご注意

OK マークが付加されたクリップは削除されません。

- ◆OKマークについて詳しくは、「クリップにOKマークを付ける」(111ページ) をご覧ください。

## 設定データの保存と呼び出し

本機では、メニューの全設定データ（ピックアップファイルを含む）を、セットアップファイルとしてSxSメモリーカードに保存することができます。

保存したセットアップファイルを読み出すことによって、適切なセットアップ状態をすばやく再現することができます。

セットアップファイルの保存と読み出しには、OTHERSメニューのCamera Dataを使用します。

### ご注意

Clock Set、Time Zone、Hours Meter（137ページ参照）の値は保存されません。

## セットアップファイルを保存する

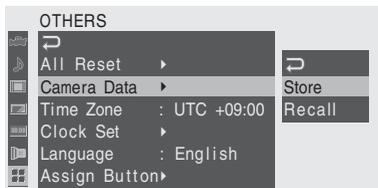
セットアップファイルは、1枚のSxSメモリーカードに1ファイルのみ保存できます。

### 1 セットアップファイルを保存するメモリーカードをカードスロットに入れる。

入れたスロットに対応するメモリーカードアイコンが画面に表示されることを確認してください。

もう1枚のメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

### 2 OTHERSメニューのCamera Dataを選択する。



### 3 Storeを選ぶ。

Storeの右に、CancelとExecuteが表示されます。

### 4 Executeを選ぶ。

メモリーカードへのデータの書き込みが始まります。

書き込み中は、画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わります。

### ご注意

- 手順1で指定したメモリーカードにすでにセットアップファイルが保存されている場合は、上書きを許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- メモリーカードの容量が足りない場合はエラーメッセージが表示されます。

## セットアップファイルを読み出す

メモリーカードに保存したセットアップファイルを読み出すと、本機は保存された状態に設定されます。

### 1 セットアップファイルを保存したメモリーカードをカードスロットに入れる。

画面にアイコンが表示されることを確認してください。もう1枚のメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

### 2 OTHERSメニューのCamera Dataを選択する。

### 3 Recallを選ぶ。

Recallの右に、CancelとExecuteが表示されます。

### 4 Executeを選ぶ。

データの読み出しが始まります。

読み出し中は、画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わり、セットアップファイルに従って本機の設定が変更されます。

## 標準設定値に戻す

OTHERSメニューでAll Resetを実行すると、メニューやボタン操作で変更した本機の状態を、すべて標準設定値(工場出荷時の設定)に戻すことができます。

## クリップの再生

電源スイッチをMEDIA側にして起動すると、本機はメディアモードになり、SxSメモリーカードに収録されているクリップがサムネイル（縮小画）画面に表示されます。

（クリップが記録されていないカードを入れた場合は、メッセージが表示されます。）

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。

再生画像は、ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。

◆外部ビデオモニターの接続については、「外部ビデオモニターの接続について」（140ページ）をご覧ください。

### サムネイル画面

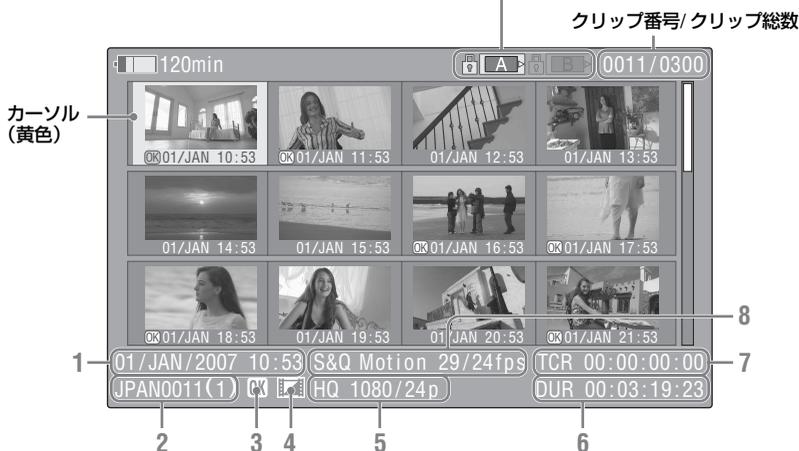
SxSメモリーカードに記録されているクリップの代表画像が、サムネイル（縮小画）として表示されます。

それぞれの代表画像の下に、クリップの記録日と記録開始時刻が表示されます（OKマークが付加されている場合はOKマーク表示）。

### 各クリップの代表画

記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます（115ページ参照）。

現在選択されているメモリーカードをハイライト表示  
（プロテクトされている場合は左にロックマーク表示）



1～8には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

1. 収録日と録画開始時刻
2. クリップ名

### 3. OKマーク

選択したクリップにOKマーク（111ページ参照）が付加されている場合のみ表示されます。

#### 4. AV単独ファイルアイコン

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての操作と表示ができない可能性があることを示します。

#### 5. 記録時のビデオフォーマット

#### 6. クリップの収録時間 (Duration)

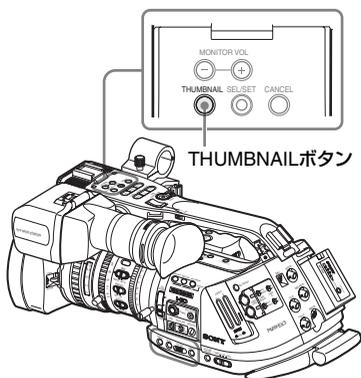
#### 7. タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

#### 8. 特殊記録撮影情報

特殊記録モード(S&Q Motion / Interval Rec / Frame Rec)で記録されたクリップの場合は、そのモードが表示されます。

S&Q Motion記録されたクリップの場合は、右に [ 撮影フレームレート / 再生フレームレート ] が表示されます。



選択されているメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみのサムネイル画面になります。もう一度ボタンを押すと、全クリップのサムネイル画面に戻ります。

◆OKマークの操作については、「クリップにOKマークを付ける」(111ページ)をご覧ください。

### SxSメモリーカードを切り換える

メモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタンを押して切り換えます。

#### ご注意

メディアモードでは、サムネイル画面が表示されているとき、またはSTOPボタンを押して外部入力画像が表示されているときのみ、切り換え可能です。

再生中にメモリーカードを切り換えることはできません。

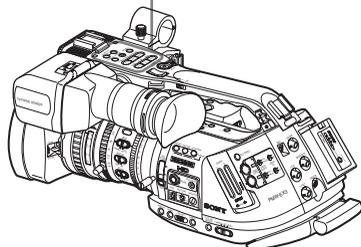
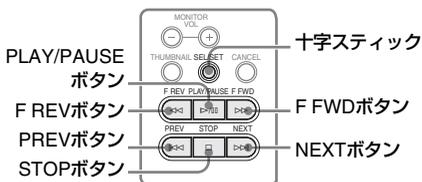
またAスロットからBスロットへの連続再生はできません。

### OKマークを付加したクリップのみサムネイル画面に表示させる

THUMBNAILボタンを押します。

### 再生する

再生にはハンドル面操作パネルの再生コントロールボタンを使用します。



- 赤外線リモコンを有効にしたときは、リモコンのボタンでも操作できます（41ページ参照）。
- 十字スティックには、その時点のモードに応じて再生コントロールボタンの機能が割り当てられます（106ページ参照）。
- サムネイル画面でのカーソル移動や確定操作は、ジョグダイヤルで実行することもできます。

## 選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 十字スティックを倒すかジョグダイヤルを回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- PLAY/PAUSE**ボタンを押す。  
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

選択したクリップ以降のすべてのクリップを連続再生します。

最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで PAUSE（静止画）モードになります。

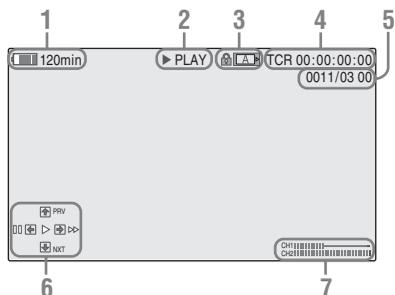
THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

### ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREV ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

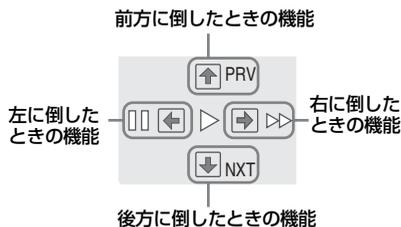
## 再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



- バッテリー残量/DC IN電圧表示
- 再生モード表示
- SxSメモリーカード表示  
メモリーカードがプロテクトされている場合は、左に マークが表示されます。
- タイムデータ表示  
再生画像のタイムデータが表示されます。TC/U-BIT/DURATIONボタンを押すたびに、タイムコード (TCR) 表示とユーザービット (UB表示) が切り替わります。
- クリップ番号/クリップ総数
- 十字スティック操作ガイド表示  
その時点での十字スティックの機能を表示します。

再生中の表示例：



ガイド表示	動作
▶▶▶▶	4倍速順方向再生
▶▶▶	15倍速順方向再生
◀◀◀◀	4倍速逆方向再生
◀◀◀	15倍速逆方向再生
▶	標準再生
	一時停止
PRV	現在のクリップの先頭へ
NXT	次のクリップの先頭へ

## 7. オーディオレベル表示

記録時のオーディオレベルを表示します。

### 再生を一時停止する

PLAY/PAUSEボタンを押します。  
もう一度押すと再生モードに戻ります。

### 高速再生する

4倍速、15倍速で順方向、逆方向に高速再生できます。高速再生時は音声はオフになります。

#### 順方向に高速再生するには

F FWDボタンを押します。  
ボタンを押すたびに、再生速度（4倍速/15倍速）が切り換わります。

#### 逆方向に高速再生するには

F REVボタンを押します。  
ボタンを押すたびに、再生速度（4倍速/15倍速）が切り換わります。

#### 標準再生に戻るには

PLAY/PAUSEボタンを押します。

### 頭出しする

#### 現在のクリップの先頭に戻るには

- PREVボタンを押します。
- 再生中またはF FWD中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。
  - F REV 中または一時停止中に押すと、現在のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
  - 続けて押すと、押すたびにひとつずつ前のクリップに移動します。

#### 最初のクリップの先頭から再生するには

PREVボタンとF REVボタンを同時に押すと、メモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

#### 後ろのクリップの先頭にジャンプするには

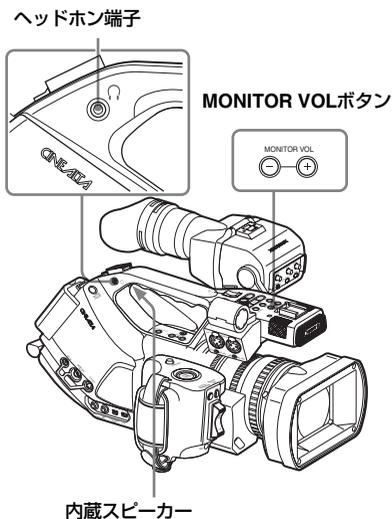
- NEXTボタンを押します。
- 再生中または F FWD 中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして再生を開始します。

- F REV中または一時停止中に押すと、次のクリップの先頭にジャンプして静止画を表示します。
- 続けて押すと、押すたびにひとつずつ後ろのクリップに移動します。

**最後のクリップの先頭から再生するには**  
F FWD ボタンと NEXT ボタンを同時に押すと、メモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

### 音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。



ヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。  
MONITOR VOLボタンを押して音量を調整します。  
調整中は、画面に音量レベルがバー表示されます。  
モニターするチャンネルは、AUDIO SETメニューのAudio Output（130ページ）で選択できます。

### 再生中にショットマークを追加する

記録時と同様に、ボタンを押すことによって再生中のクリップに、ショットマークを追加することができます。

ショットマークを入れたい部分で、**Shot Mark1**または**Shot Mark2**の記録機能を割り当てたアサイナブルボタン、またはリモコンの**SHOTMARK 1**または**2**ボタンを押す。

#### ご注意

- カードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

---

### 再生を中止する

---

次のいずれかで再生が中止されます。

#### THUMBNAILボタンを押す。

再生モードが解除され、サムネイル画面に戻ります。

#### STOPボタンを押す。

再生モードが解除され、外部入力画面またはブルー画面になります。サムネイル画面を表示させたいときはTHUMBNAILボタンを押してください。

# クリップ操作

メディアモードでは、クリップ操作メニューを使用してクリップの操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。

下記の画面からそれぞれ対応するクリップ操作メニューを選択できます。

## クリップ操作メニュー構成

### サムネイル画面 (110ページ)

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD
- OK MARK DEL
- COPY CLIP
- DELETE CLIP
- SHOT MARK
- SHOT MARK1
- SHOT MARK2
- EXPAND CLIP

### 再生一時停止の静止画像 (110ページ)

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- EXPAND CLIP

### クリップエクスパンド画面 (113ページ)

- CANCEL
- EXPAND(COARSE)
- EXPAND(FINE)
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP

### ショットマーク画面 (114ページ)

- CANCEL
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP

## クリップ操作メニューの基本操作

### クリップ操作メニューを表示させる

十字スティックまたはジョグダイヤルを押します。

表示されている画面に対応するクリップ操作メニューが表示されます。

### クリップ操作メニューを選択する

ジョグダイヤルを回すか十字スティックを倒して機能を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押してください。

CANCELボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

クリップ操作メニューでCANCELを選択すると、クリップ操作メニューが消えます。

#### ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、クリップのコピー・削除・分割、代表画の変更、OKマーク、ショットマークの付加・削除はできません。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

### サムネイル画面のクリップ操作メニュー

サムネイル画面(104ページ)で十字スティックまたはジョグダイヤルを押すと、カーソル位置のクリップの操作メニューが表示されます。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する(111ページ)。
OK MARK ADD	OKマークを付加する(111ページ)。
OK MARK DELETE	OKマークを削除する(112ページ)。
COPY CLIP	クリップを別のSxSメモリーカードにコピーする(112ページ)。
DELETE CLIP	クリップを削除する(112ページ)。
SHOT MARK	ショットマークが記録されているフレームをサムネイル表示する(114ページ)。

項目	機能
SHOT MARK1	ショットマーク1が記録されているフレームのみをサムネイル表示する(114ページ)。
SHOT MARK2	ショットマーク2が記録されているフレームのみをサムネイル表示する(114ページ)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える(113ページ)。

### 再生一時停止のクリップ操作メニュー

一時停止モードで静止画が表示されているときに十字スティックまたはジョグダイヤルを押すと、一時停止中のクリップの操作メニューが表示されます。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する(111ページ)。
OK MARK ADD	OKマークを付加する(111ページ)。
SHOT MARK1 ADD	ショットマーク1を付加する(115ページ)。
SHOT MARK2 ADD	ショットマーク2を付加する(115ページ)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える(113ページ)。

## クリップの詳細情報を表示する

クリップ操作メニューでDISP CLIP INFOを選択すると、クリップの詳細情報画面になります。



### 1. 現在のクリップの画像

### 2. 前のクリップの画像

PREVボタンを押すと、ひとつ前のクリップの詳細情報画面になります。

### 3. 次のクリップの画像

NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。

### 4. クリップ名

### 5. OKマーク

OKマークが付加されている場合のみ表示されます。

### 6. 収録日と録画開始時刻

### 7. 記録時のビデオフォーマット

### 8. 特殊記録撮影情報

特殊記録されたクリップの場合、S&Q Motion / Interval Rec / Frame Recのいずれかを表示します。

S&Q Motion記録の場合、右に[撮像フレームレート / 再生フレームレート] fpsが表示されます。

### 9. 表示されている画像のタイムコード

### 10. 記録開始点のタイムコード

### 11. 記録終了点のタイムコード

### 12. 収録時間

### 13. 記録音声チャンネル

## クリップにOKマークを付ける

クリップにOKマークを付加することによって、必要なクリップのみマーキングして、THUMBNAILボタンを押したときに必要なクリップのみサムネイル画面に表示されるように設定することができます。

OKマークを付加したクリップは、削除・分割が禁止されます。削除・分割したいときは、OKマークを削除してから操作してください。

## OKマークを付加する

### 1 クリップ操作メニューでOK MARK ADDを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

## 2 「実行」(Execute) を選択し、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

選択されているクリップにOKマークが付加されます。

### OKマークを削除する

すでにOKマークが付加されているクリップの場合は、サムネイル画面のクリップ操作メニューでOK MARK DELが表示されます。

## 1 クリップ操作メニューでOK MARK DELを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

## 2 削除を実行するときは、「実行」(Execute) を選択して、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

選択されているクリップからOKマークが削除されます。

### クリップをコピーする

サムネイル画面で選択したクリップを、もう1枚のSxSメモリーカードにコピーすることができます。

## 1 現在選択されているメモリーカードのサムネイル画面でコピーしたいクリップを選び、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

サムネイル画面のクリップ操作メニューが表示されます。

## 2 クリップ操作メニューでCOPY CLIPを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に、確認メッセージが表示されます。

## 3 コピーを実行するときは、「実行」(Execute) を選択して、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。 コピーが始まります。

コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

コピー中は実行メッセージと進捗バーが表示されます。

コピーが完了すると、サムネイル画面に戻ります。

### ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。

例:

ABCD0002→ABCD0002(1)

ABCD0002(1)→ABCD0002(2)

ABCD0005(3)→ABCD0005(4)

- コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードには、それ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

### コピーを中止するには

CANCELボタンを押してください。

コピーを中止して、サムネイル画面に戻ります。

### クリップを削除する

サムネイル画面で選択したクリップを、SxSメモリーカードから削除することができます。

## 1 サムネイル画面で削除したいクリップを選び、十字スティック/ジョグダイヤルを押す。

サムネイル画面のクリップ操作メニューが表示されます。

## 2 クリップ操作メニューでDELETE CLIPを選択する。

クリップの詳細情報画面に切り換わり、代表画の下に確認メッセージが表示されます。

## 3 削除を実行するときは、「実行」(Execute)を選択して、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。クリップが削除されます。

サムネイル画面では、削除したクリップの次以降がひとつずつ繰り上がります。

### クリップエクスパンド画面を表示させる

選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示することができます。

記録時間の長いクリップで、目的のシーンにすばやくキューアップしたい場合などに有効です。

クリップエクスパンド画面は、サムネイル画面で選択したクリップ、または再生を一時停止して静止画が表示されているクリップから選択できます。

## 1 クリップの再生を一時停止するか、サムネイル画面でクリップを選び、十字スティック/ジョグダイヤルを押す。対応するクリップ操作メニューが表示されます。

## 2 クリップ操作メニューでEXPAND CLIPを選択する。

再生を一時停止したクリップまたはサムネイル画面で選択したクリップのエクスパンド画面が表示されます。

再生一時停止のクリップ操作メニューで選択したクリップエクスパンド画面では、分割数を増やした最も細かい時間間隔で表示されます。

## クリップエクスパンド画面



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面で表示される項目と共通です。

### 1. フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。

	代表画
	ショットマーク1が付け加えられたフレーム
	ショットマーク2が付け加えられたフレーム

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付け加えている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

### 2. タイムコード表示

エクスパンド画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

## クリップエクスパンド画面のクリップ操作メニュー

クリップエクスパンド画面でフレームを選択して、十字スティック/ジョグダイヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、さらに細かく分割表示したり、選択したフレーム以降を別のクリップとして保存するなどの操作が可能です。

項目	機能
EXPAND (COARSE)	クリップの分割数を減らす。
EXPAND (FINE)	クリップの分割数を増やす。
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (115ページ)。
SHOT MARK1 ADD	選択したフレームにショットマーク1を付加する (115ページ)。
SHOT MARK2 ADD	選択したフレームにショットマーク2を付加する (115ページ)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する (115ページ)。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する (115ページ)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する (115ページ)。

## ショットマーク画面を表示する

クリップにひとつ以上のショットマークが記録されている場合、ショットマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。

- 1 サムネイル画面でクリップを選ぶ。
- 2 十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。  
クリップ操作メニューが表示されます。
- 3 SHOT MARK、SHOT MARK1、またはSHOT MARK2を選択する。

**SHOT MARK:** ショットマーク1が付加されているフレームとショットマーク2が付加されているフレームの両方がサムネイル表示されます。

**SHOT MARK1:** ショットマーク1が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

**SHOT MARK2:** ショットマーク2が付加されているフレームのみサムネイル表示されます。

## ショットマーク画面例 (SHOT MARK 選択時)



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。以下の項目以外は、クリップエキスパンド画面で表示される項目と共通です。

### 1. タイムコード表示

ショットマーク画面で選択されているフレームのタイムコード

## ショットマーク画面でのクリップ操作メニュー

ショットマーク画面でフレームを選択して十字スティックまたはジョグダイヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、ショットマークを削除するなどの操作が可能です。

項目	機能
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (115ページ)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する (115ページ)。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する (115ページ)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する (115ページ)。

## ショットマークを追加・削除する

記録済みのクリップにショットマークを追加したり、記録されているショットマークを削除することができます。

### 一時停止中にショットマークを追加する

- 1 ショットマークを追加したいフレームで再生を一時停止モードにして、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。  
クリップ操作メニューが表示されます。
- 2 クリップ操作メニューから、**SHOT MARK1 ADD**または**SHOT MARK2 ADD**を選択する。  
確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」(Execute) を選択する。

### クリップエクスパンド画面でショットマークを追加する

- 1 クリップエクスパンド画面でショットマークを追加したいフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。  
クリップ操作メニューが表示されます。
- 2 クリップ操作メニューから**SHOT MARK1 ADD**または**SHOT MARK2 ADD**を選ぶ。  
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」(Execute) を選択する。

### ショットマークを削除する

クリップエクスパンド画面(113ページ)またはショットマーク画面(114ページ)で削除できます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面でショットマーク

を削除したいフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

クリップ操作メニューが表示されます。

- 2 クリップ操作メニューから**SHOT MARK1 DEL**または**SHOT MARK2 DEL**を選ぶ。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

- 3 「実行」(Execute) を選択する。

## クリップの代表画を変更する

クリップエクスパンド画面(113ページ)やショットマーク画面(114ページ)で選択したフレームを、クリップの代表画に設定することができます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面で代表画にしたいフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。
- 2 クリップ操作メニューから**SET INDEX PIC**を選ぶ。  
選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。
- 3 「実行」(Execute) を選択する。

### ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

## クリップを分割する

クリップエクスパンド画面(113ページ)やショットマーク画面(114ページ)で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

- 1 クリップエクスパンド画面またはショットマーク画面で、分割点のフレームを選択し、十字スティックまたはジョグダイヤルを押す。

クリップ操作メニューが表示されます。

## 2 クリップ操作メニューからDIVIDE CLIPを選ぶ。

選択したフレームの詳細表示画面になり、画像の下に確認メッセージが表示されます。

## 3 「実行」(Execute) を選択する。

選択したフレーム位置で分割され、2つの別の名前のクリップが新たに作成されます。

クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

**例：**新たに記録した場合にEFGH0100というクリップが作られる状態で、ABCD0002という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100とABCD0101の2つのクリップが作成されます。

### ご注意

メモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

## ステータス画面を表示する

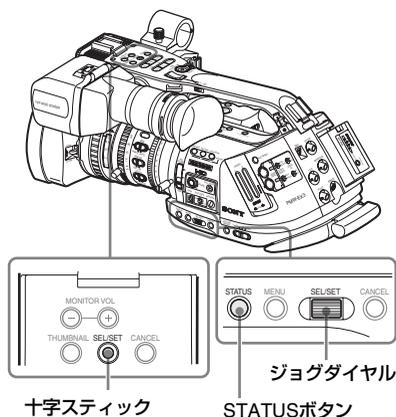
本機では、カメラモードで5種類、メディアモードで4種類のステータス画面を表示して、本機の設定や状態を確認することができます。

ステータス画面は、ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。

◆外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターを接続する」(140ページ)をご覧ください。

### 表示できるステータス画面

- カメラステータス画面 (カメラモードでのみ表示) (118ページ)
- オーディオステータス画面 (119ページ)
- ビデオステータス画面 (120ページ)
- ボタン/リモートステータス画面 (121ページ)
- バッテリー/メディアステータス画面 (121ページ)



### ステータス画面を表示させる

**STATUSボタンを押す。**

### ステータス画面を切り換える

十字スティックまたはジョグダイヤルを操作すると順次切り換わります。

### ステータス画面を消す

STATUSボタンをもう一度押すと、ステータス画面が消えます。

S&Q モーションダイヤルが押されたり、REMOTE 端子に外部機器が接続された場合も、ステータス画面が消えます。

# カメラステータス画面

撮像に関する設定や状態を表示します。カメラステータス画面は、カメラモードでのみ表示されます。メディアモードでは表示されません。

CAMERA		1/5
White Bal	B: 12000K	Gain L: 0dB
	A: 4700K	M: 9dB
	PRST: 3200K	H: 18dB
Handle Zoom Speed	H: 70	Zebra1: On 70%
	L: 30	2: Off
Skin Tone Detail	: Off	LensID: Standard_Lens
Picture Profile	: PP1 STANDARD	

## White Bal: ホワイトバランスの状態

表示	内容
B	ホワイトメモリーBに保存されている色温度を表示します。ホワイトメモリーBの色温度は、メモリーBモードでオートホワイトバランスを実行すると検出/保存されます。
A	ホワイトメモリーAに保存されている色温度を表示します。ホワイトメモリーAの色温度は、メモリーAモードでオートホワイトバランスを実行すると検出/保存されます。
PRST	プリセットホワイトに設定されている色温度を表示します。プリセットホワイトの色温度は、PICTURE PROFILEメニューで設定します。

## Gain: GAIN スイッチの設定

CAMERA SETメニューでGAINスイッチのL、M、Hの3ポジションのそれぞれに登録されたゲイン値を表示します。

## Handle Zoom Speed : ハンドルズームスピードの設定表示

CAMERA SETメニューでハンドル上のZOOMボタンの各ポジションに設定されたズームスピードを表示します。

表示	内容
H	ズームスピードスイッチのH側に割り当てられているスピード
L	ズームスピードスイッチのL側に割り当てられているスピード

### ご注意

専用レンズ以外の非シリアルレンズが装着されているときは表示されません。

## Zebra: ゼブラの状態

表示	内容
1	VF SETメニューのZebra Selectで1またはBothが選択されているとき、ZEBRAボタンでゼブラをOnにするとOn表示になり、右側にVF SETメニューのZebra1 Levelの設定値が表示されます。 ゼブラがOffのとき、またはZebra Selectで2が選択されているときはOffが表示されます。
2	VF SETメニューのZebra Selectで2またはBothが選択されているとき、ZEBRAボタンでゼブラをOnにすると、On表示になります。ゼブラがOffのとき、またはZebra Selectで1が選択されているときはOffが表示されます。

## Skin Tone Detail: スキントーンディテールの状態

PICTURE PROFILEメニューで設定されているSkin Tone DetailのSetting状態 (OnまたはOff) を表示します。

## Lens ID: レンズのID

装着されているレンズのIDを表示します。

### ご注意

専用レンズ以外の非シリアルレンズが装着されているときは表示されません。

## Picture Profile: ピクチャープロファイルの選択状態

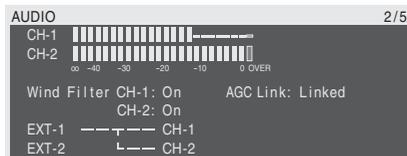
現在選択されているピクチャープロファイル番号とピクチャープロファイル名を表示します (ピクチャープロファイルがOffのときはOffを表示)。

# オーディオステータス画面

オーディオ信号に関連する情報を表示します。

カメラモード時とメディアモードでは表示される項目が異なります。

## カメラモード時



### CH-1/CH-2: オーディオレベルメーター

CH-1、CH-2に入力されているオーディオのレベル(EE音声のレベル)を表示します。

### Wind Filter: 風音低減フィルター設定

AUDIO SETメニューのWind Filter CH-1とWind Filter CH-2の設定を表示します。

### AGC Link: AGC リンク設定

AUDIO SETメニューのAGC Linkの設定(LinkedまたはSeparate)を表示します。

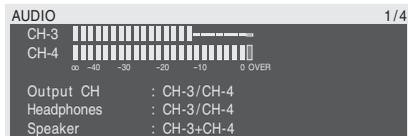
### INT/EXT-CH-1/CH-2: 音声入力設定

AUDIO SETメニューのEXT CH Selectの設定とAUDIO INスイッチの状態に応じて、CH-1、CH-2に入力される信号を表示します。

AUDIO IN スイッチ	EXT CH Select	表示
CH-1 INT CH-2 INT	—	INT-L ----- CH-1 INT-R ----- CH-2
CH-1 EXT CH-2 INT	—	EXT-1 ----- CH-1 INT-R ----- CH-2
CH-1: INT CH-2: EXT	—	INT-L ----- CH-1 EXT-2 ----- CH-2
CH-1: EXT CH-2: EXT	CH-1/CH-2	EXT-1 ----- CH-1 EXT-2 ----- CH-2

AUDIO IN スイッチ	EXT CH Select	表示
CH-1: EXT CH-2: EXT	CH-1	EXT-1 --- CH-1 EXT-2 --- CH-2

## メディアモード時



### CH-1/CH-2/CH-3/CH-4: オーディオレベルメーター

AUDIO SETメニューのOutput CHの設定に応じて、CH-1、CH-2、またはCH-3、CH-4の再生音声レベルを表示します。

STOP 状態または外部入力信号を記録中に、i.LINK端子から音声の入力がある場合は、入力音声レベルを表示します。この場合は、AUDIO SETメニューのOutput CHの設定にかかわらず、左端のチャンネル表示はCH-1、CH-2になります。

上記以外の条件のときは、オーディオレベルメーターは動作しません。

### Output CH: 出力チャンネル設定

AUDIO SETメニューのOutput CHの設定を表示します。

### Headphones: ヘッドホン出力

ヘッドホンに出力される音声チャンネルを表示します。AUDIO SETメニューのMonitor CHの設定をそのまま表示します。

### Speaker: スピーカー出力

内蔵スピーカーに出力される音声チャンネルを表示します。

スピーカーはモノラル出力のため、Monitor CHがステレオ設定の場合、CH-1+CH-2またはCH-3+CH-4と表示します。

ステレオ以外のときは、AUDIO SETメニューのMonitor CH の設定をそのまま表示します。

# ビデオステータス画面

## i.LINK I/O: i.LINK 使用状況

OTHERSメニューのi.LINK I/Oの設定 (Enable/Disable)を表示します。

ビデオフォーマットとCOMPONENT OUT端子、SDI OUT端子、MONITOR OUT端子、S VIDEO端子の映像出力とダウンコンバーターのモード、i.LINK I/Oの設定を表示します。

VIDEO	3/5
Video Format	: 1080/60i
Rec Mode	: HQ
YPbPr/SDI Out	: 1080/60i
Video Out	: NTSC
Down Converter	: Squeeze
i.LINK I/O	: Disable

### Video Format: ビデオフォーマット

OTHERSメニューのVideo Formatで設定されているビデオフォーマットの画サイズ (有効垂直ライン数)、フレームレート、スキャン方式を表示します。

### Rec Mode: 記録ビットレート

OTHERSメニューのVideo Formatで設定されているビデオフォーマットのビットレート (HQまたはSP)を表示します。

### YPbPr/SDI Out: コンポーネント /SDI 出力設定

VIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Selectの設定によって、COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子に実際に出力されている画サイズ (有効垂直ライン数)、フレームレート、スキャン方式を表示します。

### Video Out: MONITOR OUT 端子、S VIDEO 端子の映像出力

MONITOR OUT端子、S VIDEO端子から出力されているアナログコンポジット信号のフォーマット (NTSC/PAL)を表示します。

### Down Converter: SD 出力のダウンコンバーター設定

VIDEO SETメニューのDown Converterの設定 (Squeeze、Edge Crop、Letterbox) を表示します。

## ボタン/リモート ステータス画面

各アサインブルボタンに割り当てられた機能名と、赤外線リモコンの有効/無効の状態を表示します。



### Assign Button: ボタンアサイン状態

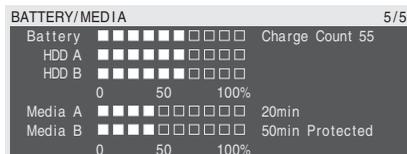
OTHERSメニューのAssign Buttonの設定で各アサインブルボタンに割り当てられている機能名を表示します。

### IR Remote: 赤外線リモコンの有効/無効

赤外線リモコンの有効(On)になっているか、無効(Off)かを表示します。

## バッテリー/メディア ステータス画面

バッテリーパックの残量と充電回数、およびSxSメモリーカードの残量と残記録可能時間を表示します。



### Battery: バッテリーパック残量

装着されているバッテリーパックの残量を表示します。

### Charge Count: 充電繰り返し回数

装着されているバッテリーパックの累積充電繰り返し回数を表示します。

### HDD A/HDD B: PHU-220R のバッテリー残量

プロフェッショナルハードディスクユニットPHU-220Rが装着されている場合は、それぞれ対応するスロットに接続されているPHU-220Rのバッテリーの残量を表示します。

### Media A/Media B: メディア残量と残記録可能時間

それぞれ対応するスロットに挿入されているSxSメモリーカードの空き記録容量をメーター表示します。

空き記録容量メーターの右には、現在の記録ビットレートで撮影を行った場合に記録可能な残り時間を計算して分単位で表示します。対応するスロットにSxSメモリーカードが挿入されていないときや使用できないメモリーカードが挿入されている場合は、「—min」表示となり、書き込み防止になっている場合は右に「Protected」が表示されます。

## セットアップメニューの構成と階層

本機では、ビューファインダー画面に表示されるセットアップメニューを使用して、撮影や再生に必要な各種の設定を行います。セットアップメニューは、外部ビデオモニターに表示させることもできます。

◆ 外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターを接続する」(140ページ)をご覧ください。

### セットアップメニューの構成

MENUボタンを押すと、下記のメニューアイコンが表示され、それぞれ対応するメニューを選択できます。



#### CAMERA SET メニュー

画質以外の撮影に関する設定を行います (126ページ)。

画質に関する設定にはPICTURE PROFILEメニュー (97ページ) を使用します。



#### AUDIO SET メニュー

音声に関する設定を行います (130ページ)。



#### VIDEO SET メニュー

映像出力に関する設定を行います (131ページ)。



#### VF SET メニュー

ビューファインダー表示に関する設定を行います (132ページ)。



#### TC/UB SET メニュー

タイムコードとユーザービットに関する設定を行います (134ページ)。



#### LENS メニュー

レンズに関する設定を行います (134 ページ)。



#### OTHERS メニュー

その他の設定を行います (136ページ)。

### セットアップメニューの階層

#### MENU

CAMERA SET	<ul style="list-style-type: none"> <li>Auto BLK Balance</li> <li>Gain Setup</li> <li>Shutter</li> <li>EX Slow Shutter</li> <li>Shot Transition</li> <li>MF Assist</li> <li>Color Bar Type</li> <li>Flicker Reduce</li> <li>Zoom Speed</li> <li>Interval Rec</li> <li>Frame Rec</li> <li>S&amp;Q Motion</li> <li>Rec Review</li> <li>Fader</li> <li>TLCS</li> <li>Shockless White</li> <li>White Switch</li> <li>ATW Speed</li> <li>Wide Conversion</li> </ul>
AUDIO SET	<ul style="list-style-type: none"> <li>Audio Input</li> <li>Audio Output</li> </ul>
VIDEO SET	<ul style="list-style-type: none"> <li>YPbPr/SDI Out Select</li> <li>YPbPr/SDI Out Display</li> <li>Video Out Display</li> <li>Setup</li> <li>Down Converter</li> </ul>
VF SET	<ul style="list-style-type: none"> <li>VF</li> <li>Peaking</li> <li>Marker</li> <li>Zebra</li> <li>Display On/Off</li> </ul>
TC/UB SET	<ul style="list-style-type: none"> <li>Timecode</li> <li>Users Bit</li> <li>TC Format</li> </ul>

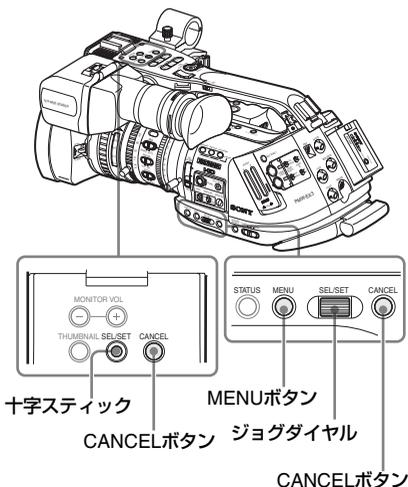
(続く)

LENS	Auto FB ADJ
	File
	Flare
	Shading
OTHERS	All Reset
	Camera Data
	Time Zone
	Clock Set
	Language
	Assign Button
	Tally
	Hours Meter
	IR Remote
	Battery Alarm
	Battery INFO
	Genlock
	Direct Menu
	i.LINK I/O
	Trigger Mode
	Country
	Video Format
Clip	
Format Media	
Version	

## セットアップメニュー の基本操作

本項では、セットアップメニューの基本的な設定方法を説明します。

### メニュー操作部



十字スティック  
MENUボタン  
ジョグダイヤル  
CANCELボタン

#### MENU ボタン

セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

#### 十字スティック (SEL/SET ボタン)

前後左右に倒すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

#### ジョグダイヤル (SEL/SET ダイアル)

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

#### CANCEL ボタン

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

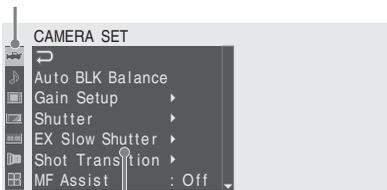
## セットアップメニューを表示させる

### MENUボタンを押す。

本機がメニューモードになり、画面にメニューアイコンが表示されます。  
前回設定したメニューのアイコンにカーソルが表示され、右に対応するメニュー項目選択エリアが表示されます。

例：  (CAMERA SET メニューのアイコン) にカーソルがある場合

#### メニューアイコン



#### メニュー項目選択エリア

### ご注意

EXPAND FOCUSモード(70ページ参照)になっていると、セットアップメニューは操作できません。EXPAND FOCUSボタンを押して解除してください。

## メニューを設定する

**1** ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して、設定したいメニューのアイコンにカーソルを合わせる。

アイコン右のメニュー項目選択エリアに、選択できるメニュー項目が表示されます。

**2** ジョグダイヤルまたは十字スティックを押す。

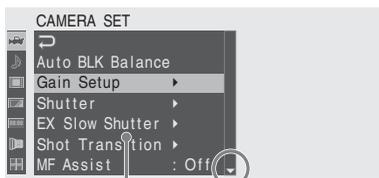
カーソルがメニュー項目選択エリアに移動します。

十字スティックを右に倒してカーソルをメニュー項目選択エリアに移動することもできます。

- メニュー項目選択エリアは最大7行表示です。選択できる項目が1度に表示できない

場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

項目選択エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。



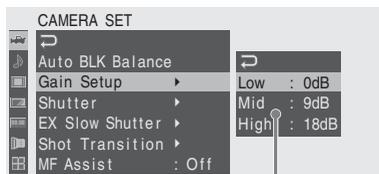
メニュー項目がまだ下にある  
とき表示されます(上にある  
ときは上端に▲)。

#### メニュー項目選択エリア

- さらに設定細目を選択する項目の場合は、右に▶が表示されます。
- 細目のない項目の場合は、右に現在の設定値が表示されます。
- ◀を選ぶか十字スティックを左に倒すと一つ前の階層に戻ります。

**3** ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して、設定したいメニュー項目にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルまたは十字スティックを押して決定する。

メニュー項目選択エリアの右に設定エリアが表示され、カーソルが先頭の細目に移動します。



#### 設定エリア

- 細目と現在の設定値が表示されます。
- ◀を選ぶか十字スティックを左に倒す、またはCANCELボタンを押すとひとつ前の階層に戻ります。

On/Offや切り換えのみで細目のない項目を選択した場合は、項目の右に選択肢が表示され、現在選択されている値にカー

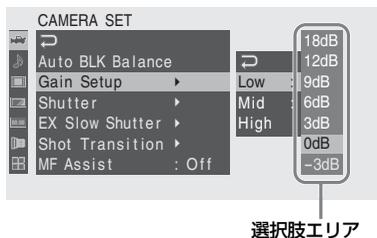
ソルが移動します。この場合は、手順5に進んでください。

#### 例



#### 4 細目がある項目では、ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して、設定したい細目にカーソルを合わせ、押して決定する。

選択した細目の選択肢が表示され、現在選択されている値にカーソルが移動します。



- 選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99~+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。

#### 5 ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して設定したい値を選び、押して決定する。

設定が変更され、変更後の状態が表示されます。

実行項目で Execute を選択した場合は、対応する機能が実行されます。

#### 実行前に確認が必要な項目では

手順3で、実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

#### 文字列を入力する

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端にSETが表示されます。

#### 1 ジョグダイヤルを回すか十字スティックを前後に倒して文字を選択し、押して決定する。

カーソルが次の欄に移動します。

前の欄に戻りたいときは、十字スティックを左に倒します。

#### 2 同様に最後の桁・欄まで設定する。

カーソルがSETに移動します。

#### 3 ジョグダイヤルか十字スティックを押す。

設定が完了します。

#### メニュー操作を終了する

#### MENUボタンを押す。

通常のカメラ画像に戻ります。

# セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。  
 なお、出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Speed**）で示します。

## CAMERA SETメニュー

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto BLK Balance オートブラック バランスの実行	Execute/Cancel	オートブラックバランスを実行する。 Execute: 実行
Gain Setup GAINスイッチの 各ポジションへ のゲインレベル 割り当て	Low -3 / <b>0</b> / 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB	スイッチをLにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
	Mid -3 / 0 / 3 / 6 / <b>9</b> / 12 / 18 dB	スイッチをMにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
	High -3 / 0 / 3 / 6 / 9 / 12 / <b>18</b> dB	スイッチをHにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
Shutter 電子シャッター の動作条件の設 定	Mode <b>Speed</b> / Angle / ECS / SLS	電子シャッターのモードを選択する。
	Shutter Speed <b>1/100</b>	Speed モード 選択時、シャッタースピードを設定する。 ◆ 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります（64ページ参照）。
	Shutter Angle <b>180°</b> / 90° / 45° / 22.5° / 11.25°	Angleモード 選択時、開角度を設定する。
	ECS Frequency <b>60.02</b>	ECS モード 選択時、ECS周波数を設定する。 ◆ 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります。
	SLS Frame <b>2</b> ~8	SLS モード 選択時、蓄積フレーム数を設定する。
EX Slow Shutter 超高感度スロー シャッターモー ドの設定	Setting On / <b>Off</b>	超高感度スローシャッターモードをON/OFFする。
	Number of Frames <b>16</b> / 32 / 64	蓄積フレーム数を設定する。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shot Transition ショットトランジションの動作条件の設定 <sup>1)</sup>	Trans Time 2~15 sec ( <b>4 sec</b> )	遷移時間を設定する。
	Trans Speed 1~10 ( <b>5</b> )	遷移速度を設定する。
	Time / Speed Time / <b>Speed</b>	遷移を時間で設定するか、速度で設定するかを選択する。
	Trans Curve Linear / Soft Trans / <b>Soft Stop</b>	遷移パターンを選択する。 Linear：直線的に遷移する Soft Trans：開始と終了地点付近はゆっくり遷移し、中間は直線的に遷移する。 Soft Stop：終了地点に近づいたらゆっくり遷移する。
	Start Timer <b>Off</b> / 5 sec / 10 sec / 20 sec	ショットトランジション開始までの待ち時間を設定する。
	Rec Link <b>Off</b> / Shot-A / Shot-B	記録開始と同時にショットトランジションを開始させる機能を設定する。 Off：ショットトランジションを記録開始にリンクさせず、ボタン操作で行う。 Shot-A：記録開始とリンクしてShot-Aへの遷移を開始する。 Shot-B：記録開始とリンクしてShot-Bへの遷移を開始する。
MF Assist MFアシスト機能のOn/Off <sup>1)</sup>	On / <b>Off</b>	Onにすると、手動でラフにフォーカス合わせをした後、最後に自動で正確にフォーカスを合わせ直す。
Color Bar Type カラーバーの種類を選択	<b>Multi</b> / 75% / 100%	BARS/CAMボタンを押したときに出力されるカラーバーの種類を選択する。 Multi：マルチフォーマットカラーバーを出力する。 75%：75%カラーバーを出力する。 100%：100%カラーバーを出力する。
Flicker Reduce フリッカー補正機能の設定	Mode Auto / On / <b>Off</b>	フリッカー補正機能の動作を設定する。 On：常に動作させる。 Auto：フリッカーを検出すると自動で動作する。 Off：動作させない。
	Frequency <b>50Hz</b> / 60Hz	フリッカーの原因となっている照明の電源周波数に合わせる。
Zoom Speed ズームスピードの設定	<b>ご注意</b> ：値を0~7の低速に設定すると、レンズの個体差や環境によって、ズームがスムーズに動作しない場合があります。	
	High 0~99 ( <b>70</b> )	スピードスイッチをH側にしてハンドル上のZOOM ボタンを押したときのズームスピードを設定する。
	Low 0~99 ( <b>30</b> )	スピードスイッチをL側にしてハンドル上のZOOM ボタンを押したときのズームスピードを設定する。
	Remote 0~99 ( <b>50</b> )	赤外線リモコンのZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。

## CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
Interval Rec インターバル レック機能の設 定	Setting On / <b>Off</b>	インターバルレック機能をON/OFFする。
	Interval Time 1~10/15/20/30/40/50 sec 1~10/15/20/30/40/50 min 1~4/6/12/24 hour	インターバルレックによる録画間隔を設定する。
	Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (720/60P, 720/50P)	インターバルレックでの1回の録画フレーム数を設定する。
Frame Rec フレームレック 機能の設定	Setting On / <b>Off</b>	フレームレック機能をON/OFFする。
	Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (720/60P, 720/50P)	フレームレックでの1回の録画フレーム数を設定する。
S&Q Motion スロー&クイック モーション機 能の設定 <sup>2)</sup>	Setting On / <b>Off</b>	スロー&クイックモーション機能をON/OFFする。
	Frame Rate 1~ <b>30</b> (サイズ1080) 1~60 (サイズ720)	スロー&クイックモーション機能での撮影フレーム レートを設定する。
Rec Review レックレビュー による再生時間 の設定	<b>3 sec</b> / 10 sec / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する 時間を設定する。 3 sec: 最後の3秒 10 sec: 最後の10秒 Clip: クリップ全体
Fader フェードイン/ フェードアウト 機能の設定	Fade In On / <b>Off</b>	フェードイン機能をON/OFFする。
	Fade In Type White / <b>Black</b>	フェードインのモードを選択する。 White: 白い画面からフェードイン Black: 黒い画面からフェードイン
	Fade In Time 1 sec / <b>2 sec</b> / 3 sec / 5 sec / 10 sec	フェードインにかける時間を設定する。
	Fade Out On / <b>Off</b>	フェードアウト機能をON/OFFする。
	Fade Out Type White / <b>Black</b>	フェードアウトのモードを選択する。 White: 白い画面にフェードアウト Black: 黒い画面にフェードアウト
	Fade Out Time 1 sec / <b>2 sec</b> / 3 sec / 5 sec / 10 sec	フェードアウトにかける時間を設定する。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TLCS トータルレベル コントロール (ゲイン、アイリス、シャッターの自動調整) システムの設定 <sup>3)</sup>	Level +1.0 / + 0.5 / <b>±0</b> / -0.5 / -1.0	TLCS制御におけるオートアイリスの制御目標レベル(明るめ/暗め)を設定する(AGCにおけるゲインの制御、オートシャッターにおけるシャッタースピードの制御にも連動)。 +1.0: 1絞り相当開いた状態 +0.5: 0.5絞り相当開いた状態 ±0: 標準 -0.5: 0.5絞り相当閉じた状態 -1.0: 1絞り相当閉じた状態
	Mode Backlight / <b>Standard</b> / Spotlight	TLCS制御におけるオートアイリスの制御モードを設定する。 Backlight: バックライトモード(中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード(中心となる被写体にスポットライトがあたっているとき、白濁りを軽減するモード)
	Speed -99~+99 ( <b>+50</b> )	TLCS制御の追従スピードを設定する。
	AGC On / <b>Off</b>	AGC(オートゲインコントロール)機能をON/OFFする。
	AGC Limit 3 / 6 / 9 / <b>12</b> / 18 dB	AGC制御における最大ゲインを設定する。
	AGC Point F5.6 / F4 / <b>F2.8</b>	AGC機能がOnのときのオートアイリス制御とAGC制御の切り換えアイリスポイントを設定する。
	Auto Shutter On / <b>Off</b>	オートシャッターコントロール機能をON/OFFする。
	A.SHT Limit 1/100 1/150 1/200 <b>1/250</b>	オートシャッター制御における最速シャッタースピードを設定する。
	A.SHT Point F5.6 / F8 / F11 / <b>F16</b>	オートシャッター機能がOnのときのオートアイリス制御とオートシャッター制御の切り換えアイリスポイントを設定する。
	Shockless White ショックレスホワイトバランスの設定	Off / 1 / <b>2</b> / 3 ホワイトバランスのモード切り換え時の変化のスピードを選択する。 Offにすると瞬時に切り換わり、数字が大きいほど、ゆっくりとホワイトバランスを補間しながら切り換える。
White Switch WHITE BALスイッチの設定	<b>ATW</b> / MEM WHITE BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。	
ATW Speed 自動追尾ホワイトバランスの設定	1 / 2 / <b>3</b> / 4 / 5 ATWの追従スピードを設定する。 (数字が大きいほど速くなる。)	

## CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
Wide Conversion	On / Off	ワイドコンバージョンレンズの装着(On)/非装着(Off)を設定する。
ワイドコンバージョンレンズの設定 <sup>1)</sup>		
1)専用レンズ使用時のみ有効		3)オートアイリス非対応レンズ使用時は、ゲインとシャッターのみ自動調整
2)リモートコントロールユニットRM-B750/B150/B170接続時のみ有効		

## AUDIO SETメニュー

## AUDIO SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声の入力関係の設定	TRIM CH-1 -11dBu ~ -65dBu <b>(-41dBu)</b>	外部マイク入力のチャンネル1の感度を6dBステップで微調整する。
	TRIM CH-2 -11dBu ~ -65dBu <b>(-41dBu)</b>	外部マイク入力のチャンネル2の感度を6dBステップで微調整する。
	AGC Link <b>Linked</b> / Separated	音声レベル調整がAGCモードのときのゲインのリンク状況を選択する。 Linked: チャンネル1と2のゲインを連動して動かす。 Separated: それぞれのレベルに応じて独立して動かす。
	1KHz Tone On / Off	1KHzの基準音声信号をON/OFFする。
	Wind Filter CH-1 On / Off	チャンネル1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-2 On / Off	チャンネル2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	EXT CH Select CH-1 <b>CH-1/CH-2</b>	CH-1: チャンネル1の外部入力信号を、チャンネル1とチャンネル2の両方に記録する。 CH-1/CH-2: それぞれ対応するチャンネルの外部入力信号を記録する。
Audio Output 音声の出力関係の設定	Monitor CH <b>CH-1/CH-2</b> (CH-3/CH-4) CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) CH-1 (CH-3) CH-2 (CH-4)	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4): ステレオ CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4): ミックス CH-1 (CH-3): チャンネル1 (チャンネル3) のみ CH-2 (CH-4): チャンネル2 (チャンネル4) のみ ( )は、Output CHでCH-3/CH-4を選択した場合
	Output CH <b>CH-1/CH-2</b> CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
	Alarm Level 0~10 <b>(5)</b>	アラーム音量を設定する。
	Beep On / Off	操作音を出す/出さないを選択する。

## VIDEO SETメニュー

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
YPbPr/SDI Out Select コンポーネント/ SDI出力の設定	HD / SD/ Off	COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子からの出力信号を選択する。 HD: 記録・再生と同じHD信号 SD: ダウンコンバートしたSD信号 Off: 出力しない
YPbPr/SDI Out Display コンポーネント/ SDI出力への文字情報の設定	On / Off	COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子からの出力信号に、ビューファインダー画面に表示されるのと同じメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。
Video Out Display コンポジット出力への文字情報の設定	On / Off	MONITOR OUT端子、S VIDEO端子からの出力信号に、ビューファインダー画面に表示されるのと同じメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。 <b>ご注意</b> この項目の設定にかかわらず、サムネイル画面やクリップエクスパンド画面、ショットマーク画面では、常にビューファインダー画面に表示されるのと同じメニューやステータスを加えて表示されます。マーカー類は、この項目の設定にかかわらず表示されません。
Setup コンポジット信号へのセットアップ付加の設定	On / Off	NTSCのフォーマットの出力が選択されているとき、MONITOR OUT端子、S VIDEO端子からの出力信号に7.5%のセットアップを付加するかどうかを選択する。(PALフォーマット選択時は無効)
Down Converter ダウンコンバーターの動作モード選択	Squeeze / Letterbox / Edge Crop	MONITOR OUT端子、S VIDEO端子、COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子からのSD信号出力のモード(アスペクト)を設定する。 Squeeze : 16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力 Letterbox : 4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示 Edge Crop : 16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力

## VF SETメニュー

VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
VF ビューファインダーに関する設定	Color -99~+99 (±0)	ビューファインダー映像の色の濃さを調整する。
	Mode Color / B&W	ビューファインダーの表示モードを選択する。 Color: カラーモード B&W: モノクロモード
Peaking ビューファインダーのピーキング(輪郭強調)に関する設定	Type Normal / Color	ピーキングに使用する回路を選択する。 Normal: ビューファインダーのVF DETAIL回路 Color: 本体のピーキング回路
	Color White / Red / Yellow / Blue	TypeをColorに設定したとき、ピーキング信号の色を選択する。 White: 白 Red: 赤 Yellow: 黄色 Blue: 青
	Frequency Normal / High	TypeをNormalに設定したとき、VF DETAIL回路で検出する周波数を設定する。
Marker ビューファインダー映像に付加するマーカー類の設定	Setting On / Off	すべてのマーカー表示をまとめてON/OFFする。
	Safety Zone On / Off	セーフティゾーンマーカーをON/OFFする。
	Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	セーフティゾーンマーカーの大きさ(画面全体に対する比率)を選択する。
	Center Marker On / Off	センターマーカーをON/OFFする。
	Aspect Marker On / Off	アスペクトマーカーをON/OFFする。
	Aspect Select 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9	アスペクトマーカーの種類を選択する。
	Guide Frame On / Off	ガイドフレームマーカーをON/OFFする。
Zebra ゼブラパターンに関する設定	Zebra Select 1 / 2 / Both	ゼブラパターン表示を選択する。 1: ゼブラ1のみ表示 2: ゼブラ2のみ表示 Both: ゼブラ1、ゼブラ2共に表示する。
	Zebra1 Level 50~107 (70)	ゼブラパターン1の表示レベルを設定する。

VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off ビューファインダー画面に表示する項目の選択	Video Level Warnings <b>On / Off</b>	映像が明るすぎるときや暗すぎるときの警告表示をON/OFFする。
	Brightness Display <b>On / Off</b>	映像の明るさを表す数値表示をON/OFFする。
	Histogram <b>On / Off</b>	映像のレベル分布を示すヒストグラム表示をON/OFFする。
	Lens Info Meter / Feet / <b>Off</b>	被写界深度表示を選択する。 Meter: メートルで表示 Feet: フィートで表示 Off: 表示しない (シリアルレンズ装着時のみ)
	Zoom Position <b>Number / Bar / Off</b>	レンズのズームのポジション表示を選択する。 Number: 数値で表示 Bar: バーで表示 Off: 表示しない
	Audio Level Meter <b>On / Off</b>	オーディオレベルメーター表示をON/OFFする。
	Timecode <b>On / Off</b>	タイムデータ (タイムコード、ユーザービット、デュレーション) 表示をON/OFFする。
	Battery Remain <b>On / Off</b>	バッテリー残量/DC入力電圧表示をON/OFFする。
	Media Remain <b>On / Off</b>	メディア残量表示をON/OFFする。
	TLCS Mode <b>On / Off</b>	TLCS動作モード表示をON/OFFする。
	Steady Shot <b>On / Off</b>	手ぶれ補正モード表示をON/OFFする。 (専用レンズ装着時のみ)
	Focus Mode <b>On / Off</b>	フォーカス動作モード表示をON/OFFする。 (オートフォーカス対応レンズ装着時のみ)
	White Balance Mode <b>On / Off</b>	ホワイトバランスモード表示をON/OFFする。
	Picture Profile <b>On / Off</b>	ピクチャープロファイル表示をON/OFFする。
	Filter Position <b>On / Off</b>	NDフィルター設定表示をON/OFFする。
	Iris Position <b>On / Off</b>	アイリス (レンズ絞り) 位置表示をON/OFFする。
	Gain Setting <b>On / Off</b>	ゲイン設定表示をOn/Offする。
	Shutter Setting <b>On / Off</b>	シャッターモードとスピード表示をON/OFFする。
	Fader Status <b>On / Off</b>	フェーダー動作モード表示をON/OFFする。
	Rec Mode <b>On / Off</b>	特殊録画モード (Frame Rec、Interval Rec、S&Q Motion) の状態表示をON/OFFする。
Video Format <b>On / Off</b>	ビデオフォーマット表示をON/OFFする。	

## TC/UB SETメニュー

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードに 関する設定	Mode <b>Preset</b> / Regen / Clock	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset: プリセットモード (設定された状態から歩進) Regen: リジエネモード (前のクリップのタイムコード に続けて歩進) Clock: クロックモード (現在時刻をタイムコードとし て使用)
	Run <b>Rec Run</b> / Free Run	タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、歩進 方法を設定する。 Rec Run: 記録時のみ歩進 Free Run: 記録に関係なく常に歩進
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。 SET: 決定
	Reset Execute/Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 Execute: 実行
Users Bit ユーザービット に関する設定	Mode <b>Fix</b> / Date	ユーザービットのモードを設定する。 Fix : ユーザービットに任意の固定値を使用 Date : ユーザービットに現在年月日を使用
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。
TC Format タイムコードの フォーマットの 設定	<b>DF</b> / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム

## LENSメニュー

LENS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto FB ADJ フランジバック の調整	Execute/Cancel	自動フランジバック調整を実行する。 Execute: 実行
File レンズファイル の登録と呼び出 し	Lens ID	装着されたレンズのIDを表示 (シリアルレンズのみ)
	Recall	レンズファイルを読み出す。
	Store	レンズファイルを保存する。
	File ID	現在選択されているレンズファイルの名称を設定する。
	No Offset Execute/Cancel	レンズの補正値を標準設定に戻す。 Execute: 実行
Auto Recall <b>On</b> / Off	装着したレンズのLens IDと一致するレンズファイルを 自動的に呼び出す機能をOn/Offする。	

LENS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Flare レンズのフレア調整	R Flare -99~+99 (±0)	フレア(R)を調整する。
	G Flare -99~+99 (±0)	フレア(G)を調整する。
	B Flare -99~+99 (±0)	フレア(B)を調整する。
	R Flare EX -99~+99 (±0)	フレア(R)を調整する (エクステンダー使用時)。
	G Flare EX -99~+99 (±0)	フレア(G)を調整する (エクステンダー使用時)。
	B Flare EX -99~+99 (±0)	フレア(B)を調整する (エクステンダー使用時)。
	Shading レンズのシェーディング調整	Shading CH R / G / B
M VMOD -99~+99 (±0)		マスターVモジュレーションシェーディングを調整する。
H SAW -99~+99 (±0)		H SAWシェーディングを補正する。
H PARA -99~+99 (±0)		H PARAシェーディングを補正する。
V SAW -99~+99 (±0)		V SAWシェーディングを補正する。
V PARA -99~+99 (±0)		V PARAシェーディングを補正する。
Shading CH EX R / G / B		シェーディングを調整するチャンネルを選択する (エクステンダー使用時)。
M VMOD EX -99~+99 (±0)		マスターVモジュレーションシェーディングを調整する (エクステンダー使用時)。
H SAW EX -99~+99 (±0)		H SAWシェーディングを補正する (エクステンダー使用時)。
H PARA EX -99~+99 (±0)		H PARAシェーディングを補正する (エクステンダー使用時)。
V SAW EX -99~+99 (±0)		V SAWシェーディングを補正する (エクステンダー使用時)。
V PARA EX -99~+99 (±0)		V PARAシェーディングを補正する (エクステンダー使用時)。

## OTHERSメニュー

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Execute/Cancel	Executeを選択するとリセットを実行する。
Camera Data 全メニュー設定値のSxSメモリーカードへの保存と呼び出し	Store Execute/Cancel	Executeを選択すると保存を実行する。
	Recall Execute/Cancel	Executeを選択すると呼び出しを実行する。
Time Zone 時差の設定	UTC -12:00 ~ +14:00 <b>(+9:00)</b>	UTCからの時差を30分単位で設定する。
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Date/Time	現在日時を設定する。
	12H/24H 12H / <b>24H</b>	時刻の表示形式を選択する。 12H: 12時間表示 24H: 24時間表示
	Date Mode <b>YYMMDD</b> / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD: 年月日の順 MMDDYY: 月日年の順 DDMMYY: 日月年の順
Language メッセージ表示言語の切り換え	English / <b>Japanese</b> / Chinese	English: 英語表示 Japanese: 日本語表示 Chinese: 中国語表示
<b>ご注意</b>		
日本語表示は、警告や注意メッセージのみです。メニューやステータス表示の言語は切り換わりません。		

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assign Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定	<1> Off / Marker / Last Clip DEL / ATW / Rec Review / Rec / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / VF Mode / BRT Disp / Histogram / <b>Lens Info</b>	それぞれ対応する番号のASSIGNボタンに機能を割り当てる。 選べる項目は共通です。 Marker: マーカー On/Off機能 Last Clip DEL: ラストクリップデリート実行機能 ATW: ATW On/Off機能 Rec Review: レックレビュー実行機能 Rec: 録画スタート/ストップ実行機能 Freeze Mix: フリーズミックス実行機能
	<2> Off / Marker / Last Clip DEL / ATW / Rec Review / Rec / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / VF Mode / <b>BRT Disp</b> / Histogram / Lens Info	Expanded Focus: エクスパンドフォーカスOn/Off機能 Spotlight: TLCSモードのスポットライト補正モードへの切り換え機能 Backlight: TLCSモードのバックライト補正モードへの切り換え機能 IR Remote: 赤外線リモコン有効/無効切り換え機能 Shot Mark1: ショットマーク1付加機能 Shot Mark2: ショットマーク2付加機能 Fader: フェーダー On/Off機能 VF Mode: ビューファインダーのカラー /モノクロ切り換え機能
	<3> Off / Marker / Last Clip DEL / ATW / Rec Review / Rec / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / VF Mode / BRT Disp / <b>Histogram</b> / Lens Info	BRT Disp: 輝度レベル表示のOn/Off機能 Histogram: ヒストグラム表示のOn/Off機能 Lens Info: 被写界深度表示のOn/Off機能 Off: 無効
	<4> <b>Off</b> / Marker / Last Clip DEL / ATW / Rec Review / Rec / Freeze Mix / Expanded Focus / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Fader / VF Mode / BRT Disp / Histogram / Lens Info	
Tally タリーに関する設定	Front <b>High</b> / Low / Off	正面のタリーランプの明るさを設定する。 High: 明るく点灯 Low: 暗く点灯 Off: 点灯しない
	Rear <b>On</b> / Off	後面のタリーランプをOn/Offする。
Hours Meter 積算時計の表示	Hours (Sys)	積算使用時間を表示する (リセット不可)。
	Hours (Reset)	積算使用時間を表示する (リセット可)。
	Reset Execute/Cancel	Hours (Reset)表示を0にリセットする。 Executeで実行
IR Remote リモコンのOn/Off	On / <b>Off</b>	付属の赤外線リモコンを使用するときOnにする。 <b>ご注意</b> 本体の電源を切ると自動的にOffに戻ります。

## OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
Battery Alarm 電圧低下警告の設定	Low BATT 5% / <b>10%</b> / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する(5%刻み)。
	BATT Empty 3% ~ 7% ( <b>3%</b> )	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	DC Low Volt1 11.5 V ~ 17.0 V ( <b>11.5 V</b> )	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
	DC Low Volt2 11.0 V ~ 14.0 V ( <b>11.0 V</b> )	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
Battery INFO バッテリーバックに関する情報の表示 (表示のみ)	Type	タイプ(製品名)を表示する。
	MFG Date	製造年月日を表示する。
	Charge Count	累積充放電回数を表示する。
	Capacity	満充電時の推定全容量を表示する。
	Voltage	現在の出力電圧を表示する。
Remaining	現在の残容量を表示する。	
Genlock ゲンロックの設定	24P System <b>60i</b> / 24PsF	ビデオフォーマットがHQ1080/24Pのとき、同期モードと出力フォーマットを選択する (HQ1080/24P以外では選択不可)。 ◆ 詳しくは、「出力のフォーマットと制限」(157ページ)をご覧ください。
	GL H Phase -999 ~ +999 ( $\pm 0$ )	ゲンロック時のH位相 (水平同期信号の位相) を設定する。
	H Advance <b>0H</b> / 90H	基準信号に対する出力位相を調整する。 0H: 基準信号と出力信号の位相が合う。 90H: 基準信号がSDの場合、HD出力の位相が90H進む (基準信号とSD出力の位相差は0)。 基準信号がHDの場合、SD出力の位相が90H遅れる (基準信号とHD出力の位相差は0)。
Direct Menu ダイレクトメニュー機能の設定	All / <b>Part</b> / Off	All: ダイレクトメニューがすべて可能 Part: 一部の機能に関してのみダイレクトメニュー操作が可能 (GAIN, SHUTTER, WHITE BALスイッチの設定によって操作が制限される。) Off: ダイレクトメニュー操作は不可
i.LINK I/O i.LINK端子からの信号入出力の有効/無効の設定	Enable / <b>Disable</b>	Enable: 有効 Disable: 無効 <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ii.LINK I/OをEnableに設定すると、SDI OUT端子からは信号が出力されません。</li> <li>ビデオフォーマットがSPモード以外の場合は、i.LINK I/OをEnableにしてもi.LINK端子から信号の入出力はできません。</li> </ul>

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Trigger Mode 録画開始/停止の操作をi.LINK端子に接続した外部記録機器に対して行うか行わないかの設定	Internal / <b>Both</b> / External	Internal: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードに対してのみ行う。 Both: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードとi.LINK端子に接続した外部記録機器の両方に対して行う。 External: 録画開始/停止の操作をi.LINK端子に接続した外部記録機器に対してのみ行う。
Country 使用地域の設定	<b>NTSC Area</b> / PAL Area	使用する地域のカラー方式を選択する。
Video Format ビデオフォーマットの切り換え	CountryがNTSC Areaのとき <b>HQ 1080/60i</b> SP 1080/60i HQ 1080/30P HQ 1080/24P SP 1080/24P HQ 720/60P HQ 720/30P HQ 720/24P CountryがPAL Areaのとき HQ 1080/50i SP 1080/50i HQ 1080/25P HQ 720/50P HQ 720/25P	ビデオフォーマット（ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式）を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビットレート HQまたはSP</li> <li>• 画サイズ 1080または720</li> <li>• フレームレート 24、25、30、50、60のいずれか</li> <li>• スキャン方式 i（インターレース）またはP（プログレッシブ）</li> </ul>
Clip クリップの名称や削除に関する設定	Title Prefix <b>nnn_</b> （nnnはシリアルNo.の下3桁）	クリップ名のタイトル部分（4桁の英数字）を設定する。アルファベットの小文字a～z、大文字A～Z、数字0～9、-（ハイフン）、_（アンダーバー）を使用可。
	Number Set 0001～9999	クリップ名の番号部分（4桁）を設定する。
	Update Media(A)/Media(B) Execute/Cancel	選択したスロットのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 <sup>1)</sup> Executeで実行
	Last Clip DEL Execute/Cancel	最後に記録したクリップを削除する。 Executeで 実行
	All Clips DEL Execute/Cancel	SxSメモリーカード内のすべてのクリップを削除する。 Executeで実行
<b>ご注意</b>		
OKマークが付加されたクリップは削除できません。		
Format Media SxSメモリーカードの初期化	Media(A) Execute/Cancel	スロットAのSxSメモリーカードを初期化する。 Executeで実行
	Media(B) Execute/Cancel	スロットBのSxSメモリーカードBを初期化する。 Executeで実行
Version 本機のバージョンを表示	Vx.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。

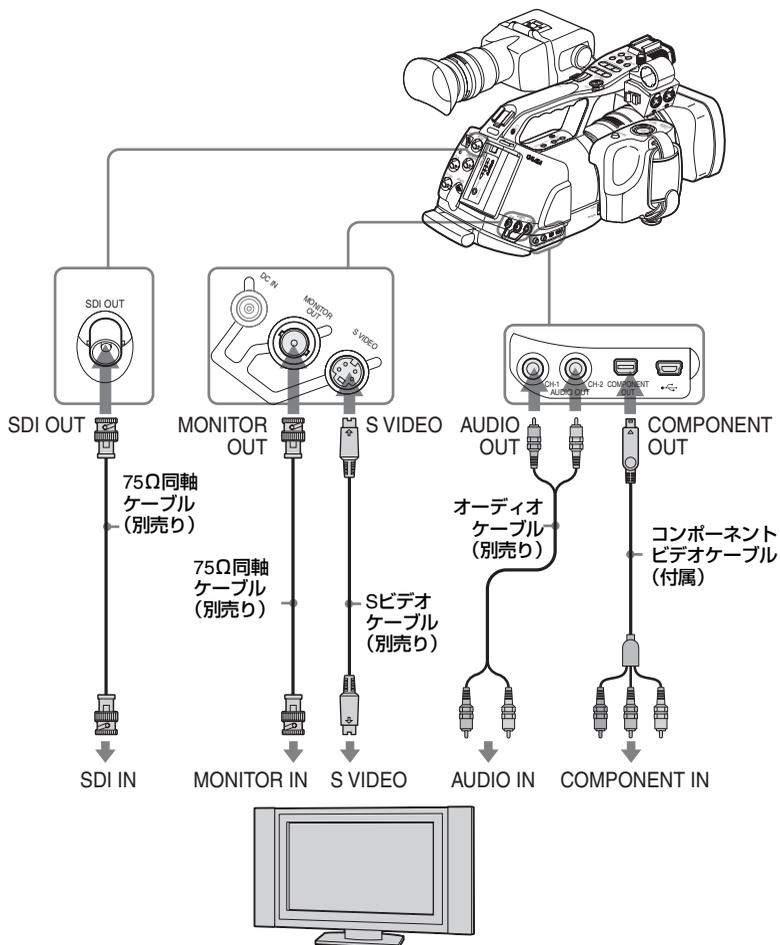
1)クリップが再生できない状態になったときなど、管理ファイルを更新することによって、症

状が改善される場合があります。

## 外部モニターを接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させる  
ときは、本機の出力信号を選択し、接続する

モニターに応じた接続ケーブルを使用してく  
ださい。



HD信号、SD信号を問わず、外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、VIDEO SETメニュー（131ページ）のYPbPr/SDI Out

DisplayまたはVideo Out DisplayをOnに設定してください。SD信号を出力するときは、あらかじめVIDEO SETメニューのDown Converter（122ページ）で出力モード（Squeeze / Letterbox / Edge Crop）を選択してください。

### ご注意

ダウンコンバートされて出力される SD 信号には、次のような制約があります。  
50P/50i/25P の映像は PAL 信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC 信号、23.98Pの映像は2-3 プルダウン処理されたNTSC 信号として出力されます。

### SDI OUT端子 (BNC型)

工場出荷時はHD SDI信号を出力するように設定されています。

VIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Select (131ページ) を使用して、SD SDI信号を出力するように変更することができます (HD/SDの設定は、COMPONENT OUT端子と連動して切り換わります)。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

#### 接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Display (131ページ) をOnにしてください。

### ご注意

i.LINK (HDV) 端子での入出力が有効なとき (144ページ) は、SDI OUT端子からは信号が出力されません。

### COMPONENT OUT端子 (ミニD端子)

工場出荷時はモニター用 HD アナログコンポーネント信号を出力するように設定されています。

VIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Select (131ページ) を使用して、ダウンコンバートされたモニター用 SD アナログコンポーネント信号を出力するように変更することができます。(HD/SDの設定は、SDI OUT端子と連動して切り換わります)。

接続には、付属のコンポーネントビデオケーブルを使用します。

#### 接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Display (131ページ) をOnに設定してください。

### MONITOR OUT端子 (BNC型)

ダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号を出力します。

接続には、市販の75Ω同軸ケーブルを使用します。

#### 接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのVideo Out Display (131ページ) をOnに設定してください。

### S VIDEO端子 (Sコネクター)

モニター用YC分離信号を出力します。

接続には、別売りのSビデオケーブルを使用します。

#### 接続したモニターにメニューやステータスを表示させるには

VIDEO SETメニューのVideo Out Display (131ページ) をOnに設定してください。

### AUDIO OUT CH-1/CH-2端子 (RCAピンジャック)

記録・再生中の2チャンネルの音声信号を出力します。

接続には、別売りのオーディオケーブルを使用します。

# コンピューターでクリップを管理・編集する

本機でSxSメモリーカードに記録したクリップを、コンピューター上で管理したり、別売りのノンリニア編集ソフトで編集することができます。

SxSメモリーカードをコンピューターに直接装着したり、USB ケーブルを使って PMW-EX3本体またはSxSメモリーカードUSBリーダー/ライターSBAC-US10 (別売り) をコンピューターに接続して、本機で記録したクリップを管理・編集する方法を説明します。

## 準備

### コンピューターの ExpressCard スロットを使う

ExpressCard/34 または ExpressCard/54 スロットがあるコンピューターの場合は、本機でクリップを記録したSxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

◆コンピューターの動作環境については「ソフトウェアの使いかた」(17ページ)をご覧ください。

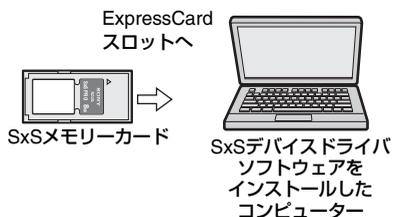
### ご注意

付属のCD-ROMに収録されているSxSデバイスドライバソフトウェアのインストールが必要です。インストールの前に、必ず同梱されているSxSデバイスドライバソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

◆SxS デバイスドライバソフトウェアのインストール方法については、付属のCD-ROMに収録されている ReadMe をご覧ください。

◆SxS デバイスドライバソフトウェアのサポート関連情報については、下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.net/SxS-Support/>



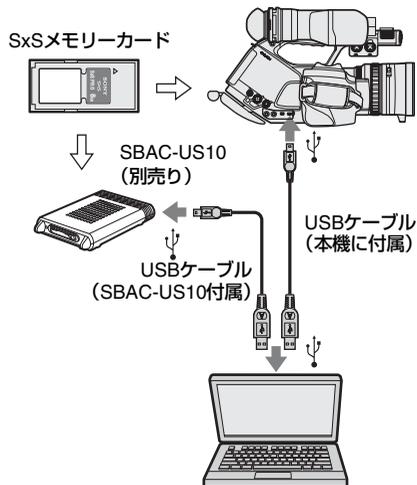
Windows コンピューターでは、マイコンピュータにリムーバブルディスクが追加されていることを確認してください。追加されていれば正常に動作しています。

Macintosh コンピューターでは、メニューバーにアイコンが表示されます。

### USB ケーブルを使って接続する

本機またはSxSメモリーカードUSBリーダー/ライターSBAC-US10 (別売り) を、それぞれに付属の USB ケーブルを使って接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。



### ご注意

• コンピューターに接続するときは、USB コネクターの形と向きに注意してください。

- 本機、SBAC-US10とも、コンピューターからのバスパワーでは動作しません。それぞれに電源を用意してください。

## 本機への接続の確認

### 1 本機の電源スイッチをCAMERAまたはMEDIAにして電源を入れる。

ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。



#### ご注意

SxSメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。

またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

### 2 ジョグダイヤルまたは十字スティックで「実行」(Execute)を選ぶ。

次のような画面が表示されます。



- ### 3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダ(フォルダ名は任意に変更可)が作成されていることを確認する。
- 追加・作成されていれば正常に動作しています。

#### ご注意

アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。

- 電源を切る。電源コードを抜く。
- SxSメモリーカードを抜く。
- USBケーブルを抜く。

◆SBAC-US10を使用するときは、SBAC-US10の取扱説明書をご覧ください。

## SxSメモリーカードを取りはずす

### Windows の場合

1. コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックする。
2. 表示されたメニューから「SxS Memory Card ドライブ (X:) を安全に取り外します」を選択する。
3. 安全に取り外すことができることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。

### Macintosh の場合

デスクトップにあるSxSメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」(イジェクトアイコン)にドラッグします。

ファインダ上にSxSメモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

#### ご注意

メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源 切」を選択しないでください。

## 付属のアプリケーションソフトウェアを使う

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、付属のCD-ROMに収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールして使用します。使用するコンピューターに、付属のCD-ROMに収録されている専用アプリケーションソフトウェアをインストールしてください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれています。

が、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっていきます。

#### ご注意

Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。そのような状況を避けるため、専用アプリケーションソフトウェアを使用してください。

- ◆動作環境やインストール方法、使いかたについては付属のCD-ROM に収録されているインストレーションガイド、ヘルプ(ユーザーガイド) をご覧ください。
- ◆専用アプリケーションソフトウェアについては詳しくは、ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトをご覧ください。

### ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア(別売り) が必要です。

付属の専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。使用する編集ソフトによっては正しく動作しない場合があります。ご使用になる前に、必ず本機で記録したフォーマットに対応することをご確認ください。

## 外部機器を接続する (i.LINK接続)

HDV互換のビデオフォーマット (SP 1080/60i、SP 1080/50i、SP 1080/24P) が選択されているときは、i.LINK(HDV)端子に接続した外部機器で本機のメモリーカードに記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像を本機で記録することができます。また、HDVフォーマット対応のノンリニア編集ソフトを使って編集することもできます。

#### ご注意

- OTHERSメニューのi.LINK I/OをEnableにすると、SDI OUT端子からは信号が出力されません。
- ビデオフォーマットがSPモード以外の場合は、i.LINK I/OをEnableにしてもi.LINK端子から信号の入出力はできません。
- i.LINK接続は 1対1で使用してください。

### 本機の画像を外部機器で記録する

本機をカメラモードにすると、本機で撮影している画像がi.LINK(HDV)端子を介してHDVストリームとして出力されます。本機のREC START/STOP操作に連動して、接続したHDVレコーダーで記録することもできます。

#### 1 本機で事前に必要な設定を行う。

- ビデオフォーマットを、SP 1080/60i、SP 1080/50i、SP 1080/24Pのいずれかに設定する。
- OTHERSメニューのi.LINK I/O (138ページ) をEnableに設定する。
- OTHERSメニューのTrigger Mode (139ページ) をBothまたはExternalに設定する。  
**Both:** 本機のメモリーカードと外部機器の両方に記録するとき  
**External:** 外部機器でのみ記録するとき

#### 2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。

- ◆外部機器の操作については、その機器の取扱説明書を参照してください。

### 3 本機の電源スイッチをCAMERA側にしてカメラモードにする。

### 4 本機のREC START/STOPボタンを押す。

同期して外部機器が記録モードになります。

本機のビューファインダーのi.LINK状態表示部(25ページ)に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY <b>i.HDV</b>	HDV録画待機中
●REC <b>i.HDV</b>	HDV録画中

#### ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- 本機のREC START/STOPボタンを押してから、i.LINK状態表示が切り換わるまでタイムラグがあります。Trigger ModeがBothに設定されていても、接続されているi.LINK機器では同期がかかるまで記録が開始されません。
- メモリーカードには撮影中にショットマークを記録することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

## ノンリニア編集する

本機をメディアモードにして、i.LINK(HDV)端子に接続したノンリニア編集システムにHDVストリーム転送することができます。

#### ご注意

- 本機のi.LINK(HDV)端子は4ピンです。接続するコンピューターのi.LINK端子のピン数をご確認のうえ、適切なi.LINKケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境

界でi.LINK信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャしようとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。

- ノンリニア編集機で×4倍、×15倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK信号は出力されません。またこの場合、画面は静止画のままになることがあります。
- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

#### 本機の設定

OTHERSメニューのi.LINK I/OをEnableにしてください。

- ◆ノンリニア編集ソフトウェアの操作については、そのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

## 外部入力信号を記録する

i.LINK端子に接続した機器からのHDVストリーム入力を、本機に装着したSxSメモリーカードに記録することができます。タイムコードは、本機の設定にかかわらず、i.LINK入力に重畳されているタイムコードが記録されます。

### 1 外部信号を本機で記録できるフォーマットに設定する。

本機のVideo Format(139ページ)がSP 1080/60iまたはSP 1080/24Pに設定されているときは1440×1080/59.94iの信号、SP 1080/50iのときは1440×1080/50iの信号を記録できます。それ以外のVideo Formatと入力信号の組み合わせでは記録できません。

### 2 OTHERSメニューのi.LINK I/O(138ページ)をEnableに設定する。

### 3 メディアモードにする。

### 4 STOPボタンを押して、STOPモードにする。

入力映像が、ビューファインダー画面、COMPONENT OUT端子、MONITOR

OUT端子、S VIDEO端子に接続したモニターに表示されます。  
音声信号は、内蔵スピーカー、ヘッドホン端子に接続したヘッドホン、AUDIO OUT端子に接続したモニタースピーカーから出力されます。

## 5 ハンドル面操作パネルのREC START/STOPボタンを押す。

記録が始まります。

### ご注意

- グリップのREC START/STOPボタンは機能しません。
- 次のような場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、REC START/STOPボタンを押して、記録モードを解除してください。  
一本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。  
一コピー禁止ストリームが入力されている。
- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はタリランプおよびビューファインダー画面のi.LINK状態表示の「●REC」が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。  
再び信号が入力されると記録が再開しますが、本機でのクリップ番号が繰り上がります。

## i.LINKについて

ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

### i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINK (アイリンク) はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

### ご注意

i.LINKケーブル (DVケーブル) で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

### i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100 (最大転送速度 約100Mbps<sup>1)</sup>)

S200 (最大転送速度 約200Mbps)

S400 (最大転送速度 約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

1)最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

## Mbps とは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

## 本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK (HDV) 対応機器と接続して使用方法については、144ページをご覧ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトウェアの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を併せてご覧ください。

## 必要なi.LINKケーブル

ソニー製の6ピン↔4ピンまたは4ピン↔4ピンの i.LINK ケーブルをお使いください (HDVダビング時)。

i.LINKとは商標です。

# 外部同期

PMW-EX3を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

## 映像信号の位相を合わせる (ゲンロック)

本機のGENLOCK IN端子に、SDまたはHDの基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

ビデオフォーマットがHQ1080/24Piに設定されているときは、OTHERS メニューのGenlock (138ページ) で同期モード (60iまたは24PsF) を選択してください。同期信号の位相の調整も、OTHERSメニューのGenlockで行います。

### ご注意

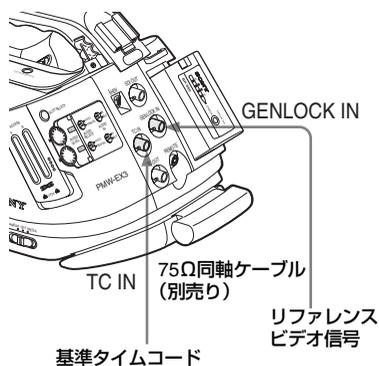
- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

## 他機のタイムコードにロックさせる

本機のタイムコードを、他機のタイムコードにロックさせることができます。

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード (Free RunやClock) に設定してください。

- 1 **TC/UB SET**メニューのTimecodeを次のように設定する。  
Mode : Preset  
Run : Free Run
- 2 **TC/U-BIT/DURATION**ボタンを押して、画面にタイムコードを表示させる。
- 3 **GENLOCK IN** 端子と**TC IN**端子に、それぞれ**HD**または**SD**のリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。



これで本機のタイムコードジェネレーターが、基準タイムコードにロックします。画面に「EXT-LK」が表示されます。



ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

#### ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムコードデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続をはずした場合は、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

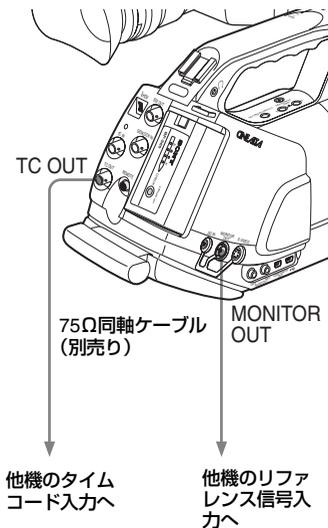
## 外部ロックを解除するには

TC/UB SETメニューのTimecodeの設定を変更するか、本機の電源をOffにしてください。特殊記録モード（スロー&クイックモーション、フレームレック、インターバルレック）での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

## 本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

本機のタイムコードに、他機のタイムコードをロックさせることができます。

- 1 TC/UB SETメニューのTimecodeおよびTC Formatで本機のタイムコードを設定する（74ページ参照）。
- 2 TC OUT端子とMONITOR OUT端子を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。



## REMOTE端子を介して操作する

リモートコントロールユニットRM-B750/B150/B170やリモートコントロールパネルRCP-1001/1501などのコントロール機器を接続すると、それらの機器から本機の各種設定が可能です。

RM-B750上のディスプレイや、それぞれのMONITOR端子に接続したモニター画面で、本機のメニューを操作したり、画像をモニターすることもできます。

### 接続する

コントロール機器に付属のリモートケーブル(10 m)を使用して、本機のREMOTE端子と、コントロール機器のカメラ端子を接続します。

接続後に本機の電源を入れると、本機はリモートコントロールモードになります。

#### ご注意

- RM-B750は、シリアルナンバー 120000以降のものを使用してください。
- 本機の肩当てパッドを引き出すと、リモートケーブルの抜き差しが容易になります。

### リモートコントロールユニットから本機を調整する

本機の電源スイッチをCAMERA側(カメラモード)にして本機の電源を入れてください。ピクチャープロファイル機能がONになり、ピクチャープロファイル6が自動的に選択されます。

リモートコントロールユニットのスイッチやつまみを使用して、本機のメニューや撮影操作が可能です。

- ◆ 操作できる機能については、「REMOTE端子を介して操作できる機能(カメラモード)」(151ページ)をご覧ください。

#### ご注意

- 本機へのUSB接続が有効になっている状態では、リモートコントロールはできません。

- 本機の電源を入れたままコントロール機器を抜き差ししないでください。
- リモートコントロールユニットが接続されているときは、本機の下記スイッチ類は無効になります。
  - GAINスイッチ
  - WHITE BALスイッチ
  - SHUTTERスイッチ
  - BARS/CAMボタン
  - WHT BALボタン
  - FULL AUTOボタン
- リモートコントロールユニットが接続されているときは、本機のダイレクトメニュー操作は無効になります。
- ECS周波数の表示は、本機での表示値とリモートコントロールユニットでの表示値に誤差が生じる場合があります。

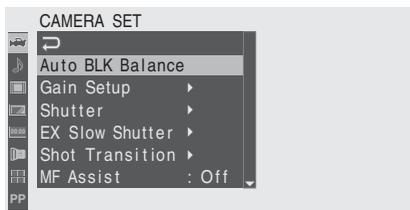
### リモートコントロールモードを解除する

本機の電源を切り、コントロール機器を取りはずします。

本機のスイッチ類の設定が有効になります。

## 本機のメニューを操作する

リモートコントロールモードでは、セットアップメニューの一番下に、PP(ピクチャープロファイルメニューのアイコン)が表示され、この画面からピクチャープロファイルメニューも選択できます。



#### ご注意

リモートコントロールモードで操作できないメニュー項目は、グレーで表示され、選択できません。

## RM-B150/B170からメニューを操作する

本機の電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードにしてから、次のように操作します。

- 1 DISPLAY** スwitchを **MENU** に設定する。  
RM-B150/B170のMONITOR端子に接続したモニター画面に本機のメニューが表示されます。
- 2 MENU SELECT**つまみと**CANCEL/ENTER**スウィッチを使用してメニューを選択・設定する。
- 3** 設定が終わったら、**DISPLAY**スウィッチを**ON**または**OFF**にしてメニューを抜ける。

◆RM-B150/B170の操作について詳しくは、RM-B150/B170のオペレーションマニュアルをご覧ください。

## RM-B750からメニューを操作する

本機の電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードにしてから、次のように操作します。

- 1 MONITOR** ボタンを押して点灯させ、**VF MENU**ボタンを押す。  
RM-B750のディスプレイ、およびRM-B750のMONITOR端子に接続したモニター画面に本機のメニューが表示されます。
- 2 MENU SELECT**つまみと**ENTER**ボタン、**CANCEL**ボタンを使用してメニューを選択・設定する。
- 3** 設定が終わったら、**VF MENU**ボタンを押してメニューを抜ける。

◆RM-B750の操作について詳しくは、RM-B750のオペレーションマニュアルをご覧ください。

## リモートコントロールユニットからスロー&クイックモーションを操作する

リモートコントロールユニットを接続すると、CAMERA SETメニューでS&Q Motionが選択できるようになり、リモートコントロールユニットからスロー&クイックモーション撮影の設定が行えます。  
記録を始める前に、メニューで設定を行ってください。

- 1 CAMERA SET**メニューの**S&Q Motion**を選択する。



- 2 Setting**を**On**にする。  
スロー&クイックモーションモードになります。
- 3 Frame Rate**で撮影フレームレートを**選択**する。
- 4 VTR START/STOP**ボタンを押す。  
スロー&クイックモーションモードでの記録が始まります。

**記録を停止するには**  
VTR START/STOPボタンを押します。

**スロー&クイックモーションモードを解除するには**  
CAMERA SETメニューでS&Q MotionのSettingをOffにします。

## REMOTE端子を介して操作できる機能（カメラモード）

本機をカメラモードで起動したときは、メニュー操作による調整に加え、下記の機能をリモートコントロールユニット側の調整つま

みやスイッチ、タッチパネル（RM-B750、RCP-1501）を使用して操作できます。

### RM-B150 / RM-B170

機能	本機での操作	RM-B150での操作	RM-B170での操作
メニューのON/OFF	MENUボタン	○	○
マスターゲイン選択	GAINスイッチ	○	○
ゲイン調整	CAMERA SETメニュー → Gain Setup	○	○
ゲインのステップ選択	—	—	○
カラーバー信号出力ON/OFF	CAM/BARSボタン	○	○
シャッター ON/OFF	SHUTTERスイッチ+CAMERA SETメニュー → Shutter	○	○
シャッタースピード選択	CAMERA SETメニュー → Shutter	○	○
ECS ON/OFF	SHUTTERスイッチ+CAMERA SETメニュー → Shutter	○	○
ECS周波数の選択	CAMERA SETメニュー → Shutter	○	○
オートホワイトバランス	AUTO W BALボタン	○	○
オートブラックバランス	CAMERA SETメニュー → Auto BLK Balance	○	○
ホワイトR/Blレベル調整	—	○	○
ブラックR/Blレベル調整	—	○	○
ホワイトバランスメモリーの選択	WHITE BALスイッチ	○	○
オートトレーシングホワイトON/OFF	アサインブルボタン (ATW機能割り当て)	○	○
記録開始/停止	REC START/STOPボタン	○	○
レックレビュー	REC REVIEWボタン	○	○
レックレビュー停止	STOPボタン	○	○
コール信号ON/OFF <sup>1)</sup>	—	—	○
ショットマーク1の記録	SHOTMARK 1ボタン	—	○
ショットマーク2の記録	SHOTMARK 2ボタン	—	○
フリーズミックス表示のON/OFF	アサインブルボタン (Freeze Mix機能割り当て)	—	○
フォーカス調整 <sup>2)</sup>	本機の専用レンズのフォーカスリング	—	○
ズーム操作 <sup>2)</sup>	本機の専用レンズのズームリング	—	○

1)RM-B170でCALLボタンを押すと、本機のビューファインダー上にメッセージ「CALL」が表示されます。

2)RM-B170でこの機能を設定すると、本機での操作はできなくなります。

## RM-B750 / RCP-1001 / RCP-1501

機能	本機での操作	RM-B750での操作	RCP-1001/ 1501での操作
メニューのON/OFF	MENUボタン	○	○
マスターゲイン選択	GAINスイッチ	—	○
ゲイン調整	CAMERA SETメニュー→ Gain Setup	—	—
ゲインのステップ選択	—	○	○
カラーバー信号出力ON/OFF	CAM/BARSボタン	○	○
シャッター ON/OFF	SHUTTERスイッチ+CAMERA SETメニュー→Shutter	○	○
シャッタースピード選択	CAMERA SETメニュー→Shutter	○	○
ECS ON/OFF	SHUTTERスイッチ+CAMERA SETメニュー→Shutter	○	○
ECS周波数の選択	CAMERA SETメニュー→Shutter	○	○
オートホワイトバランス	AUTO W BALボタン	○	○
オートブラックバランス	CAMERA SETメニュー→ Auto BLK Balance	○	○
ホワイトR/Bレベル調整	—	○	○
ブラックR/Bレベル調整	—	○	○
ホワイトバランスメモリーの選択	WHITE BALスイッチ	○	○
オートトレーシングホワイトON/ OFF	アサインابلボタン (ATW機能割り当て)	○	○
記録開始/停止	REC START/STOPボタン	○	—
レックレビュー	REC REVIEWボタン	○	—
レックレビュー停止	STOPボタン	○	—
コール信号ON/OFF <sup>1)</sup>	—	○	○

<sup>1)</sup>RM-B750でCALLボタンを押すと、本機のビューファインダー上にメッセージ「CALL」が表示されます。

## レンズ機能の調整

付属または別売りの専用レンズを使用しているときは、下記の機能もリモートコントロールユニット側で操作可能です。

### RM-B750 / RM-B150 / RM-B170

機能	レンズでの操作	RM-B150/ B170での操作	RM-B750での操作
アイリス調整	アイリスリング	○	○
アイリスクローズ	—	—	○
オートアイリス/マニュアルアイリス切り換え	IRISスイッチ	○	○

## ピクチャープロファイルの調整

ピクチャープロファイルメニューに含まれる調整項目の一部には、本機のメニューを操作して調整できるだけでなく、リモートコントロールユニット側のメニューや調整つまみ / スイッチを使用して調整できるものがあります。

◆詳しくはコントロール機器のオペレーションマニュアルをご覧ください。

### ご注意

- 下記のリモートコントロール側のメニューや調整つまみ/スイッチによる操作は、本機のメニュー画面が表示されていない状態で有効です。  
変更は、そのままピクチャープロファイルメニューに反映されます。
- リモートコントロールユニットの調整つまみが絶対値モードに設定されている場合は、該当する機能をピクチャープロファイルメニューで変更することはできません。

## RM-B150 / RM-B170

ピクチャープロファイル項目	RM-B150での操作	RM-B170での操作
Matrix	Setting	○
	Level	○
	R-G, R-B G-R, G-B B-R, B-G	○
		○
Detail	Setting	○
	Level	○
	Frequency	○
	Crispensing	○
	H/V Ratio	○
	White Limiter	○
	Black Limiter	○
	Knee APT Level	○
Skin Tone Detail	Setting	○
	Level	○
	Area Indication	○
	Saturation	○
	Phase	○
	Width	○
Knee	Setting	○
	Auto Knee	○
	Point	○
	Slope	○
	Knee SAT Level	○
Gamma	Level	○
	Select	○
Black	○	○
Black Gamma	○	○
Low Key SAT	○	○

## RM-B750 / RCP-1001 / RCP-1501

ピクチャープロファイル項目		RM-B750での操作	RCP-1001/1501での操作
Matrix	Setting	○	—
	Level	○	—
	R-G, R-B G-R, G-B B-R, B-G	○	—
Detail	Setting	○	—
	Level	○	○
	Frequency	○	—
	Crispeneing	○	—
	H/V Ratio	○	—
	White Limiter	○	—
	Black Limiter	○	—
	Knee APT Level	○	—
Skin Tone Detail	Setting	○	○
	Level	○	○
	Area Indication	○	—
	Saturation	○	—
	Phase	○	—
	Width	○	—
Knee	Setting	○	—
	Auto Knee	○	○
	Point	○	○
	Slope	○	○
	Knee SAT Level	○	○
Gamma	Level	○	○
	Select	○	—
Black		○	○
Black Gamma		○	—
Low Key SAT		○	—

## 使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「安全のために」(2ページ)、「 警告」(9ページ)、「 注意」(10ページ)、「電池についての安全上のご注意」(11ページ)、「その他の安全上のご注意」(12ページ)と併せてご覧ください。

### 取り扱い・保管上のご注意

#### 強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。
- アクセサリーシューに装着した部品に強い衝撃が与えられた場合、アクセサリーシューが損傷する場合があります。この場合は使用を中止し、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

#### 動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

#### 使い終わったら

電源スイッチを切ってください。

#### 長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

#### 運搬するときは、ハンドルを持つ

フロントマイク部、ビューファインダーなど、ハンドル以外の場所を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因になることがあります。

#### レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

#### 運搬時はオプションを取り外す

ショルダーベルトを使用して運搬する場合は、オプションを取り外してください。

### 輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

### お手入れ

レンズの表面に付着したゴミやほこりは、ブローアで吹き払います。

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

### 万一、異常が生じたときは

お買い上げ店がソニーのサービス窓口にご相談ください。

### バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、機器が誤動作するおそれがあります。

バッテリー端子が変形したり、曲がったり、表面が腐食した場合は、すぐにソニーのサービス担当者または営業担当者に修理を依頼してください。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

## 使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）。  
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨が当たる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

## 携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

## レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

## LCD（液晶）画面について

ビューファインダー内のLCD画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白、赤、青、緑の点が消えないことがあります。

この現象は故障ではなく、これらの点が記録されることはありませんので、安心してお使いいただくことができます。

## CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

### 白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- マスターゲイン(感度)を上げたとき
- スローシャッターモードのとき

### 折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

### フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したり、横縞が流れるように見えることがあります。



このようなときは、フリッカー補正機能をAutoにしてください（73ページ参照）。

条件によってはフリッカー補正機能が低減しない場合があります。

電子シャッタースピードを、50Hzの地域では1/100に、60Hzの地域では1/60に設定することをお勧めします。

### フォーカルプレーン

撮像素子(CMOSセンサー)の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、

画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。  
また、フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度に変化することがあります。

## ビューファインダー画面表示に関するご注意

次のような操作をしたとき、ビューファインダー内のLCD画面上の映像が乱れることがあります。

- フォーマットを切り換えたとき
- レックレビュー時
- サムネイル画面から再生を開始したとき
- ビューファインダーを反転させたとき

## ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。

長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、OTHERS メニューのFormat Media（139ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

## ショルダーベルト着用時のご注意

ショルダーベルトを着用する前に、ショルダーベルトや取り付け部に傷みがないことを確認してください。ベルトが傷んだまま着用すると、本機が落下してけがの原因となることがあります。

# 出力のフォーマットと制限

## ビデオフォーマットと出力信号について

COMPONENT OUT端子、SDI OUT端子からの出力信号は、記録・再生のビデオフォーマット、および出力信号の種類（VIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Selectの設定）に応じてフォーマットが切り換わります。

## E-Eモード<sup>1)</sup>/撮影時の出力フォーマット（カメラモード）

COMPONENT OUT端子からのアナログコンポーネント信号は、OTHERS メニューのVideo Formatの設定と、VIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Selectの設定（HDまたはSD）に応じて、下表に示すフォーマットで出力されます。

SDI OUT端子からは、COMPONENT OUT端子から出力されるアナログコンポーネント信号と同じフォーマットのシリアルデジタル信号が出力されます。

1)E-Eモード: 撮影スタンバイ状態

ビデオフォーマット	出力フォーマット	
	YPbPr Out Select : HD	YPbPr Out Select : SD
1080/59.94i	1080/59.94i	480/59.94i
1080/29.97P	1080/29.97PsF	480/59.94i
1080/23.98P	1080/59.94i <sup>1)</sup>	480/59.94i
720/59.94P	720/59.94P	480/59.94i
720/29.97P	720/59.94P	480/59.94i
720/23.98P	720/59.94P	480/59.94i
1080/50i	1080/50i	576/50i
1080/25P	1080/25PsF	576/50i
720/50P	720/50P	576/50i
720/25P	720/50P	576/50i

1)OTHERSメニュー Genlock（138ページ）の24P Systemの設定を24PsFにした場合は、1080/24PsFになります。

## クリップ再生時の出力フォーマット (メディアモード)

COMPONENT OUT端子からのアナログコンポーネント信号は、OTHERS メニューのVideo Formatの設定、再生するクリップのビデオフォーマット、およびVIDEO SETメニューのYPbPr/SDI Out Selectの設定(HDまたはSD)に応じて、下表に示すフォーマットで出力されます。

SDI OUT端子からは、COMPONENT OUT端子から出力されるアナログコンポーネント信号と同じフォーマットのシリアルデジタル信号が出力されます。

## ビデオフォーマットのフレームレート設定が 59.94i/59.94P/29.97P/23.98P のとき

クリップのフォーマット	出力フォーマット	
	YPbPr Out Select : HD	YPbPr Out Select : SD
1080/59.94i	1080/59.94i	480/59.94i
1080/29.97P	1080/29.97PsF	480/59.94i
1080/23.98P	1080/59.94i	480/59.94i
720/59.94P	720/59.94P	480/59.94i
720/29.97P	720/59.94P	480/59.94i
720/23.98P	720/59.94P	480/59.94i
1080/50i	1080/59.94i <sup>1), 2)</sup>	480/59.94i <sup>1)</sup>
1080/25P	1080/29.97PsF <sup>1), 2)</sup>	480/59.94i <sup>1)</sup>
720/50P	720/59.94P <sup>1), 2)</sup>	480/59.94i <sup>1)</sup>

クリップのフォーマット	出力フォーマット	
	YPbPr Out Select : HD	YPbPr Out Select : SD
720/25P	720/59.94P <sup>1), 2)</sup>	480/59.94i <sup>1)</sup>

1)SDI OUT端子から信号は出力されません。

2)出力信号の実際のフレームレートは、表記の1.001倍になります。またフレームレート変換のため、同じ絵が繰り返しとなるフレームがあります。

## ビデオフォーマットのフレームレート設定が 50i/50P/25P のとき

クリップのフォーマット	出力フォーマット	
	YPbPr Out Select : HD	YPbPr Out Select : SD
1080/59.94i	1080/50i <sup>1), 2)</sup>	576/50i <sup>1)</sup>
1080/29.97P	1080/25PsF <sup>1), 2)</sup>	576/50i <sup>1)</sup>
1080/23.98P	1080/50i <sup>1), 2)</sup>	576/50i <sup>1)</sup>
720/59.94P	720/50P <sup>1), 2)</sup>	576/50i <sup>1)</sup>
720/29.97P	720/50P <sup>1), 2)</sup>	576/50i <sup>1)</sup>
720/23.98P	720/50P <sup>1), 2)</sup>	576/50i <sup>1)</sup>
1080/50i	1080/50i	576/50i
1080/25P	1080/25PsF	576/50i
720/50P	720/50P	576/50i
720/25P	720/50P	576/50i

1)SDI OUT端子から信号は出力されません。

2)出力信号の実際のフレームレートは、表記の1/1.001になります。またフレームレート変換のため、間引かれるフレームがあります。

## 出力制限

VIDEO SETメニューの設定によって、下表のように出力が制限されます。この制限は、カメラモード、メディアモードで共通です。

メニュー設定	i.LINK I/O	Enable	Disable	Enable	Disable	Enable	Disable
	YPbPr/SDI Out Select	HD	HD	SD	SD	Off	Off
各端子からの出力	i.LINK (HDV)	HDV	無信号	HDV	無信号	HDV	無信号
	SDI OUT	無信号	HD	無信号	SD	無信号	無信号
	COMPONENT OUT	HD	HD	SD	SD	無信号	無信号
	MONITOR OUT	SD	SD	SD	SD	SD	SD
	S VIDEO	SD	SD	SD	SD	SD	SD

# レンズファイルの操作

本機では、6つのレンズファイルを使用できます。

ファイルID		対象レンズ
ファイル番号	ファイル名	
01	VCL-614B2X	専用標準ズームレンズ VCL-614B2X (付属)
02	XS8X4AS- XB8	専用広角ズームレンズ Fujinon XS8X4AS-XB8 (別売り)
U1	User_File1	ユーザー設定可能
U2	User_File2	
U3	User_File3	
U4	User_File4	

レンズ固有の特性（補正データなど）を内蔵のメモリーにファイルとして保存しておくことによって、レンズを交換したときもファイルを呼び出すだけで最適な状態に設定することができます。

01と02の推奨専用レンズ用のレンズファイルには、それぞれに最適な補正データが工場出荷時に保存され、自動的に選択されるように設定されています。

専用以外のレンズを使用するときは、LENSメニューを使用して、U1～U4のレンズファイルに補正データを保存することができます。

## 専用以外のレンズの補正データをファイルに保存する

工場出荷時には、ユーザー設定可能なU1～U4のファイルそれぞれに、付属の標準レンズ用ファイル(01: VCL-614B2X)と同じ補正データが初期値として保存されています。

専用レンズ以外のレンズを使用するときは、以下のように操作して、補正データをファイルに保存してください。

- 1 補正データをファイルに保存したいレンズを装着する。

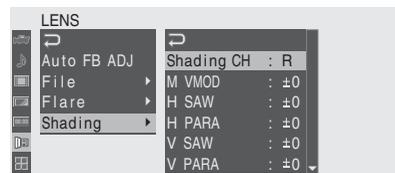
- 2 電源スイッチをCAMERA側にして、本機をカメラモードで起動する。
- 3 ホワイトバランスを調整する。
- 4 MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、でLENSメニューを選択する。
- 5 Flareを選択し、R/G/Bそれぞれのフレアを調整する。



(レンズエクステンダー使用時は、EX付きの項目を設定します。)

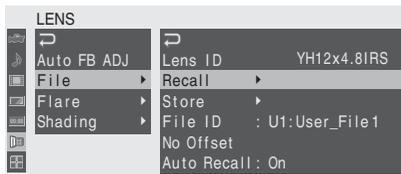
- 6 Shadingを選択し、R/G/Bの各チャンネルごとにシェーディングを調整する。

Shading CHでチャンネル (R, G, B) を選択してから、各項目を設定してください。

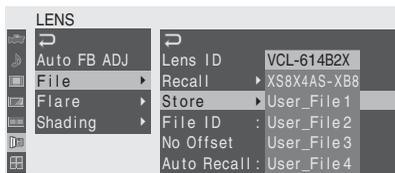


(レンズエクステンダー使用時は、EX付きの項目を設定します。)

- 7 調整が終わったら、Fileを選択する。マウントされているレンズがシリアル通信対応レンズの場合、LENSメニューからFileを選択すると、Lens IDの右に対応するIDが表示されます。シリアル通信非対応レンズの場合は、Lens IDは (unknown) になります。



## 8 Storeを選択し、保存するファイルを指定する。



## 9 確認メッセージが表示されたら、「実行」(Execute)を選択する。

シリアル通信対応レンズの場合、Auto RecallがOnに設定されていれば、レンズを再マウントしたとき、対応するレンズファイルが自動的に呼び出されます。

シリアル通信非対応レンズの場合や、Auto RecallがOffになっている場合は、レンズを再マウントしたときに、対応するファイルをメニュー操作 (Recall)で呼び出してください。

### ファイル名を変更するには

工場出荷時のファイル名 (User\_File1 ~ User\_File4) は、メニューのFile IDで変更することができます (最大16文字)。

### 補正値をクリアするには

メニューのNo Offsetを選択することによって、現在選択されているレンズファイルの補正値を、すべて工場出荷時の状態にすることができます。

◆メニュー操作について詳しくは、「セットアップメニューの基本操作」(123ページ)をご覧ください。

# バックアップ電池の交換

本機はバックアップ電池によって各種データを保持します。

工場出荷時に、バックアップ用リチウム電池CR2032が装着されています。

バッテリーパックやACアダプターをはずした状態でも、バックアップ電池によって日付・時刻、およびFree Runモードのタイムコードを保持し歩進させます。

## バックアップ電池の交換時期

バックアップ電池の電圧が低下すると、ビューファインダー画面に警告メッセージが表示されます。

できるだけ早く新しい電池と交換してください。

### ご注意

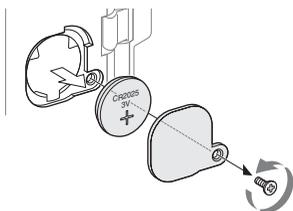
- 市販のCR2032リチウム電池を使用してください。指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- CR2032が入手できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

## バックアップ電池を交換する

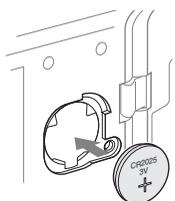
### ご注意

- バックアップ電池を交換するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- はずしたネジを本体内に落とさないようにご注意ください。

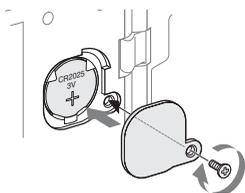
- 1 ネジをはずしてバックアップ電池取り付け部 (底面) のカバーを開け、中の電池を取り出す。



- 2** +表示を外側にして新しいバックアップ電池（CR2032）を入れる。



- 3** カバーを元どおり取り付け。



# トラブル時の対処

## 電源

症状	原因	対処
電源スイッチをCAMERAまたはMEDIAにしても電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（28ページ）か、BC-U1/U2を使用してAC電源を接続する（30ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（28ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（28ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

## 記録・再生

症状	原因	対処
REC START/MEDIAボタンを押しても記録が始まらない。	電源スイッチがOFFまたはMEDIAになっている。	電源スイッチをCAMERA側にする。
	SxSメモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除する（44ページ）か、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。
	修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	メモリーカードを修復する（47ページ）。
PLAYボタンを押しても再生が始まらない。	電源スイッチがOFFまたはCAMERAになっている。	電源スイッチをMEDIA側にする。
付属のリモコンが動かない	リモコン操作が無効になっている。	リモコン操作を有効にする（41ページ）。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する（42ページ）。
音声記録できない。	AUDIO LEVEL（CH-1/CH-2）つまみが最小の位置になっている。	AUDIO LEVEL（CH-1/CH-2）つまみの設定を調整する（77ページ）。
記録した音声はひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVEL（CH-1/CH-2）つまみを調節して、記録し直す（77ページ）。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVEL（CH-1/CH-2）つまみを調節して、記録し直す（77ページ）。

## 外部機器

症状	原因	対処
i.LINK接続しても接続先の機器に画像が映らないなど、接続先の機器が反応しない。	認識するまでに時間がかかる場合がある。	約15秒間、そのまま待つ。それでも認識しないときは、以下を行う。 <ul style="list-style-type: none"><li>• i.LINKケーブルを差し込み直すなどして、接続状態を確認する。</li><li>• 電源をOFFにして、接続し直す。</li><li>• i.LINKケーブルを交換する。</li></ul>

## エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、ビューファインダー画面のメッセージ表示、タリールンプの点滅、および警告音で対応します。  
警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

警告音の音量は、AUDIO SETメニューAudio Output (130ページ) のAlarm Levelの設定で調整できます。

### エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は記録を含めたすべての動作を停止します。

ビューファインダー警告表示	警告音	タリールンプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。 電源を切り、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパック/DC IN電源をはずしてください。)

### 警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。  
(OTHERSメニューのLanguageをEnglishに設定した場合、メッセージは英文で表示されます。)

ビューファインダー警告表示	警告音	タリールンプ	原因と対策
メディア残量がわずかです。 Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
メディア残量がありません。 Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。
バッテリー残量がわずかです。 Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
バッテリー残量がありません。 Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 DC INに電源をつなぐか、いったん操作を中止し、バッテリーパックを充電してください。
警告温度になりました。 Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
電源電圧が低下しています。 Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています (段階1)。供給電源を確認してください。
電源電圧が不足しています。 Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます (段階2)。記録はできません。 他の電源に接続しなおしてください。

ビューファインダー警告表示	警告音	タリ ランプ	原因と対策
このバッテリーは使用できません。 交換してください。 Battery Error Please Change Battery.			バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
バックアップ電池残量がありません。 交換してください。 Backup Battery End Please Change.			バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
メディア(A) <sup>1)</sup> は使用できません。 交換してください。 Unknown Media(A) <sup>1)</sup> Please Change.			パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。本機では使用できませんので、交換してください。
メディアエラーが発生しました。 メディア(A) <sup>1)</sup> は修復が必要です。 Media Error Media(A) <sup>1)</sup> Needs to be Restored			メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました。 メディア(A) <sup>1)</sup> は記録できません。 Media Error Cannot Record to Media(A) <sup>1)</sup>			メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
メディアエラーが発生しました。 メディア(A) <sup>1)</sup> は使用できません。 Media Error Cannot Use Media(A) <sup>1)</sup>			メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんが、他のカードに交換してください。
ビデオフォーマットが違います。 Video Format Mismatch			Video Format設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 OTHERSメニューのVideo Formatを外部入力信号に合わせて設定し直してください。
コピー制御信号を検出しました。 記録できません。 Copy Protected Input Cannot Record			ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 入力信号を確認してください。
メディアエラーが発生しました 再生を停止しました。 Media Error Playback Halted			メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生が続けられません。 頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。
メディア(A) <sup>1)</sup> にエラーが発生しました。 Media(A) <sup>1)</sup> Error			メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
書き換え寿命に達しました。 メディア(A) <sup>1)</sup> を交換してください。 Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) <sup>1)</sup>			メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
扱えないクリップが含まれています。 このメディア(A) <sup>1)</sup> は使用できません。 Unsupported Clip Included Cannot Use Media (A) <sup>1)</sup>			本機で扱えないフォーマットで記録されたクリップが含まれているため、挿入したメモリーカードは本機では使用できません。

ビューファインダー警告表示	警告音	タリ ランプ	原因と対策
HDD A <sup>2)</sup> バッテリー残量が僅かです。 HDD A <sup>2)</sup> Battery Near End	断続音	点滅	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
HDD A <sup>2)</sup> バッテリー残量不足です。連続音 HDD A <sup>2)</sup> Battery End	連続音	高速点滅	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーを交換してください。

1)スロットBに入れたカードの場合は(B)

2)スロットBに接続したHDDの場合はB

## MPEG-2 Video Patent Portfolio Licenseについて

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

PACKAGED MEDIAとは、一般消費者向けに販売、頒布されるMPEG-2コンテンツの入ったメディア（映画 DVDなど）を指します。PACKAGED MEDIAを製造、販売、頒布する業者は、MPEG LAからライセンスを取得する必要があります。

詳しくは、MPEG LAにお問い合わせください。

MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206  
ホームページ： <http://www.mpegla.com>

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

# 主な仕様

## 一般

### 電源電圧

DC 12 V

### 消費電力

約13.5 W (Typical) (記録時)

### 動作温度

0°C～+40°C

### 保存温度

-20°C～+60°C

### 記録/再生フォーマット

#### ビデオ

HQモード : MPEG-2 MP@HL,  
35Mbps / VBR

1920×1080/59.94i、50i、29.97P、25P、  
23.98P

1280×720/59.94P、50P、29.97P、25P、  
23.98P

SPモード : MPEG-2 MP@H-14,  
25Mbps / CBR

1440×1080 /59.94i、50i  
(23.98Pは59.94iの2-3プルダウン記録  
で対応)

#### オーディオ

LPCM (16ビット、48 kHz、2チャンネル)

### 記録再生時間

SBP-32/SBS-32G1A使用時

SPモード : 約140分

HQモード : 約100分

SBP-64A/SBS-64G1A使用時

SPモード : 約280分

HQモード : 約200分

### 連続動作時間 (記録時)

バッテリーパックBP-U60使用時  
約210分

バッテリーパックBP-U30使用時  
約100分

### 質量

本体のみ : 1.9 kg

付属レンズ、レンズフード、アイピース、  
バッテリーパックBP-U30、SxSメモリー  
カード各1装着時 : 3.6 kg

### 外形寸法

170ページ参照

### 付属品

13ページ参照

## カメラ部

### 撮像素子

1/2型、CMOSイメージセンサー  
有効画素数 1920(H)×1080(V)

### 方式

RGB 3板方式

### 分光系

F1.6プリズム方式

### レンズマウント

1/2型EXマウント、最大定格電流 0.5 A

### 内蔵フィルター

NDフィルター

OFF: クリア

1: 1/8ND

2: 1/64ND

### 感度

F10 (Typical) (1080/60iのとき、89.9%反  
射、2000 lx)

### 最低被写体照度

0.14 lx (F1.9、+18 dB、64フレーム蓄積)

### 映像S/N

54 dB (Y) (Typical)

### 水平解像度

1000TV本以上 (HD SDI、HQ 1080のとき)

### ゲイン

-3、0、3、6、9、12、18 dB、AGC

### シャッタースピード

1/32 ~ 1/2000秒

### スローシャッター

2 ~ 8フレーム

高感度スローシャッター :

16、32、64フレーム

## オーディオ部

### 内蔵マイク

形式：ステレオエレクトレットコンデンサーマイク  
指向特性：無指向性

### 内蔵スピーカー

モノラル  
出力：250 mW

## ビューファインダー

### 内部LCD画面サイズ

対角8.8 cm (3.5型)

### アスペクト比

16:9

### 画素数

640(H) × 3(RGB) × 480(V) デルタ配列

### 透過方式

ハイブリッド (半透過) 型

## 入出力部

### 入力端子

#### GENLOCK IN端子

BNC型 (1)、1.0 Vp-p、75Ω、不平衡

#### TC IN端子

BNC型 (1)、0.5 V~1.8 Vp-p、10kΩ

#### AUDIO IN CH-1/CH-2端子

XLR型 3ピン (2)、凹型  
LINE: +4 dBu  
MIC: -11 dBu~-65 dBu (6 dBステップ)  
(基準レベル 0 dBu=0.775 Vrms)

#### DC IN端子

DCジャック (1)

### 出力端子

#### SDI OUT端子

BNC型 (1)、SMPTE292M/259M規格準拠

#### MONITOR OUT端子

BNC型 (1)、1.0 Vp-p、75Ω、不平衡

#### COMPONENT OUT端子

ミニD端子 (1)  
Y: 1.0 Vp-p、75Ω  
Pb / Pr: 0.7 Vp-p、75Ω

#### S VIDEO端子

4ピンS端子 (1)

#### TC OUT端子

BNC型 (1)、1.0 Vp-p、75Ω

#### AUDIO OUT CH-1/CH-2端子

RCA型 (2)  
-10 dBu (47kΩ負荷時、基準レベル)

#### ヘッドホン端子

ステレオミニジャック (1)  
-20.5 dBu (基準レベル出力 16Ω負荷時)

## PC 接続端子

#### i.LINK (HDV)端子

i.LINK、IEEE1394、4ピンコネクタ (1)、S400

#### USB端子

mini-B/USB2.0 Hi-Speed (1)

## 付属レンズVCL-614B2X

### 焦点距離

5.8 mm ~ 81.2 mm  
(35 mm換算: 31.4 mm ~ 439 mm)

### ズーム

電動/手動切り換え可能

### ズーム比

14倍

### 最大口径比

1:1.9

### 絞り

自動/手動切り換え可能  
F1.9~F16 およびC (クローズ)

### フォーカス

自動/手動切り換え可能  
範囲 800 mm ~ ∞ (マクロOFF)  
50 mm ~ ∞ (マクロON、広角端)  
735 mm ~ ∞ (マクロON、望遠端)

### 手ぶれ補正

ON/OFF可能、シフトレンズ方式

### フィルター取り付けネジ

M77 mm、ピッチ0.75 mm

### マクロ

ON/OFF可能

## 別売りアクセサリ

専用広角ズームレンズ

Fujinon XS8X4AS-XB8

バッテリーパック BP-U30、BP-U60、BP-U90

バッテリーチャージャー BC-U1、BC-U2

SxSメモリーカード

SxS PRO SBP-32 (32 GB)

SxS PRO SBP-64A (64 GB)

SxS-1 SBS-32G1A (32 GB)

SxS-1 SBS-64G1A (64 GB)

SxSメモリーカードUSBリーダー/ライター  
SBAC-US10

メディアアダプター

MEAD-MS01 (“メモリースティック

PRO-HGデュオHX”用)

MEAD-SD01 (SDHCカード用)

XQD ExpressCardアダプター

QDA-EX1 (XQDメモリーカード用)

エレクトレットコンデンサーマイクロホン  
ECM-673

リモートコントロールユニット

RM-B750/RM-B170

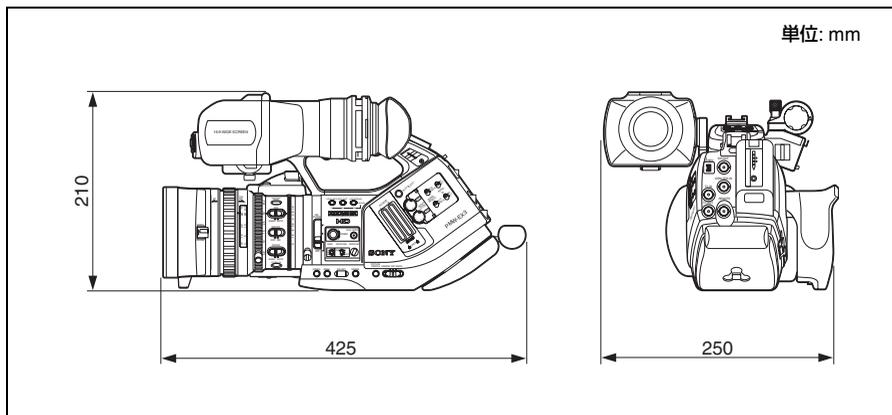
リモートコントロールパネル

RCP-1001、RCP-1501

プロフェッショナルハードディスクユニット  
PHU-220R

仕様および外観は、改良のため予告なく変更  
することがありますが、ご了承ください。

## 外形寸法



この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

# 索引

## あ行

アイピース	32, 34
アイリスリング	66
アクセサリシュー	18
アサインابلボタン	81
アスペクトマーカー	60
頭出し	107
位置合わせ	87
インターバルレック	82
エクスパンドフォーカス	70
エラー表示	164
オーディオステータス画面	119
オーディオレベルメーター	119
オートアイリスモード	66
オートシャッター	65
オートフォーカス	69
オートホワイトバランス	58

## か行

ガイドフレームライン	60
外部同期	147
外部入力	77
外部入力信号	145
外部ハードディスク	48
外部マイク	77
外部モニター	140
拡張クリアスキャン	63, 64
画像を反転	34
肩当パッド	18
カメラステータス画面	118
カメラモード	30
カラーバー	79
基準音声信号	79
距離指標	70
記録メディア残量表示	47, 50
クリップ	55
コピー	112
再生	105
削除	112
詳細情報	111

代表画	104, 115
グリップ	39
クリップエクスパンド画面	113
クリップ操作メニュー	109, 110
クリップ名	55
警告表示	164
ゲンロック	147
高速再生	107
誤操作防止	54
コピー	112
コマ撮り	84

## さ行

再生コントロールボタン	105
削除	112
サムネイル画面	104
三脚用ネジ穴	22
視度調整リング	32
自動追尾ホワイトバランス	57
十字スティック	20, 123
充電繰り返し回数	121
修復 (メモリーカード)	47
出力信号	157
手動ズームモード	67
詳細情報画面	111
ジョグダイヤル	21, 123
ショットトランジション	88
ショットマーク	80, 107, 114, 115
ショットマーク画面	114
ショルダーベルト	19
ズームスピード	118
ズームスピード切り換えスイッチ	68
ズームリング	35, 68
ステータス画面	117
スローシャッター	63
スロースピードシャッター	64
スロー&クイックモーション	85
セーフティゾーンマーカー	60
セットアップファイル	102
セットアップメニュー	122
センターマーカー	60
専用レンズ	35

## た行

代表画	104, 115
タイムコード	74, 147

タイムデータ.....	75
ダイレクトメニュー.....	26, 62, 64, 71, 86, 96
超高感度スローシャッター.....	63, 65
手ぶれ補正.....	72
電源スイッチ.....	30
電子シャッター.....	63
電動ズーム（サーボ）モード.....	67
電動ズームレバー.....	68
時計.....	31

## な行

内蔵ステレオマイク.....	77
内蔵スピーカー.....	107

## は行

バックアップ電池.....	160
バッテリーチャージャー.....	28
バッテリーパック.....	28
バッテリー / メディアステータス画面.....	121
バヨネットマウントレンズ.....	37
ハンドル ZOOM ボタン.....	68
ピーキング.....	70
ピクチャープロファイル.....	94
被写界深度バー表示.....	26
ヒストグラム表示.....	26
日付 / 時刻.....	31
ビデオステータス画面.....	120
ビデオフォーマット.....	55
ビューファインダー.....	32
風音低減フィルター.....	119
フェーダー.....	92
フェードアウト.....	93
フェードイン.....	93
フォーカスリング.....	70, 71
フォーマット（初期化）.....	46, 49, 52
ブラックバランス.....	59
フランジバック.....	35
フリーズミックス.....	87
プリセットモード.....	57
フリッカー.....	73
フルオートモード.....	54
フルマニュアルフォーカス.....	69
フレームレック.....	84
プロテクト.....	47
分割.....	115
ヘッドホン端子.....	78, 107

頬当てパッド.....	39
ボタン / リモート ステータス画面.....	121
ホワイトバランス.....	57

## ま行

マーカー.....	60
マクロモード.....	72
マニュアルアイリスモード.....	66
マニュアルフォーカス.....	69
メディアアダプター.....	51
メディアモード.....	30, 104
メモリースティック.....	51
メモリー A モード.....	57
メモリー B モード.....	57
モニター音量.....	78

## や行

ユーザービット.....	75
--------------	----

## ら行

ライトプロテクトスイッチ.....	44
リモートコマンダー（リモコン）.....	24
リモートコントロールユニット.....	149
リモコン.....	41
レックレビュー.....	80
レンズアダプター.....	37
レンズファイル.....	38, 159
レンズマウントゆるみ止めスイッチ.....	37
レンズマウントレバー.....	37
録音レベル.....	77

## わ行

ワンプッシュオートアイリス.....	66
ワンプッシュオートフォーカス.....	71

## A

AC アダプター.....	30
ACCESS ランプ.....	44, 45
AC 電源.....	30
AF モード.....	69, 71
All Clips DEL.....	101
All Reset.....	103, 136
Angle モード.....	63, 64
Area Detection.....	100
Aspect Marker.....	60
Aspect Select.....	60

Assign Button	81, 137
ASSIGN 1 ~ 3 ボタン	81
ASSIGN 4 ボタン	81
ATW	57, 82
ATW Speed	129
AUDIO IN スイッチ	76
Audio Input	79, 130
AUDIO IN 端子	76
AUDIO LEVEL 調整つまみ	76, 78
AUDIO OUT CH-1/CH-2 端子	141
Audio Output	130
AUDIO SELECT スイッチ	76, 77
AUDIO SET メニュー	130
Auto BLK Balance	59, 126
Auto FB ADJ	36, 134
Auto Shutter	65
AV 単独ファイル	105
<b>B</b>	
Backlight	82
BARS/CAM ボタン	79
Battery Alarm	138
Battery INFO	138
BC-U1/U2	28, 30
Black	100
Black Gamma	100
BP-U30	28
BP-U60	28
BRIGHT つまみ	32
BRT Disp	82
<b>C</b>	
Camera Data	102, 136
CAMERA SET メニュー	126
CANCEL ボタン	123
Center Marker	60
Clip	139
Clock Set	136
Clock モード	74
CMOS イメージセンサー	156
Color Bar Type	79, 127
Color Correction	97
COMPONENT OUT 端子	141
CONTRAST つまみ	32
COPY CLIP	112
Country	55, 139

<b>D</b>	
Date/Time	31
DC ケーブルクランプ	40
DELETE CLIP	113
Detail	98
DF/NDF	74
Direct Menu	138
DISP CLIP INFO	111
Display On/Off	133
DISPLAY/BATT INFO ボタン	25, 29
DIVIDE CLIP	116
Down Converter	131

<b>E</b>	
ECS Frequency	64
ECS モード	63, 64
EJECT ボタン	45
EX Slow Shutter	63, 65, 126
EX マウントレンズ	37
EXPAND FOCUS ボタン	70
EXPAND (COARSE)	114
EXPAND (FINE)	114
Expanded Focus	82
ExpressCard スロット	142

<b>F</b>	
F FWD ボタン	107
F REV ボタン	107
Fader	82, 92, 128
File	134
Flare	135
Flicker Reduce	73, 127
FOCUS スイッチ	71
Format Media	52, 139
Frame Rec	84, 128
Free Run モード	74
Freeze Mix	82, 87
FULL AUTO ボタン	54
Full MF モード	69

<b>G</b>	
Gain Setup	126
Gamma	100
Genlock	138, 147
GENLOCK IN 端子	147

Guide Frame..... 60

## H

Histogram..... 82

Hours Meter..... 137

## I

Interval Rec..... 83, 128

IR Remote..... 41, 82

IRIS スイッチ..... 66

IRIS ボタン..... 66

i.LINK..... 25, 144, 146

i.LINK I/O..... 138, 144, 145

i.LINK(HDV) 端子..... 144

## K

Knee..... 99

## L

Language..... 136

Last Clip DEL..... 82, 101

Lens Info..... 82

LENS REMOTE 端子..... 69

LENS メニュー..... 159

LINE/MIC/+48V スイッチ..... 76

Low Key SAT..... 100

## M

MACRO スイッチ..... 72

Marker..... 82, 132

Matrix..... 97

MEAD-MS01..... 51

MEAD-SD01..... 51

Media Full..... 47

Media Near Full..... 47

MENU ボタン..... 123

MF Assist..... 71, 127

MF アシスト..... 71

MF モード..... 69, 71

MIRROR IMAGE スイッチ..... 34

MONITOR OUT 端子..... 141

MONITOR VOL ボタン..... 78, 107

## N

ND フィルター..... 57

ND フィルター切り換えスイッチ..... 57

NEXT ボタン..... 107

NTSC Area..... 55

## O

OK MARK ADD..... 111

OK MARK DEL..... 112

OK マーク..... 104, 111

OTHERS メニュー..... 136

## P

PAL Area..... 56

PAUSE..... 114

Peaking..... 70, 132

PEAKING ボタン..... 70

PHU-220R..... 48

PICTURE PROFILE ボタン..... 95

PICTURE PROFILE メニュー..... 94

PLAY/PAUSE ボタン..... 106, 107

PREV ボタン..... 107

Profile Name..... 97

PUSH AF ボタン..... 71

## R

Rec..... 82

REC HOLD レバー..... 54

Rec Review..... 80, 82, 128

REC REVIEW ボタン..... 54, 80

Rec Run モード..... 74

REC START/STOP ボタン..... 54

Regen モード..... 74

RELEASE ボタン..... 39

## S

S VIDEO 端子..... 141

Safety Zone..... 60

SBAC-US10..... 142

SDHC カード..... 51

SDI OUT 端子..... 141

SEL/SET ダイヤル..... 123

SEL/SET ボタン..... 123

SET INDEX PIC..... 115

Setup..... 131

Shading..... 135

Shockless White..... 129

SHOT MARK..... 114

Shot Mark1..... 82

SHOT MARK1 ADD.....	115
SHOT MARK1 DEL.....	115
Shot Mark2.....	82
SHOT MARK2 ADD.....	115
SHOT MARK2 DEL.....	115
Shot Transition.....	89, 127
SHOTMARK ボタン.....	80
Shutter.....	126
Shutter Angle.....	64
Skin Tone Detail.....	99
SLOT SELECT ボタン.....	44, 46
SLS Frame.....	64
SLS モード.....	63, 64
Speed モード.....	63
Spotlight.....	82
STATUS ボタン.....	117
STOP ボタン.....	108
SxS デバイスドライバソフトウェア.....	142
SxS メモリーカード.....	43
S&Q Motion.....	128, 150
S&Q モーションダイヤル.....	86

## T

Tally.....	137
TC Format.....	74, 134
TC IN 端子.....	147
TC OUT 端子.....	148
TC/UB SET メニュー.....	134
TC/U-BIT/DURATION ボタン.....	75, 106
THUMBNAIL ボタン.....	105, 108
Time Zone.....	31, 136
Timecode.....	74, 134
TLCS.....	26, 54, 129
TRANSITION 操作ボタン.....	89
Trigger Mode.....	139, 144

## U

USB ケーブル.....	142
Users Bit.....	134
UTC.....	31

## V

Version.....	139
VF.....	132
VF Mode.....	82
VF SET メニュー.....	33, 132

Video Format.....	55, 139
Video Out Display.....	131
VIDEO SET メニュー.....	131

## W

White.....	98
WHITE BAL スイッチ.....	57
White Switch.....	129
WHT BAL ボタン.....	58
Wide Conversion.....	130

## Y

YPbPr/SDI Out Display.....	131, 141
YPbPr/SDI Out Select.....	131

## Z

Zebra.....	61, 132
Zoom Position.....	67
Zoom Speed.....	69, 127
ZOOM スイッチ.....	68
ZOOM ボタン.....	68

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>